

# モクレポ



○宮崎県小林市新庁舎（東館）

令和4年6月

No.9

## 特集

- 「国産材の安定供給体制の構築に向けた需給情報連絡協議会」の開催
- 第2回ウッド・チェンジ協議会
- 令和3年度森林・林業白書
- 森林経営管理制度の取組事例集&ガイドライン
- 森林クレジット創出拡大に向けた取組
- 九州森林管理局の低コストモデル実証団地成果集
- 第15回世界林業会議における日本の情報発信

このレポートは、木材需給、木材価格、木材産業の動向等に関するデータを集約・整理し、毎月定期的に公表するものです。林業・木材産業関係者の事業活動に役立てていただくことを目指しています。

### 【利用上の注意】

1. 原則として毎月中旬に公表。公表日の5営業日前に入手可能なデータを反映しています。
2. 内容については、必要に応じて項目の追加・削除などの変更を行うことがあります。
3. 調査方法の見直しに伴い、データが接続しない場合があります。

林野庁

# CONTENTS 令和4年6月号

## 特集

- 1 「国産材の安定供給体制の構築に向けた需給情報連絡協議会」の開催
- 2 第2回ウッド・チェンジ協議会
- 3 令和3年度森林・林業白書
- 4 森林経営管理制度の取組事例集&ガイドライン
- 5 森林クレジット創出拡大に向けた取組
- 6 九州森林管理局の低コストモデル実証団地成果集
- 7 第15回世界林業会議における日本の情報発信

- 特集1
- 特集2
- 特集3
- 特集4
- 特集5
- 特集6
- 特集7

## 01 基礎的指標

- 1 新設住宅着工戸数
- 2 新設住宅着工床面積 <参考>非居住用建築物着工床面積
- 3 木材産業の業況
- 4 USドル及びユーロ為替相場
- 5 米国民間新設住宅着工戸数、日本向けコンテナ運賃
- 6 中国の木材輸入量、EUにおける建設活動水準

- 基礎1
- 基礎4
- 基礎8
- 基礎9
- 基礎10
- 基礎11

## 02 木材価格情報

- 1 スギ・ヒノキ原木の主要市場価格
- 2 木材価格、製品価格 <参考>都道府県別データ

- 価格1
- 価格3

## 03 木材需給情報

- 1 需要量、供給量、自給率の動向
- 2 地域の木材需給動向（各森林管理局からの報告）
- 3 製材工場の原木入荷、製品生産等の動向
- 4 合板工場の原木入荷、製品生産等の動向
- 5 チップ工場の原木入荷、製品生産等の動向
- 6 間伐材等由来の木質バイオマス燃料利用量、紙品種別生産高
- 7 素材生産量
- 8 木材生産の産出額

- 需給1
- 需給4
- 需給5
- 需給6
- 需給7
- 需給8
- 需給9
- 需給10

## 04 林産物輸出入情報

- 1 林産物輸出額
- 2 木材輸出額
- 3 木材輸入額
- 4 木材輸入量
- 5 製材・構造用集成材・合板の輸入平均単価

- 輸出入1
- 輸出入2
- 輸出入3
- 輸出入4
- 輸出入10

## 05 特用林産情報

- 1 特用林産物の国内生産量
- 2 特用林産物の産出額
- 3 特用林産物の輸出入量
- 4 特用林産物の輸出額
- 5 きのこと類の卸売量・価格

- 特産1
- 特産2
- 特産3
- 特産4
- 特産7

## 06 セミナー・イベント情報

- 1 6月中旬以降の開催情報

- イベント1

# 「国産材の安定供給体制の構築に向けた需給情報連絡協議会」の開催

- 国産材の安定供給体制の構築に向けて、川上から川下まで幅広く様々な関係者が木材等の需給情報の収集・共有を図る事業として、全国7地区及び中央において需給情報連絡協議会（以下「協議会」）を開催。
- 令和3年度はいわゆるウッドショックの発生により、関係者間で正確な情報共有が求められたことから、協議会を3巡開催することにより対応。
- 加えて、ロシア・ウクライナをとりまく木材需給動向について関心が高まっており、本年度も6月から協議会を開催し、関連情報の共有を図ることとしている。

## ■ 協議会の構成、令和3年度及び4年度の取組

### ○地区別協議会(全国7地区)

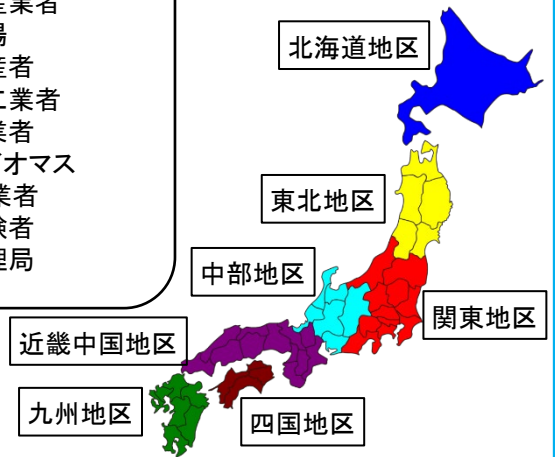
構成: 学識経験者、地区における主要な事業者、都道府県等  
 議題: 需給情報(地区) 等  
 開催状況(令和3年度): 第1回 5月下旬～7月下旬  
 第2回 9月中旬～10月上旬  
 第3回 12月中旬～1月下旬  
 (令和4年度): 第1回 6月上旬～中旬

### ○中央協議会

構成: 学識経験者、中央団体、地区別協議会事務局等から構成  
 議題: 木材輸入の状況について  
 木材需給の動向(全国)について  
 開催状況(令和3年度): 臨時会 4月14日  
 第1回 9月10日  
 第2回 1月28日  
 (令和4年度): 第1回 6月21日(予定)

### ○地区別協議会構成員

- ・森林組合
- ・素材生産業者
- ・原木市場
- ・苗木生産者
- ・木材加工業者
- ・製紙事業者
- ・木質バイオマス発電事業者
- ・学識経験者
- ・森林管理局
- ・工務店



## ■ 令和3年度 協議会の成果

○ 林野庁からは、木材の輸入状況や木材加工施設における生産等の動向、各地区の国有林における素材生産の早期発注状況等の情報を共有。また、補助事業等の支援措置、加工施設における乾燥機の導入や施主に対して国産材活用を提案した事例等を紹介。

○ 協議会に参加した事業者より、輸入材製品の価格高騰と供給不足に伴う国産材製品の代替需要の高まりについて、現状と見通しに関する情報を共有。また、国産材の利用促進等に向けた意見交換を実施。

### 【協議会での主な意見】

- 輸入材は欲しい製品だけ入手すればよかったが、国産材は原木一本をどう使い切るのが課題となる。この輸入材と国産材の供給側の違いを川下の需要者に理解して欲しい。
- 今般顕在化した輸入材の供給リスクに鑑み、国産材へのシフトを目指していくのであれば、川上から川下までの関係者が、互いの状況を理解した上で、中長期的な視点から安定需要と安定供給を合わせた形で、業界一体となって体制を整えていく必要がある。
- 輸入材の管柱など部材によっては、代替としてスギ等国産材の利用が進展。
- SDGsや環境問題への意識の高まりも乗じて、工務店等から国産材を使いたいとの声。
- 今後も国産材利用を促進するためには、加工施設における乾燥施設設備の推進やJAS認証材の一層の普及、また、素材生産の増産に向けたインフラ整備が必要。

### 【結果】

- ・緊急・短期的な対応として、川上から川下の木材需給の把握と正確な情報共有を行い、初期の情報混乱への対応ができた。
- ・戦略的(中期的)対応に向けて、川上から川下の相互理解を深めることに貢献したが、さらなる国産材安定需要の獲得に向けて、国産材製品の供給量増大・競争力強化や原木の供給量増大の必要性を再認識。
- ・協議会の結果等を踏まえ、令和3年度補正予算に必要な支援を措置。

需給情報連絡協議会の詳細は、次のURLをご覧ください。

<https://www.rinya.maff.go.jp/j/mokusan/ryutsu/kyougikai.html>



# 特集-2 第2回ウッド・チェンジ協議会

- 5月16日、民間建築物等における木材利用の促進に向けて、川上から川下までの幅広い関係者が一堂に参画する官民協議会「第2回ウッド・チェンジ協議会」を開催。
- 課題等に応じて設置されている5つの小グループの成果報告や関係省庁から情報提供を行い、意見交換を実施。
- 各小グループでは、建築主等が民間建築物での木材利用を検討する際に参考となる普及資料を作成し、公表。今後も引き続き、5つの小グループで検討を継続。

## ■ ウッドチェンジ協議会の概要

### ○目的

木材利用の促進に向けた課題の特定や解決方策の検討、先進的な取組の発信、木材利用に関する情報共有を行うことにより、木材を利用しやすい環境づくりに取り組む。

### ○参加団体等

- 会長：隅 修三（東京海上日動火災保険株式会社 相談役）
- 団体・企業・研究機関・関係省庁 等 計49

### ○小グループ(5つ)

- 木材利用環境整備グループ
- 情報発信グループ
- 低層小規模建築物グループ
- 中規模ビルグループ
- 高層ビルグループ



## ■ 普及資料(建築物での木材利用のすすめ)

### 低層小規模建築物の木造化

建ててみましょう! 木造で

コンビニや飲食店など、平屋や2階建ての小規模な店舗の木造モデル設計を提案。木造化の意義や店舗以外の木造建築物事例も多数紹介。

### 中規模ビルの木造化

延べ床面積3,000㎡程度のオフィス設計をテーマに、3階から7階建て、準耐火から2時間耐火構造までバラエティに富んだ木造ビルのモデル設計を提案。普及動画も。

### 高層ビルの木造化

木造の技術面・制度面の発展を受けて、近年、徐々に増えてきた木造の高層ビル事例について、木造としたねらいや効果、技術的な工夫等とともに紹介。

### 内装での木材利用

建物の内装木質化のすすめ

建物の内装に木材を使った様々な事例を紹介するとともに、建物のオーナー等から集めた木質化による効果の声、研究データ等もあわせて、内装に木材を利用することによってどのような効果が期待できるかを用途別に整理。木質化にあたっての留意点も掲載。

### 建設事業者向け木造化手引き

これまで住宅以外の木造建築物の建設経験がない建設事業者を対象に、比較的参入しやすい低層小規模建築物の木造化について、企画から施工までの進め方を整理。

公益財団法人 日本住宅・木材技術センター





本件に関する情報や資料は、次のURLをご覧ください。  
<https://www.rinya.maff.go.jp/j/riyou/kidukai/wckyougikai.html>



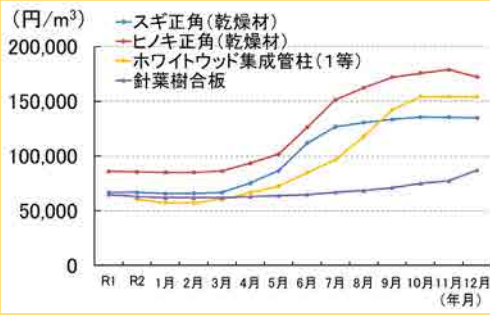

# 特集-3 令和3年度森林・林業白書

- 2022年5月31日に「令和3年度森林・林業白書」が閣議決定され、公表。
- 今回の白書では、木材不足・価格高騰（いわゆるウッドショック）への対応と、木材産業の競争力強化を特集として掲載。構成と内容は以下のとおり。

## ■ トピックス

<p><b>1. 2050年カーボンニュートラルを視野に「グリーン成長」の実現を目指す森林・林業基本計画</b></p>	<p><b>3. 「奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島」が世界自然遺産に登録</b></p>
<p>2021年6月に閣議決定された森林・林業基本計画では、再造林等により森林の適正な管理を図りながら、引き続き林業・木材産業の成長産業化に取り組むことにより、2050年カーボンニュートラルに寄与する「グリーン成長」の実現を志向。</p>  <p>エリートツリー等による再造林の促進</p>	<p>2021年7月に、我が国の5件目のユネスコの世界自然遺産として登録。林野庁では、遺産地域の約7割を占める国有林野のほぼ全域を「森林生態系保護地域」に設定し、厳格に保護・管理。</p>  <p>マングローブ林(西表島)</p>
<p><b>2. 脱炭素社会の実現に資する等のための建築物等における木材の利用の促進に関する法律」の施行～「ウッド・チェンジ」に向けて～</b></p>	<p><b>4. 2021年7月、8月に発生した大雨による山地災害等への対応</b></p>
<p>建築物における木材利用を更に促進するため、対象を公共建築物から建築物一般に拡大すべく、公共建築物等木材利用促進法が改正され、2021年10月に施行。</p>  <p>ドコモショップ丹波篠山店 (写真提供:株式会社スウィング)</p>	<p>2021年7月、8月に発生した大雨による山地災害等に対し、林野庁では、JAXAとの協定に基づく人工衛星による緊急観測や、各地の被災県等と協力したヘリコプターによる被害調査、災害復旧に向けた技術的支援等を実施。</p>  <p>被災県と合同のヘリコプター調査(鹿児島県)</p>

## ■ 特集

<p><b>(特集1) 令和3(2021)年の木材不足・価格高騰(いわゆるウッドショック)への対応</b></p>	<p><b>(特集2) グリーン成長のカギを握る木材需要拡大と木材産業の競争力強化</b></p>
<p>木材不足・価格高騰の状況を整理し、輸入材から国産材への転換や国産材の安定供給に向けた取組について記述。</p>  <p>令和3(2021)年の木材製品価格の推移</p>	<p>グリーン成長を表現するために重要な、木材、特に製材の安定的な需要の確保と木材産業の競争力強化に向けた課題と対応について記述。</p>  <p>年間原木消費量70万m3の大規模製材工場</p>

## ■ 各章の構成

(第1章) 森林の整備・保全	(第2章) 林業と山村(中山間地域)	(第3章) 木材需給・利用と木材産業
(第4章) 国有林野の管理経営		(第5章) 東日本大震災からの復興

「令和3年度森林・林業白書」については、次のURLをご覧ください。  
<https://www.rinya.maff.go.jp/j/kikaku/hakusyo/r3hakusyo/>





- 林野庁は、令和4年3月に、森林経営管理制度に関して先進的な取組を行っている事例を全国から収集した「取組事例集」を作成。同制度に取り組む全国12の市町村を対象に、取組段階毎のポイントやアイデアを整理。
- また、令和4年4月に、森林経営管理制度に基づく所有者不明森林等における特例措置活用を進めるための「ガイドライン」を作成。特例活用の留意点をQ&A形式で整理するとともに、活用場面をケーススタディで紹介・公表。

## 森林経営管理制度に係る取組事例集

全国から先進的な取組を行っている事例を収集し、様々な取組のポイントやアイデアを収録

<最新版では、全国12事例を収集・整理>

青森県西目屋村、山形県最上町、栃木県鹿沼市、新潟県村上市、石川県白山市、愛知県岡崎市、三重県津市、兵庫県神河町、鳥取県若桜町、広島県世羅町、愛媛県久万高原町、高知県四万十市

### 第1章 地域編

12市町村それぞれの取組体制から事務フロー、取組のポイントやアイデアを整理。

→取組体制の検討や一連の事務のイメージを把握したい場合に参照。

### 第2章 取組編

12市町村の取組を分析し、各地域に共通する取組内容や特徴的な取組内容を紹介。

→全体的な取組の動向・相場観を把握したい場合の手引きとして利用。

### 第3章 資料編

12市町村の取組の詳細を掲載。

→第1章及び第2章の記載事項について、詳細を把握したい場合に参照。

<掲載事例の一例>

### 森林整備計画図の作成 | 兵庫県神河町



### 大畑地区 意向調査結果

<input checked="" type="checkbox"/>	大畑地区
<input type="checkbox"/>	整備予定
<input checked="" type="checkbox"/>	意向調査結果_R1
<input checked="" type="checkbox"/>	1 自分で経営や管理をしていきたい。
<input checked="" type="checkbox"/>	2 自分で委託先を探し、経営や管理を委託したい。
<input checked="" type="checkbox"/>	3 既に他者に委託しており、引き続き継続して委託したい。
<input checked="" type="checkbox"/>	4 町に経営や管理を委ねることについて検討してみたい。
<input checked="" type="checkbox"/>	意向調査結果_R1
<input checked="" type="checkbox"/>	その他
<input checked="" type="checkbox"/>	寄付
<input checked="" type="checkbox"/>	売り
<input checked="" type="checkbox"/>	売り・寄付

意向調査の結果を受け、地区ごとに森林整備の方針を決定し、所有者説明の際に活用。

## 所有者不明森林等の特例措置の活用のためのガイドライン

所有者不明森林等における森林整備を促進するため、特例措置の活用のためのガイドラインを作成・公表

### <<ガイドラインの掲載項目>>

- 所有者不明森林を取り巻く状況  
制度の創設背景や取組の現状について解説
- 森林の有する多面的機能の発揮と森林整備の必要性  
森林の役割や手入れの必要性を解説
- 共有者不明森林等に係る特例の手続  
森林所有者の探索方法を解説
- 具体の活用場面における検討  
Q&A形式で活用のポイントを解説
- ケーススタディ  
実例をベースにケーススタディ形式で活用のポイントを解説
- 参考資料  
森林整備の参考となる既存のガイドブックや論文などを掲載



(岐阜県郡上市での現地検討の様子)

大学教授、弁護士等を交えた検討委員会で活用促進に向けた議論を実施。

特例活用の留意点をQ&A形式で整理、活用場面をケーススタディで紹介。

事例集やガイドラインは、次のURLをご覧ください。

<https://www.rinya.maff.go.jp/j/keikaku/keieikanri/sinrinkeieikanriseido.html>



- J-クレジット制度の森林管理プロジェクト方法論の見直しについて、有識者で構成する森林小委員会を立ち上げて検討中。
- 今後、J-クレジット制度運営委員会（8月5日）に見直し案を諮る予定。

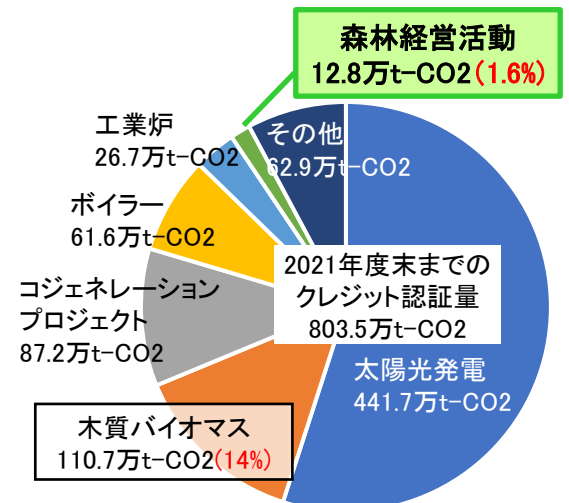
## ■ J-クレジット制度とは

J-クレジット制度は、森林管理による温室効果ガスの吸収量等を、国が「クレジット」として認証する制度。森林管理のほか、省エネ設備の導入、再エネ利用等による温室効果ガスの排出削減量も認証の対象となり、環境省、経済産業省及び農林水産省で制度を共管・運営。

## ■ 森林クレジットの現状と課題

カーボンニュートラルの実現に向けて、森林吸収源などに由来する吸収系のJ-クレジットに対する産業界等からの期待が高まっている一方、J-クレジット制度の下で認証された森林クレジットは全認証量の2%未満にとどまっており、その創出拡大が課題。

このため、森林所有者等が、森林プロジェクトに取り組みやすくなるよう、「J-クレジット制度運営委員会」の下に有識者からなる「森林小委員会」を設置し、森林管理プロジェクトに係る制度の見直しの検討を開始。



※J-クレジット制度事務局資料を基に作成

## ■ 制度見直しの主な論点と検討の予定

- ①: 追加性要件(プロジェクト登録要件＝認証対象期間中の収支見込が赤字であること)  
認証対象期間中(8年間)に主伐を行うと、黒字が見込まれプロジェクトが形成されにくい。主伐後の再造林が計画されている場合は追加性要件が認められるよう改正。
  - ②: 主伐・再造林を行う場合の取り扱い  
主伐は「排出」計上されるためクレジット量が小さくなり、プロジェクト登録の意欲を下げる要因。「伐って、使って、植える」循環システムを確立する重要性を踏まえ、再造林が実施された場合、成林するまでの吸収量を考慮してクレジットを算定できるよう改正。
  - ③: 木材利用の炭素固定の評価  
木材製品として長期間固定され得る炭素量を吸収クレジットとして認証する仕組みを導入。
  - ④: 天然林の取り扱い  
プロジェクト区域の天然林について、保護活動等により吸収クレジットを認証できるよう改正。
- (今後の検討予定)  
6月に実施したパブリックコメントを踏まえ(上記③を除く)、第3回森林小委員会(6月28日)で制度改正案とりまとめ。次回のJ-クレジット制度運営委員会(8月5日)で改正案について審議予定。

森林小委員会、パブリックコメントの情報等については次のURLをご覧ください。  
[https://www.rinya.maff.go.jp/j/sin\\_riyou/ondanka/J-credit.html](https://www.rinya.maff.go.jp/j/sin_riyou/ondanka/J-credit.html)



# 特集-6 九州森林管理局の低コストモデル実証団地成果集

- 平成29年度、関係機関(宮崎大学等)と連携し、民有林への普及を念頭に、林業の低コスト化等に関する先駆的手法を積極的に導入するとともに、低コストで高効率な施業が普及・定着するよう取り組むため、低コストモデル実証団地(次世代造林プロジェクト)を熊本県人吉市の国有林内に設定。
- 設定から5年が経過し、一定の成果を得たことから、令和4年3月に成果集の発刊及び成果発表会を開催。

## 低コストモデル実証団地 (ゾーン配置図)



1期目(平成29年度~令和3年度)

### ○コンテナ苗(中苗)の活用

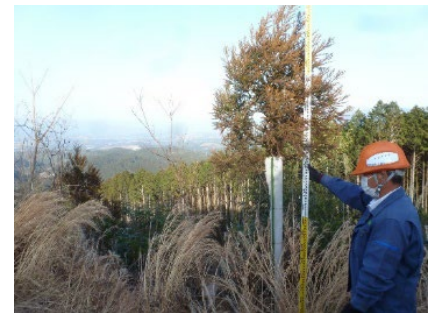
- 九州局では、苗高70~100cmの苗を「中苗」と呼称。
- 成長の良いエリートツリー等のスギコンテナ苗(中苗)を植栽し、下刈回数の削減効果を検証。
- 3年間の下刈り後、競合植生より梢端部が突出したことから、以降の下刈りを省略できる可能性。



エリートツリーコンテナ (3生育期後)

### ○単木保護資材の活用

- 単木保護資材による初期樹高成長の促進で植栽後3年でシカ捕食ラインを突破、下刈り回数を削減できる可能性。
- 単木保護資材を抜け出るまで幹は細いが、梢端部が資材を抜け出ると幹も大きく成長する。



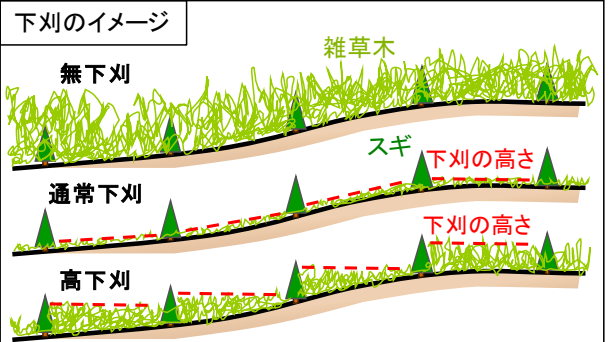
単木保護資材から抜け出た造林木 (4生育期後)

### ○下刈り作業軽減への工夫

- 高下刈り(刈り払う高さを50~80cm程度にして、雑草木を完全には除去しない方法)の効果を普通下刈りと比較。
- 1~2年目の作業性は良く、キックバックや誤伐も少ないが、3年目以降の作業性は同等で、足元の確認に難がある。
- 雑草木が残るとシカ被害は軽減する可能性。ただしシカ生息数にも影響される。



高下刈りの作業の状況



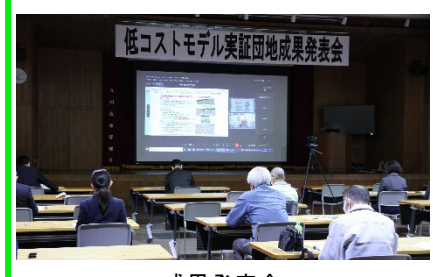
無下刈、通常下刈、高下刈のイメージ図

### ○ペーパーポットの活用

- 規格外苗木を有効活用するため、ペーパーポットで育苗し、その成長状況等を検証。
- 植栽後の成長及び根茎発達のいずれも良好であり、実用化できる可能性。



ペーパーポット苗 植付10ヶ月後 コンテナ苗 植付10ヶ月後



成果発表会

低コストモデル実証団地の成果集に関する資料は、次のURLをご覧ください。  
<https://www.rinya.maff.go.jp/kyusyu/policy/business/jigyuu/index.html>





- 5月2～6日に韓国ソウル市において、第15回世界林業会議が開催。
- 日本からは、林野庁織田次長が、閣僚級フォーラム等において、世界の森林保全・持続可能な木材利用に向けた日本の取組や貢献等を紹介。

## ■ 世界林業会議とは

- 国連食糧農業機関(FAO)及びホスト国が主催し、6年に1回、世界の森林・林業関係者が一堂に会し、幅広いテーマについて議論する、森林・林業分野では世界最大規模の国際会議。
- 今回の会議は、「森林と共にグリーンで健康的で強靱な未来を築く」を全体テーマとし、新型コロナウイルス感染症の影響があったにもかかわらず、世界160か国から1万5千人以上(オンライン参加含む)が参加。



## ■ 日本からの情報発信

### ○ 世界の森林減少抑止に関する本体会合

森林減少・劣化の流れの反転をテーマにしたセッションにおいて、世界の森林保全に資する日本のJCM-REDD+※の取組や貢献について情報発信。

### ○ 持続可能な木材利用に関する閣僚級フォーラム

再生可能な資源である木材の循環利用の重要性及び日本における木材利用促進の取組について織田次長より発信。アジア、アフリカ、南米、欧州の各登壇者と共に、「持続可能な木材利用に関する閣僚宣言」(英文/仮訳)を公表。

### ○ 林野庁として2つのサイドイベントを主催

(1)「森林を活用した防災・減災技術による地域強靱化の取組」(林野庁・森林総研・JICA共催)

→日本の治山の取組やJICAによる技術協力を通じた国際協力を紹介。木材を使った治山施設に関する質問が出るなど、国際的な関心の高さが伺えた。

(2)「民間セクターを活用したREDD+の推進」(林野庁・森林総研共催)

→JCMの下でのREDD+の実施について、日本の関係者や国際機関、現地途上国の関係者より、これまでの議論や現地での取組状況等について報告・意見交換。



(世界の森林減少抑止に向け、織田次長より森林保全に関する日本の取組を発信)



(持続可能な木材利用に関する閣僚宣言発出時の閣僚級フォーラム参加者)

(※JCM:日本が推進する二国間クレジット制度 REDD+:森林減少・劣化由来の排出の削減等)

## ■ 同会議における結果等

第15回世界林業会議の成果として、上記の閣僚宣言に加え、ソウル森林宣言や若者の行動への呼び掛け等が公表され、世界規模で森林・林業に関する関心を高めるきっかけとなった。

行事の詳細は、次のURLをご覧ください。

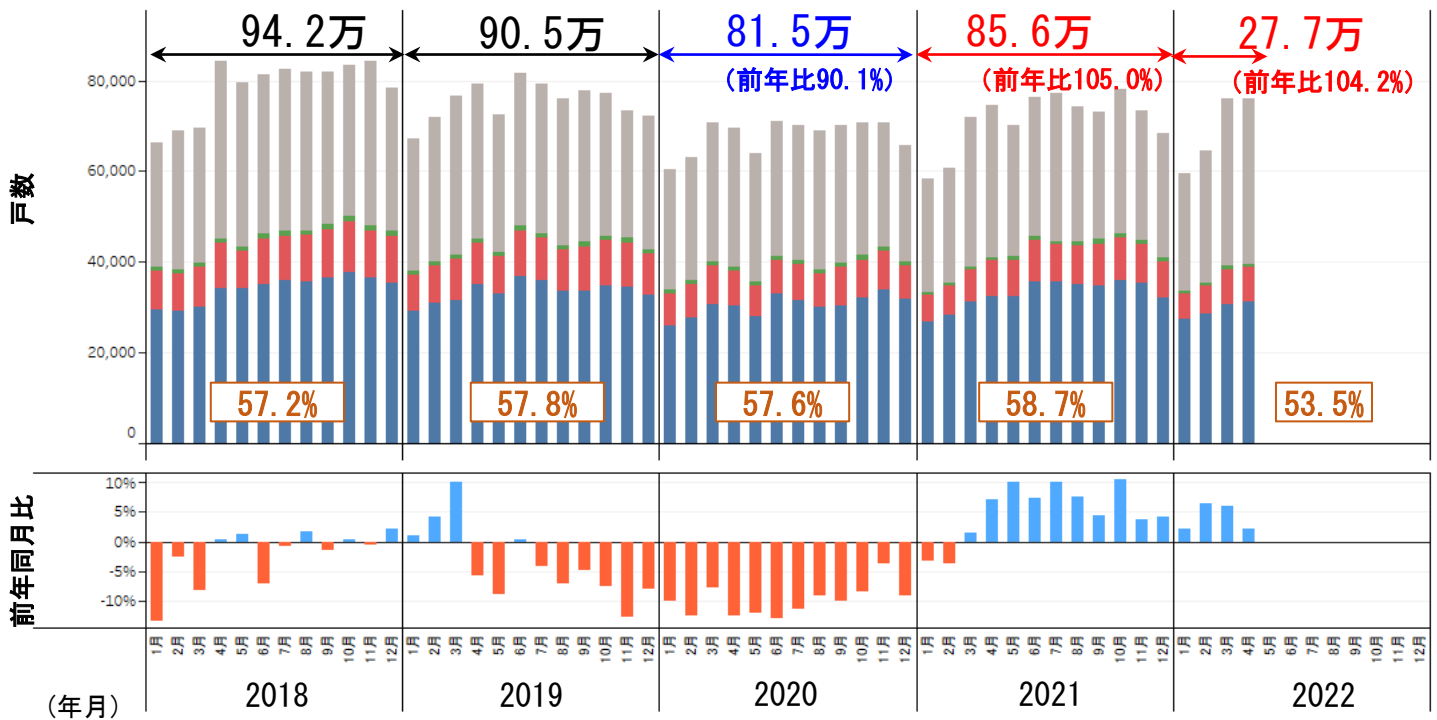
林野庁HP: [第15回世界林業会議の結果概要について: 林野庁 \(maff.go.jp\)](https://maff.go.jp)

林野庁HP: [「持続可能な木材利用」閣僚級フォーラム: 林野庁 \(maff.go.jp\)](https://maff.go.jp)

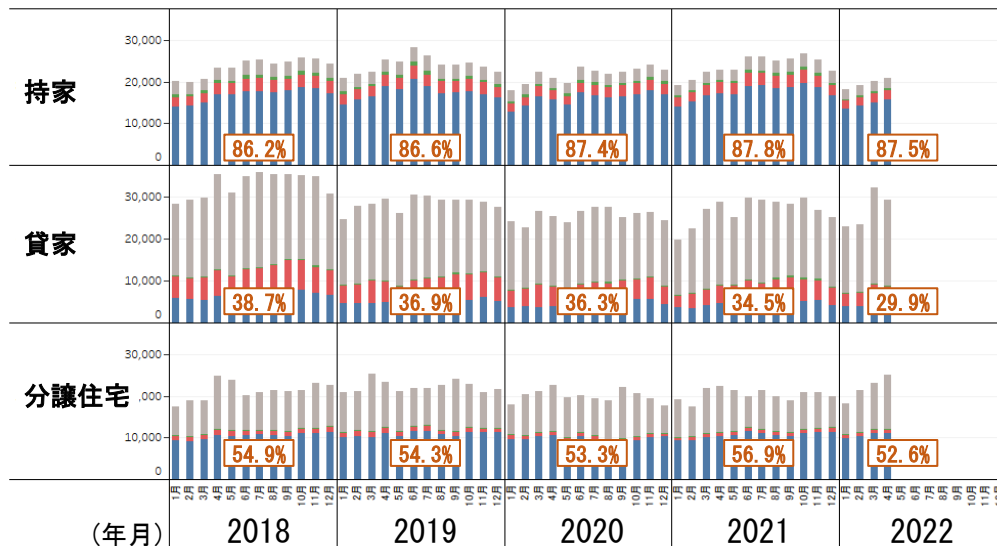
世界林業会議HP: [XV WORLD FORESTRY CONGRESS \(wfc2021korea.org\)](https://wfc2021korea.org)

# 基礎的指標-1 新設住宅着工戸数

- 2021年の新設住宅着工戸数は、85.6万戸（前年比105.0%）、このうち木造住宅は50.2万戸（同107.0%）
- 2022年1～4月の新設住宅着工戸数は、27.7万戸（前年同期比104.2%）、このうち木造住宅は14.8万戸（同99.4%）。



構造別の着工戸数	2022年 1～4月	前年 同期	前年 同期比	前々年 同期	前々年 同期比
合計	276,603	265,520	104.2%	263,743	104.9%
■非木造	128,632	116,608	110.3%	115,082	111.8%
木造	147,971	148,912	99.4%	148,661	99.5%
■木造プレハブ	2,871	2,943	97.6%	3,234	88.8%
■2×4	27,594	27,340	100.9%	30,683	89.9%
■在来軸組	117,506	118,629	99.1%	114,744	102.4%
□木造率	53.5%	56.1%		56.4%	



資料：国土交通省「住宅着工統計」



○新設住宅着工戸数（構造別）

（単位：千戸、％）

年・月	合計		木造							非木造		木造率	戸数			
			計	前年比	在来軸組		2×4	前年比	プレハブ				前年比	年率	季節調整値	
	前年比	前年比			前年比											
2018年	1	66	87	39	100	29	99	8.6	103	0.9	86	27	73	58.7	856	86
	2	69	97	38	97	29	97	8.3	97	1.0	96	31	98	55.5	926	99
	3	70	92	40	96	30	96	8.7	96	0.9	96	30	87	57.1	895	91
	4	84	100	45	100	34	100	10.2	101	0.9	82	39	101	53.7	992	99
	5	80	101	43	97	34	100	8.5	88	0.9	82	36	107	54.6	996	100
	6	81	93	46	97	35	98	10.1	93	1.2	93	35	88	56.9	915	91
	7	83	99	47	98	36	99	9.8	95	1.1	104	36	100	56.8	958	98
	8	82	102	47	100	36	100	10.2	101	1.0	99	35	104	57.4	957	102
	9	82	99	48	100	37	102	10.6	95	1.1	93	33	96	59.1	943	99
	10	83	100	50	102	38	103	11.3	100	1.3	108	33	97	60.3	950	100
	11	84	99	48	96	37	96	10.3	96	1.1	94	36	104	57.1	957	100
	12	78	102	47	103	35	103	10.4	104	1.1	98	32	101	59.7	961	103
2019年	1	67	101	38	98	29	99	7.9	91	1.0	105	29	106	56.8	872	102
	2	72	104	40	104	31	106	8.3	100	0.9	85	32	104	55.6	967	104
	3	77	110	41	104	31	104	9.1	105	0.9	95	35	118	54.1	989	110
	4	79	94	45	100	35	103	9.0	88	1.1	120	34	88	56.9	931	94
	5	73	91	42	97	33	97	8.2	97	1.0	115	30	84	58.2	900	90
	6	82	100	48	104	37	105	10.0	99	1.2	104	33	96	59.0	922	101
	7	79	96	46	99	36	100	9.4	96	1.1	95	33	92	58.5	910	95
	8	76	93	44	93	34	94	9.0	88	1.0	92	32	93	57.4	891	93
	9	78	95	44	92	34	91	9.9	93	1.0	95	33	100	57.0	897	95
	10	77	93	46	91	35	92	9.9	87	1.1	82	31	95	59.3	879	93
	11	74	87	45	94	34	94	9.8	95	1.1	93	28	78	61.6	834	87
	12	72	92	43	91	33	92	9.2	89	1.0	89	29	93	59.3	852	89
2020年	1	60	90	34	89	26	89	7.0	89	0.8	82	26	91	56.1	813	93
	2	63	88	36	90	28	90	7.3	88	0.8	88	27	85	56.8	871	90
	3	71	92	40	97	31	97	8.7	95	0.9	102	31	87	56.8	905	92
	4	70	88	39	86	30	86	7.7	86	0.8	75	31	90	55.8	801	86
	5	64	88	36	84	28	85	6.8	83	0.9	96	28	93	55.8	809	90
	6	71	87	41	86	33	90	7.3	73	1.0	79	30	89	58.0	790	86
	7	70	89	40	87	32	88	7.8	84	0.9	89	30	91	57.6	828	91
	8	69	91	38	88	30	89	7.5	83	1.0	102	31	95	55.6	819	92
	9	70	90	40	90	30	91	8.6	87	1.0	92	30	90	56.9	815	91
	10	71	92	41	91	32	93	8.2	84	0.9	89	29	93	58.6	802	91
	11	71	96	43	96	34	98	8.6	87	1.0	92	27	97	61.3	820	98
	12	66	91	40	94	32	97	7.6	82	0.9	92	25	87	61.3	784	92
2021年	1	58	97	33	99	27	103	5.9	85	0.6	82	25	95	57.1	801	99
	2	61	96	35	99	28	101	6.6	90	0.7	93	25	93	58.3	808	93
	3	72	101	39	97	31	102	7.0	81	0.8	93	33	107	54.3	880	97
	4	75	107	41	106	32	107	7.8	101	0.8	96	33	109	55.1	883	110
	5	70	110	41	115	33	116	7.9	116	0.8	80	29	103	58.6	875	108
	6	76	107	46	111	36	109	8.9	122	1.1	111	31	102	60.0	866	110
	7	77	110	45	110	36	112	8.3	106	0.8	86	33	109	57.9	926	112
	8	74	108	45	116	35	117	8.7	116	1.0	98	30	97	60.0	855	104
	9	73	104	45	113	35	115	9.2	108	1.1	117	28	93	61.7	845	104
	10	78	110	46	112	36	112	9.4	114	1.1	114	32	108	59.5	892	111
	11	73	104	45	103	35	104	8.5	100	1.0	101	29	104	61.1	848	103
	12	68	104	41	102	32	102	7.8	103	0.8	91	28	108	59.7	838	107
2022年	1	60	102	34	101	27	102	5.9	99	0.6	87	26	104	56.5	820	102
	2	65	106	35	100	29	101	6.2	94	0.7	100	29	115	54.8	872	108
	3	76	106	39	101	31	98	7.9	113	0.8	95	37	113	51.5	927	105
	4	76	102	40	97	31	96	7.6	98	0.8	107	37	109	52.0	883	100
2018年計		942	98	539	99	410	99	117	97	13	94	403	96	57.2	942	97
2019年計		905	96	523	97	402	98	110	94	12	97	382	95	57.8	904	96
2020年計		815	90	469	90	365	91	93	85	11	89	346	91	57.6	821	91
2021年計		856	105	502	107	396	108	96	103	11	97	354	102	58.7	860	105
2018年	第1四半期	205	92	117	97	89	97	26	99	2.8	93	88	85	57.1	892	92
	第2四半期	245	98	135	98	103	100	29	94	2.9	86	110	98	55.1	968	97
	第3四半期	246	100	142	100	108	100	31	97	3.3	98	104	100	57.8	953	100
	第4四半期	246	101	145	100	110	101	32	100	3.5	100	101	101	59.0	956	101
2019年	第1四半期	216	105	120	102	92	103	25	99	2.7	94	96	109	55.4	942	106
	第2四半期	234	95	135	100	105	102	27	95	3.3	112	98	89	58.0	918	95
	第3四半期	233	95	134	94	103	95	28	92	3.1	94	99	95	57.7	899	94
	第4四半期	223	91	134	92	102	93	29	90	3.1	88	89	88	60.1	855	89
2020年	第1四半期	194	90	110	92	84	92	23	91	2.4	90	84	88	56.6	863	92
	第2四半期	205	88	116	85	91	87	22	80	2.7	83	89	91	56.6	800	87
	第3四半期	210	90	119	88	92	89	24	85	2.9	94	91	92	56.7	821	91
	第4四半期	207	93	125	93	98	96	24	84	2.8	91	82	92	60.4	802	94
2021年	第1四半期	191	98	108	98	86	102	20	85	2.2	89	83	99	56.5	830	96
	第2四半期	221	108	128	111	101	110	25	113	2.6	95	93	105	57.9	875	109
	第3四半期	225	107	134	113	105	114	26	110	2.9	100	90	99	59.8	876	107
	第4四半期	220	106	132	106	104	106	26	105	2.9	102	88	107	60.1	859	107
2022年	第1四半期	200	105	108	100	86	100	20	102	2.0	94	92	111	54.1	873	105

資料：国土交通省「住宅着工統計」

○新設住宅着工戸数（利用關係別・資金別）

（単位：千戸、％）

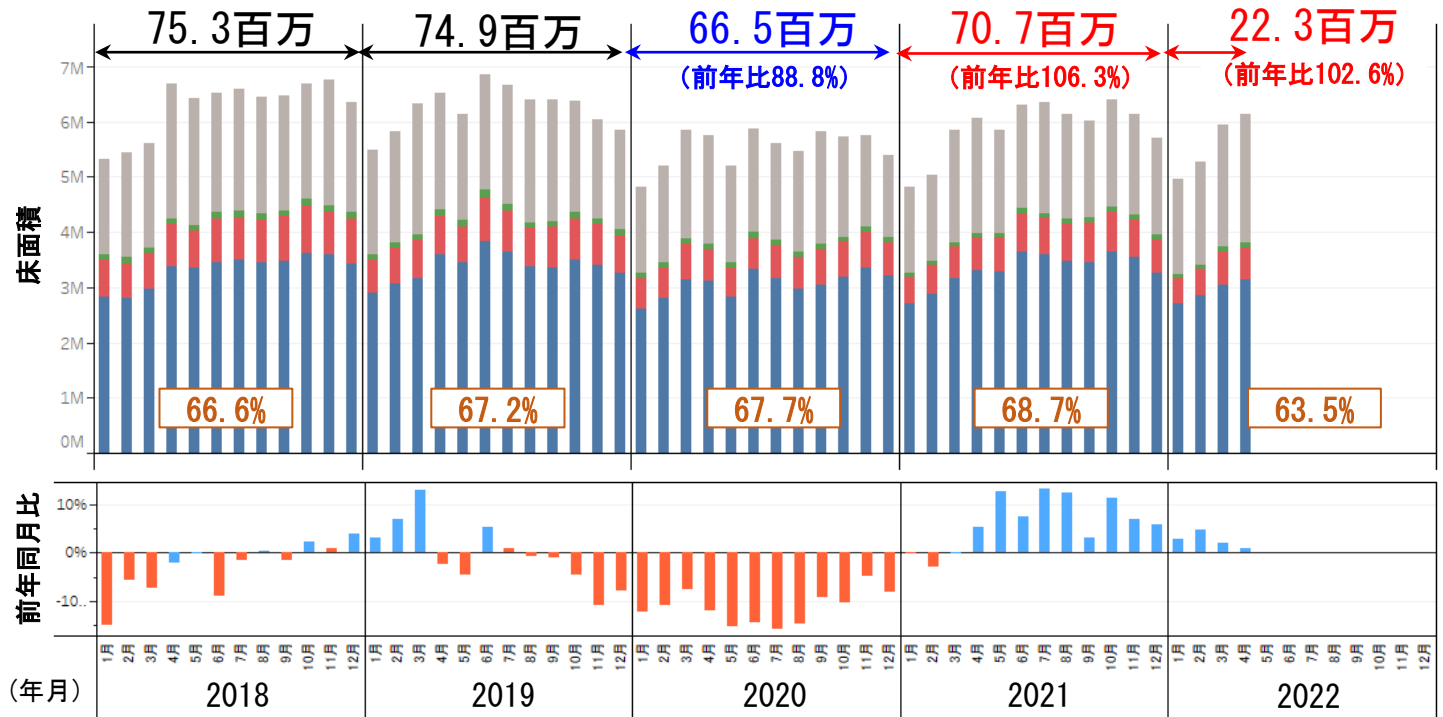
年・月	合計		利用關係別										資金別						
			持家		貸家		給与		分譲		一戸建		共同住宅		民間		公的		
			前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比		
2018年	1	66	87	20	100	28	89	0.4	78	17	73	11	99	7	51	59	85	7	99
	2	69	97	20	94	29	95	0.6	176	19	103	11	99	8	109	62	98	8	94
	3	70	92	21	96	30	88	0.3	36	19	96	11	99	8	93	63	92	7	89
	4	84	100	23	98	35	98	0.6	180	25	105	12	107	13	103	75	99	9	108
	5	80	101	23	98	31	94	1.2	359	24	112	12	106	12	121	72	102	7	95
	6	81	93	25	97	35	97	1.0	202	20	81	12	101	8	64	72	93	9	93
	7	83	99	25	100	36	99	0.4	94	21	99	12	103	9	95	73	98	9	109
	8	82	102	24	100	35	101	0.7	135	21	103	12	104	9	101	73	101	9	111
	9	82	99	25	100	35	94	0.6	118	21	104	12	105	9	104	74	98	8	105
	10	83	100	26	105	35	93	0.8	118	21	109	13	106	9	114	74	100	9	101
	11	84	99	26	103	35	93	0.6	138	23	106	13	100	11	114	75	98	9	109
	12	78	102	24	105	31	92	0.4	83	23	116	13	108	10	129	70	101	8	114
2019年	1	67	101	21	103	25	88	0.5	118	21	120	11	104	10	145	60	102	7	95
	2	72	104	22	110	28	95	0.9	140	21	111	12	112	9	110	64	104	8	105
	3	77	110	22	109	28	96	0.4	162	25	133	12	107	14	169	69	110	8	110
	4	79	94	25	109	30	83	1.0	176	23	94	13	103	11	85	71	95	8	88
	5	73	91	25	106	26	84	0.4	31	21	89	12	100	9	77	64	89	8	112
	6	82	100	28	113	31	88	0.6	66	22	108	13	110	9	105	73	102	8	91
	7	79	96	26	103	30	85	0.6	143	22	105	13	109	9	100	71	97	8	86
	8	76	93	24	98	29	83	0.2	36	23	106	12	102	10	110	68	93	8	91
	9	78	95	24	97	29	83	0.5	75	24	114	12	100	12	133	70	95	8	97
	10	77	93	24	94	29	84	0.3	41	23	107	13	101	10	116	69	93	8	90
	11	74	87	24	93	29	82	0.3	48	21	90	13	101	8	76	65	87	8	93
	12	72	92	22	91	28	90	0.7	167	22	95	12	96	9	94	65	92	8	90
2020年	1	60	90	18	86	24	97	0.3	63	18	85	11	97	7	72	54	89	7	98
	2	63	88	20	89	23	81	0.5	63	20	96	11	92	9	102	56	88	7	86
	3	71	92	22	100	27	93	0.6	145	21	84	12	99	10	71	63	91	8	105
	4	70	88	21	83	25	86	0.6	60	23	96	12	92	11	102	62	88	7	86
	5	64	88	20	79	24	92	0.3	92	20	93	10	87	9	101	58	90	6	70
	6	71	87	24	83	27	87	0.6	94	20	92	12	89	8	97	64	88	7	82
	7	70	89	23	86	28	91	0.5	77	19	88	11	83	8	96	63	89	7	88
	8	69	91	22	91	28	95	0.6	248	19	84	9	77	9	92	63	92	6	81
	9	70	90	22	93	25	85	0.6	137	22	92	10	84	12	100	64	92	6	73
	10	71	92	23	94	26	89	0.9	293	21	90	11	84	10	98	64	93	6	78
	11	71	96	24	102	26	92	0.8	292	20	94	11	90	8	101	64	98	7	83
	12	66	91	23	102	24	88	0.8	115	18	82	11	91	6	69	59	91	7	87
2021年	1	58	97	19	106	20	82	0.4	121	19	107	10	94	9	128	53	99	5	80
	2	61	96	20	104	23	100	0.4	77	17	85	10	96	7	73	55	97	6	88
	3	72	101	22	100	27	103	0.4	59	22	103	11	97	10	110	65	104	7	81
	4	75	107	23	109	29	114	0.3	55	22	100	12	99	11	100	68	109	7	93
	5	70	110	23	116	25	104	0.8	230	21	108	12	114	10	103	63	109	7	119
	6	76	107	26	111	30	112	0.5	81	20	98	13	109	7	84	70	109	7	96
	7	77	110	26	115	29	106	0.4	83	21	111	12	113	9	108	70	111	7	96
	8	74	108	25	115	29	104	0.5	92	20	105	12	125	8	86	67	107	7	113
	9	73	104	26	115	28	113	0.4	64	19	85	12	115	7	61	67	104	6	104
	10	78	110	27	117	30	115	0.5	55	21	101	12	115	9	85	71	110	7	112
	11	73	104	25	105	27	101	0.5	57	21	106	13	110	8	102	67	105	6	91
	12	68	104	23	100	25	103	0.5	66	20	113	13	112	7	114	63	106	6	88
2022年	1	60	102	18	94	23	117	0.3	88	18	95	11	108	7	80	55	103	5	92
	2	65	106	19	94	24	105	0.3	76	21	123	12	111	10	142	59	108	5	87
	3	76	106	20	91	32	119	0.4	112	23	106	12	110	11	102	70	107	7	100
	4	76	102	21	92	29	102	0.5	155	25	112	12	107	13	117	70	104	6	88
2018年計		942	98	283	100	396	95	7.5	129	255	100	142	103	112	96	842	97	100	102
2019年計		905	96	289	102	342	86	6.4	86	268	105	148	104	119	106	810	96	95	95
2020年計		815	90	261	90	307	90	7.2	113	240	90	131	89	109	91	735	91	80	84
2021年計		856	105	286	109	321	105	5.6	77	244	102	141	108	102	94	779	106	77	96
2018年	第1四半期	205	92	61	97	87	91	1.3	79	55	89	32	99	23	78	183	92	22	94
	第2四半期	245	98	72	97	101	96	2.7	242	69	99	36	105	33	93	219	98	26	98
	第3四半期	246	100	75	100	107	98	1.7	116	63	102	36	104	27	100	220	99	26	109
	第4四半期	246	101	76	104	101	93	1.7	112	67	110	38	105	29	119	220	100	26	108
2019年	第1四半期	216	105	65	107	81	93	1.8	138	67	121	35	108	32	140	193	105	23	104
	第2四半期	234	95	79	110	86	85	2.0	74	66	96	38	104	29	87	209	95	25	96
	第3四半期	233	95	74	99	89	83	1.3	77	68	108	37	104	31	114	209	95	24	91
	第4四半期	223	91	70	93	86	85	1.3	73	65	97	38	99	27	94	199	91	24	91
2020年	第1四半期	194	90	60	92	73	90	1.5	84	59	88	33	96	26	80	172	89	22	96
	第2四半期	205	88	64	82	76	88	1.6	76	63	94	34	89	29	100	185	89	20	79
	第3四半期	210	90	67	90	80	90	1.7	128	60	88	30	81	30	96	190	91	19	80
	第4四半期	207	93	70	99	77	90	2.5	198	58	89	33	88	24	89	187	94	20	83
2021年	第1四半期	191	98	62	103	70	95	1.2	78	58	98	32	96	26	101	173	100	18	83
	第2四半期	221	108	72	112	84	110	1.6	104	64	102	36	107	28	96	201	109	20	102
	第3四半期	225	107	77	115	86	107	1.3	79	60	100	36	117	25	82	205	108	20	104
	第4四半期	220	106	75	107	82	106	1.5	59	62	106	38	113	24	98	201	107	19	97
2022年	第1四半期	200	105	58	93	79	113	1.1	92	63	108	35	109	28	105	184	106	17	93

資料：国土交通省「住宅着工統計」



## 基礎的指標-2 新設住宅着工床面積

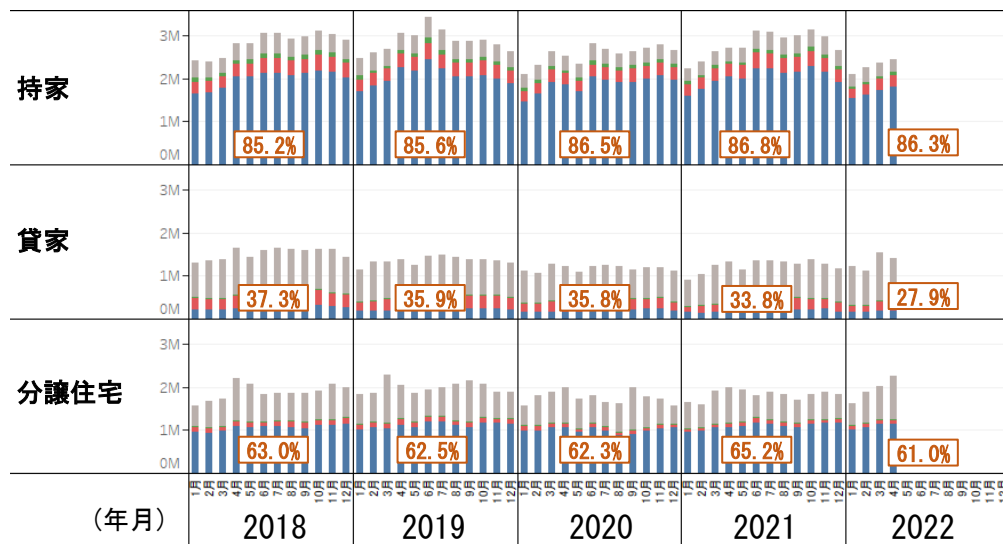
- 2021年の新設住宅着工床面積は、70.7百万m<sup>2</sup>（前年比106.3%）、このうち木造住宅は48.6百万m<sup>2</sup>（同107.9%）。
- 2022年1～4月の新設住宅着工床面積は、22.3百万m<sup>2</sup>（前年同期比102.6%）、このうち木造住宅は14.2百万m<sup>2</sup>（同97.5%）。



(単位：千m<sup>2</sup>)

構造別の着工床面積	2022年 1～4月	前年 同期	前年 同期比	前々年 同期	前々年 同期比
合計	22,328	21,772	102.6%	21,621	103.3%
■非木造	8,146	7,225	112.7%	7,266	112.1%
木造	14,182	14,547	97.5%	14,355	98.8%
■木造プレハブ	292	307	95.3%	339	86.2%
■2×4	2,146	2,182	98.4%	2,348	91.4%
■在来軸組	11,744	12,059	97.4%	11,669	100.6%
□木造率	63.5%	66.8%		66.4%	

(参考) 利用関係別の着工床面積 (ただし、「給与住宅」を除く。)



資料：国土交通省「住宅着工統計」

○新設住宅着工床面積（構造別）

（単位：千㎡、％）

年・月	合計		木造								非木造		木造率	木造1戸当りの床面積 (m <sup>2</sup> /戸)	
	計	前年比	計	前年比	在来軸組	前年比	2×4	前年比	プレハブ	前年比	計	前年比			
2018年	1	5,325	85	3,594	99	2,833	99	660	104	101	89	1,731	66	67.5	92.2
	2	5,444	94	3,542	96	2,809	95	624	98	110	93	1,903	92	65.1	92.4
	3	5,600	93	3,718	96	2,968	95	652	97	99	95	1,882	88	66.4	93.6
	4	6,696	98	4,240	101	3,373	101	766	102	101	92	2,456	94	63.3	93.8
	5	6,415	100	4,122	99	3,347	101	677	91	98	86	2,292	103	64.3	95.0
	6	6,510	91	4,362	97	3,463	98	774	94	125	93	2,147	81	67.0	94.3
	7	6,590	98	4,379	99	3,497	100	759	95	123	102	2,211	97	66.4	93.3
	8	6,450	101	4,338	101	3,443	101	781	103	114	100	2,113	100	67.2	92.3
	9	6,478	98	4,397	100	3,481	100	799	99	117	96	2,080	96	67.9	90.8
	10	6,690	102	4,607	103	3,624	103	852	103	131	109	2,083	100	68.9	91.8
	11	6,768	101	4,491	100	3,584	100	790	98	117	95	2,277	103	66.4	93.4
	12	6,343	104	4,353	104	3,438	104	795	105	120	102	1,990	103	68.6	93.0
2019年	1	5,484	103	3,607	100	2,892	102	611	93	105	104	1,877	108	65.8	94.6
	2	5,828	107	3,818	108	3,077	110	645	103	95	87	2,011	106	65.5	95.4
	3	6,320	113	3,954	106	3,169	107	690	106	95	96	2,366	126	62.6	95.4
	4	6,532	98	4,413	104	3,592	106	708	92	112	112	2,119	86	67.6	97.7
	5	6,126	95	4,210	102	3,441	103	666	98	103	105	1,916	84	68.7	99.7
	6	6,849	105	4,760	109	3,840	111	787	102	133	106	2,089	97	69.5	99.0
	7	6,656	101	4,508	103	3,652	104	738	97	118	95	2,148	97	67.7	97.3
	8	6,397	99	4,175	96	3,378	98	696	89	102	89	2,221	105	65.3	95.6
	9	6,412	99	4,204	96	3,359	96	740	93	104	89	2,208	106	65.6	92.6
	10	6,386	95	4,357	95	3,505	97	743	87	109	83	2,030	97	68.2	93.2
	11	6,036	89	4,253	95	3,411	95	735	93	108	92	1,783	78	70.5	93.8
	12	5,850	92	4,040	93	3,258	95	683	86	99	83	1,810	91	69.1	94.3
2020年	1	4,821	88	3,249	90	2,620	91	547	90	81	78	1,572	84	67.4	96.0
	2	5,194	89	3,442	90	2,796	91	563	87	83	87	1,752	87	66.3	96.1
	3	5,848	93	3,886	98	3,142	99	653	95	92	96	1,962	83	66.4	96.8
	4	5,758	88	3,779	86	3,111	87	584	82	83	74	1,980	93	65.6	97.3
	5	5,195	85	3,441	82	2,833	82	516	77	92	89	1,754	92	66.2	96.6
	6	5,861	86	3,997	84	3,325	87	569	72	104	78	1,864	89	68.2	97.0
	7	5,616	84	3,857	86	3,153	86	606	82	97	83	1,760	82	68.7	95.3
	8	5,466	85	3,643	87	2,982	88	567	81	94	93	1,823	82	66.6	94.8
	9	5,825	91	3,784	90	3,040	90	647	87	97	93	2,040	92	65.0	94.8
	10	5,735	90	3,919	90	3,200	91	627	84	92	85	1,816	89	68.3	94.6
	11	5,750	95	4,097	96	3,351	98	645	88	101	94	1,653	93	71.3	94.4
	12	5,385	92	3,899	96	3,218	99	588	86	93	93	1,486	82	72.4	97.0
2021年	1	4,825	100	3,266	101	2,705	103	492	90	69	85	1,559	99	67.7	97.8
	2	5,045	97	3,473	101	2,881	103	522	93	70	84	1,572	90	68.8	98.0
	3	5,838	100	3,818	98	3,176	101	558	85	85	93	2,020	103	65.4	97.9
	4	6,064	105	3,990	106	3,297	106	610	104	83	100	2,074	105	65.8	97.2
	5	5,852	113	3,983	116	3,282	116	623	121	78	85	1,869	107	68.1	96.8
	6	6,295	107	4,445	111	3,635	109	703	124	107	103	1,849	99	70.6	97.2
	7	6,352	113	4,344	113	3,603	114	656	108	85	87	2,008	114	68.4	97.3
	8	6,147	112	4,251	117	3,476	117	675	119	100	106	1,897	104	69.1	95.3
	9	6,012	103	4,267	113	3,463	114	700	108	104	107	1,746	86	71.0	94.6
	10	6,390	111	4,464	114	3,641	114	716	114	108	116	1,925	106	69.9	96.2
	11	6,143	107	4,310	105	3,556	106	656	102	98	97	1,833	111	70.2	96.0
	12	5,702	106	3,953	101	3,258	101	611	104	84	91	1,749	118	69.3	96.7
2022年	1	4,968	103	3,232	99	2,710	100	464	94	58	84	1,736	111	65.1	95.9
	2	5,282	105	3,416	98	2,851	99	493	94	72	103	1,867	119	64.7	96.5
	3	5,953	102	3,728	98	3,053	96	595	107	80	94	2,225	110	62.6	95.0
	4	6,125	101	3,807	95	3,130	95	594	97	83	100	2,319	112	62.1	96.1
2018年計		75,309	97	50,144	100	39,860	100	8,929	99	1,356	96	25,165	93	66.6	93.0
2019年計		74,876	99	50,298	100	40,571	102	8,443	95	1,284	95	24,578	98	67.2	95.7
2020年計		66,454	89	44,991	89	36,770	91	7,111	84	1,110	86	21,463	87	67.7	95.9
2021年計		70,666	96	48,564	108	39,972	109	7,523	106	1,070	96	22,102	103	68.7	96.7
2018年	第1四半期	16,369	91	10,854	97	8,609	96	1,935	100	309	92	5,515	80	66.3	92.7
	第2四半期	19,621	96	12,725	99	10,184	100	2,217	96	324	90	6,896	92	64.9	94.3
	第3四半期	19,518	99	13,114	100	10,421	100	2,339	99	354	100	6,404	97	67.2	92.1
	第4四半期	19,802	102	13,452	102	10,646	103	2,438	102	368	102	6,350	102	67.9	92.7
2019年	第1四半期	17,632	108	11,378	105	9,137	106	1,947	101	295	95	6,254	113	64.5	95.2
	第2四半期	19,507	99	13,383	105	10,873	107	2,161	97	349	108	6,124	89	68.6	98.8
	第3四半期	19,465	100	12,887	98	10,388	100	2,175	93	324	91	6,578	103	66.2	95.2
	第4四半期	18,272	92	12,650	94	10,173	96	2,161	89	316	86	5,622	89	69.2	93.8
2020年	第1四半期	15,863	90	10,577	93	8,558	94	1,763	91	256	87	5,286	85	66.7	96.3
	第2四半期	16,815	86	11,216	84	9,269	85	1,669	77	279	80	5,598	91	66.7	96.9
	第3四半期	16,907	87	11,283	88	9,175	88	1,820	84	289	89	5,623	85	66.7	95.0
	第4四半期	16,870	92	11,915	94	9,769	96	1,859	86	286	91	4,955	88	70.6	95.3
2021年	第1四半期	15,708	99	10,557	100	8,761	102	1,572	89	224	87	5,152	97	67.2	97.9
	第2四半期	18,211	108	12,419	111	10,215	110	1,936	116	268	96	5,792	103	68.2	97.1
	第3四半期	18,512	109	12,862	114	10,541	115	2,031	112	289	100	5,651	100	69.5	95.7
	第4四半期	18,235	108	12,727	107	10,454	107	1,983	107	289	101	5,508	111	69.8	96.3
2022年	第1四半期	16,203	103	10,375	98	8,614	98	1,552	99	209	94	5,828	113	64.0	95.8

資料：国土交通省「住宅着工統計」



○新設住宅着工床面積（利用關係別・資金別）

（單位：千m<sup>2</sup>、%）

年・月		利用關係別										資金別					
		合計		持家		貸家		給与		分譲		民間		公的			
			前年比		前年比		前年比		前年比		前年比	一戸建	前年比		前年比		
2018年	1	5,325	85	2,412	100	1,304	87	35	103	1,573	68	1,111	98	4,684	84	640	95
	2	5,444	94	2,387	93	1,343	92	53	163	1,662	97	1,096	98	4,757	95	687	91
	3	5,600	93	2,475	94	1,386	87	21	60	1,717	96	1,129	98	4,970	94	630	86
	4	6,696	98	2,821	97	1,635	95	35	134	2,205	100	1,273	106	5,905	98	791	100
	5	6,415	100	2,824	97	1,435	94	81	360	2,075	106	1,230	105	5,724	101	691	95
	6	6,510	91	3,042	96	1,603	95	45	138	1,821	80	1,230	100	5,722	91	788	90
	7	6,590	98	3,063	100	1,642	97	24	68	1,860	98	1,239	102	5,783	97	807	106
	8	6,450	101	2,934	100	1,617	101	38	116	1,862	101	1,239	104	5,729	100	721	103
	9	6,478	98	2,980	99	1,597	90	34	80	1,867	106	1,228	105	5,754	98	723	100
	10	6,690	102	3,098	104	1,630	93	51	128	1,911	109	1,295	105	5,895	102	795	103
	11	6,768	101	3,041	102	1,629	95	37	133	2,061	104	1,299	100	6,000	100	768	106
	12	6,343	104	2,889	104	1,424	93	25	79	2,005	114	1,346	108	5,601	103	742	110
2019年	1	5,484	103	2,477	103	1,144	88	32	92	1,831	116	1,154	104	4,871	104	613	96
	2	5,828	107	2,603	109	1,317	98	53	100	1,855	112	1,229	112	5,139	108	689	100
	3	6,320	113	2,675	108	1,326	96	29	135	2,290	133	1,218	108	5,629	113	692	110
	4	6,532	98	3,052	108	1,392	85	48	140	2,040	93	1,316	103	5,799	98	733	93
	5	6,126	95	2,991	106	1,255	87	32	40	1,848	89	1,238	101	5,392	94	734	106
	6	6,849	105	3,415	112	1,458	91	43	95	1,934	106	1,359	111	6,084	106	765	97
	7	6,656	101	3,147	103	1,482	90	39	162	1,988	107	1,356	110	5,884	102	772	96
	8	6,397	99	2,868	98	1,447	89	20	53	2,062	111	1,271	103	5,691	99	706	98
	9	6,412	99	2,857	96	1,377	86	32	95	2,146	115	1,237	101	5,690	99	722	100
	10	6,386	95	2,894	93	1,385	85	23	46	2,084	109	1,331	103	5,657	96	729	92
	11	6,036	89	2,791	92	1,349	83	23	61	1,873	91	1,323	102	5,331	89	705	92
	12	5,850	92	2,619	91	1,295	91	46	183	1,889	94	1,296	96	5,179	92	671	90
2020年	1	4,821	88	2,110	85	1,127	99	17	52	1,567	86	1,135	98	4,254	87	566	92
	2	5,194	89	2,299	88	1,057	80	31	58	1,807	97	1,133	92	4,601	90	593	86
	3	5,848	93	2,640	99	1,276	96	54	187	1,878	82	1,207	99	5,135	91	714	103
	4	5,758	88	2,512	82	1,214	87	34	70	1,998	98	1,210	92	5,108	88	650	89
	5	5,195	85	2,343	78	1,092	87	29	91	1,732	94	1,082	87	4,644	86	551	75
	6	5,861	86	2,816	82	1,212	83	36	84	1,797	93	1,208	89	5,239	86	622	81
	7	5,616	84	2,694	86	1,253	85	28	71	1,642	83	1,121	83	5,005	85	611	79
	8	5,466	85	2,589	90	1,220	84	33	166	1,624	79	984	77	4,911	86	555	79
	9	5,825	91	2,631	92	1,152	84	50	154	1,992	93	1,042	84	5,288	93	537	74
	10	5,735	90	2,707	94	1,189	86	48	207	1,791	86	1,104	83	5,160	91	575	79
	11	5,750	95	2,801	100	1,198	89	36	160	1,715	92	1,180	89	5,159	97	591	84
	12	5,385	92	2,661	102	1,111	86	39	85	1,574	83	1,180	91	4,811	93	574	86
2021年	1	4,825	100	2,234	106	911	81	23	136	1,656	106	1,064	94	4,332	102	493	87
	2	5,045	97	2,388	104	1,031	97	29	94	1,598	88	1,089	96	4,467	97	579	98
	3	5,838	100	2,634	100	1,261	99	26	49	1,917	102	1,177	97	5,241	102	597	84
	4	6,064	105	2,709	108	1,339	110	24	70	1,992	100	1,202	99	5,477	107	587	90
	5	5,852	113	2,714	116	1,151	105	37	128	1,950	113	1,224	113	5,249	113	603	110
	6	6,295	107	3,104	110	1,351	111	31	88	1,808	101	1,317	109	5,687	109	608	98
	7	6,352	113	3,082	114	1,358	108	25	89	1,888	115	1,275	114	5,748	115	604	99
	8	6,147	112	2,941	114	1,323	108	38	114	1,846	114	1,228	125	5,518	112	629	113
	9	6,012	103	3,000	114	1,285	112	32	65	1,695	85	1,197	115	5,454	103	558	104
	10	6,390	111	3,141	116	1,384	116	35	72	1,829	102	1,278	116	5,763	112	627	109
	11	6,143	107	2,965	106	1,269	106	28	79	1,881	110	1,298	110	5,565	108	578	98
	12	5,702	106	2,647	99	1,175	106	36	92	1,844	117	1,316	112	5,177	108	525	91
2022年	1	4,968	103	2,108	94	1,216	133	23	101	1,620	98	1,135	107	4,513	104	454	92
	2	5,282	105	2,250	94	1,115	108	26	90	1,892	118	1,200	110	4,801	107	481	83
	3	5,953	102	2,371	90	1,531	121	28	108	2,023	106	1,285	109	5,403	103	550	92
	4	6,125	101	2,452	91	1,395	104	32	133	2,247	113	1,285	107	5,609	102	516	88
2018年計		75,309	97	33,967	99	18,245	93	477	122	22,619	97	14,714	103	66,523	97	8,786	98
2019年計		74,876	99	34,388	101	16,228	89	420	88	23,840	105	15,329	104	66,346	100	8,530	97
2020年計		66,454	89	30,803	90	14,101	87	434	103	21,116	89	13,585	89	59,315	89	7,139	84
2021年計		70,666	106	33,558	109	14,839	105	364	84	21,906	104	14,664	108	63,679	107	6,988	98
2018年	第1四半期	16,369	91	7,275	96	4,033	89	109	107	4,952	85	3,336	98	14,411	91	1,958	91
	第2四半期	19,621	96	8,687	97	4,673	95	160	198	6,101	95	3,732	104	17,351	96	2,270	95
	第3四半期	19,518	99	8,977	100	4,856	96	95	87	5,589	101	3,705	104	17,266	99	2,252	103
	第4四半期	19,802	102	9,028	103	4,683	94	113	114	5,977	109	3,940	104	17,496	102	2,306	106
2019年	第1四半期	17,632	108	7,756	107	3,787	94	114	104	5,976	121	3,602	108	15,638	109	1,994	102
	第2四半期	19,507	99	9,457	109	4,104	88	123	77	5,822	95	3,913	105	17,275	100	2,232	98
	第3四半期	19,465	100	8,872	99	4,306	89	91	96	6,196	111	3,865	104	17,266	100	2,199	98
	第4四半期	18,272	92	8,304	92	4,030	86	92	81	5,846	98	3,950	100	16,166	92	2,106	91
2020年	第1四半期	15,863	90	7,049	91	3,460	91	102	89	5,252	88	3,476	96	13,990	89	1,873	94
	第2四半期	16,815	86	7,671	81	3,518	86	99	80	5,527	95	3,499	89	14,992	87	1,823	82
	第3四半期	16,907	87	7,914	89	3,625	84	110	121	5,258	85	3,147	81	15,204	88	1,703	77
	第4四半期	16,870	92	8,169	98	3,498	87	123	135	5,080	87	3,463	88	15,130	94	1,740	83
2021年	第1四半期	15,708	99	7,256	103	3,204	93	78	77	5,171	98	3,330	96	14,040	100	1,668	89
	第2四半期	18,211	108	8,526	111	3,841	109	93	94	5,751	104	3,743	107	16,413	109	1,798	99
	第3四半期	18,512	109	9,023	114	3,966	109	95	86	5,429	103	3,700	118	16,720	110	1,	

<参考> 非居住用建築物着工床面積

(単位: 千m<sup>2</sup>、%)

年次	月	合計		構造別			
				木造		非木造	
		前年比	前年比	前年比	前年比		
2019年	1	3,970	101	259	84	3,711	102
	2	3,700	85	243	96	3,457	84
	3	3,334	81	294	105	3,040	79
	4	4,440	96	354	105	4,085	95
	5	4,170	99	327	103	3,844	99
	6	4,641	102	377	102	4,264	102
	7	4,980	100	452	122	4,527	99
	8	3,987	95	479	131	3,508	91
	9	3,609	82	431	96	3,179	80
	10	3,922	85	409	99	3,513	84
	11	3,750	90	386	102	3,364	89
	12	4,184	97	330	92	3,854	98
2020年	1	2,973	75	228	88	2,745	74
	2	3,605	97	230	95	3,374	98
	3	3,718	112	280	95	3,437	113
	4	4,086	92	312	88	3,774	92
	5	4,078	98	259	79	3,818	99
	6	3,798	82	347	92	3,451	81
	7	3,855	77	323	71	3,532	78
	8	3,662	92	371	77	3,291	94
	9	3,891	108	416	97	3,476	109
	10	3,635	93	400	98	3,235	92
	11	3,371	90	346	90	3,025	90
	12	3,565	85	308	93	3,257	85
2021年	1	3,364	113	246	108	3,118	114
	2	3,345	93	241	105	3,104	92
	3	4,272	115	287	103	3,984	116
	4	4,207	103	347	111	3,861	102
	5	4,277	105	307	119	3,970	104
	6	4,275	113	327	94	3,948	114
	7	4,082	106	344	107	3,738	106
	8	3,127	85	299	81	2,828	86
	9	3,700	95	307	74	3,394	98
	10	5,328	147	341	85	4,987	154
	11	3,737	111	293	85	3,444	114
	12	4,747	133	281	91	4,465	137
2022年	1	3,237	96	214	87	3,023	97
	2	3,711	111	223	93	3,488	112
	3	3,627	85	244	85	3,384	85
	4	4,865	116	285	82	4,580	119
2019年計		48,687	93	4,341	103	44,346	92
2020年計		44,237	91	3,820	88	40,415	91
2021年計		48,461	110	3,620	95	44,841	111
2019年	第1四半期	11,004	89	796	94	10,208	88
	第2四半期	13,251	99	1,058	103	12,193	99
	第3四半期	12,576	93	1,362	115	11,214	90
	第4四半期	11,856	91	1,125	98	10,731	90
2020年	第1四半期	10,296	94	738	93	9,556	94
	第2四半期	11,962	90	918	87	11,043	91
	第3四半期	11,408	91	1,110	81	10,299	92
	第4四半期	10,571	89	1,054	94	9,517	89
2021年	第1四半期	10,981	107	774	105	10,206	107
	第2四半期	12,759	107	981	107	11,779	107
	第3四半期	10,909	96	950	86	9,960	97
	第4四半期	13,812	131	915	87	12,896	136
2022年	第1四半期	10,575	96	681	88	9,895	97

資料：国土交通省「建築着工統計調査報告」



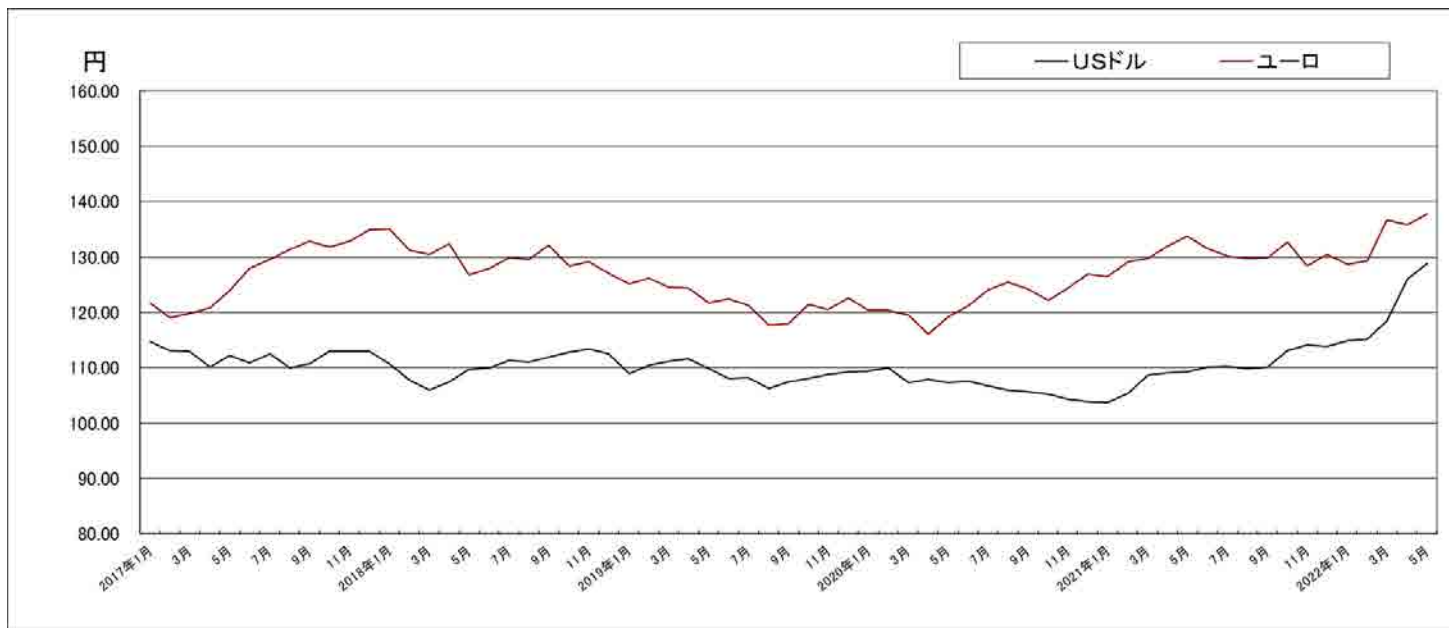
## 基礎的指標-3 木材産業の業況

- 2021年は、木材産業の倒産件数が19件（前年比70.3%）、負債金額が4,313百万円（同112.0%）。
- 2022年1～4月は、木材産業の倒産件数が7件（前年同期比77.8%）、負債金額が4,923百万円（同883.8%）。

年・月	企業倒産状況								
	件数 (件)	全 企 業			木 材・木 製 品 業				
		前年 比(%)	負債金額 (百万円)	前年 比(%)	件数 (件)	前年 比(%)	負債金額 (百万円)	前年 比(%)	
2019年	1	666	105	168,374	161	0	-	0	-
	2	589	95	195,534	217	1	100	10	2
	3	662	84	97,114	73	1	33	532	51
	4	645	99	106,916	112	2	50	797	111
	5	695	91	107,465	103	3	100	795	313
	6	734	106	86,957	40	1	25	59	8
	7	802	114	93,400	83	5	500	347	694
	8	678	98	87,149	72	3	300	278	150
	9	702	113	112,985	61	6	300	959	3,197
	10	780	107	88,578	75	2	100	91	1
	11	727	101	122,452	101	2	200	470	904
	12	704	113	156,864	192	4	200	543	32
2020年	1	773	116	124,734	74	0	-	0	-
	2	651	111	71,283	36	0	-	0	-
	3	740	112	105,949	109	1	100	300	56
	4	743	115	144,990	136	10	500	1,280	161
	5	314	45	81,336	76	2	67	320	40
	6	780	106	128,816	148	4	400	444	753
	7	789	98	100,821	108	1	20	89	26
	8	667	98	72,416	83	2	67	150	54
	9	565	80	70,740	63	1	17	637	66
	10	624	80	78,342	88	2	100	57	63
	11	569	78	102,101	83	3	150	550	117
	12	558	79	138,518	88	1	25	25	5
2021年	1	474	61	81,388	65	2	-	180	-
	2	446	69	67,490	95	0	-	0	-
	3	634	86	141,453	134	3	300	327	109
	4	477	64	84,098	58	4	40	50	4
	5	472	150	168,664	207	1	50	120	38
	6	541	69	68,566	53	5	125	3,296	742
	7	476	60	71,465	71	0	-	0	-
	8	466	70	90,973	126	1	50	10	7
	9	505	89	90,860	128	2	200	230	36
	10	525	84	98,464	126	0	-	0	-
	11	510	90	94,101	92	0	-	0	-
	12	504	90	93,181	67	1	100	100	400
2022年	1	452	95	66,940	82	1	50	13	7
	2	459	103	70,989	105	0	-	0	-
	3	593	94	169,673	120	4	133	2,010	615
	4	486	102	81,253	97	2	50	2,900	5,800
2019年計		8,384	102	1,423,788	96	30	115	4,881	40
2020年計		7,773	93	1,220,046	86	27	90	3,852	79
2021年計		6,030	78	1,150,703	94	19	70	4,313	112
2019年	第1四半期	1,917	94	461,022	141	2	33	542	33
	第2四半期	2,074	98	301,338	72	6	55	1,651	99
	第3四半期	2,182	108	293,534	70	14	350	1,584	598
	第4四半期	2,211	107	367,894	115	8	160	1,104	13
2020年	第1四半期	2,164	113	301,966	65	1	50	300	55
	第2四半期	1,837	89	355,142	118	16	267	2,044	124
	第3四半期	2,021	93	243,977	83	4	29	876	55
	第4四半期	1,751	79	318,961	87	6	75	632	57
2021年	第1四半期	1,554	72	290,331	96	5	500	507	169
	第2四半期	1,490	81	321,328	90	10	63	3,466	170
	第3四半期	1,447	72	253,298	104	3	75	240	27
	第4四半期	1,539	88	285,746	90	1	17	100	16
2022年	第1四半期	1,504	97	307,602	106	5	100	2,023	399

資料：東京商工リサーチ「TSR情報（全国企業倒産状況）」

- 2022年5月の為替相場は、1ドル128.78円、1ユーロ137.76円。



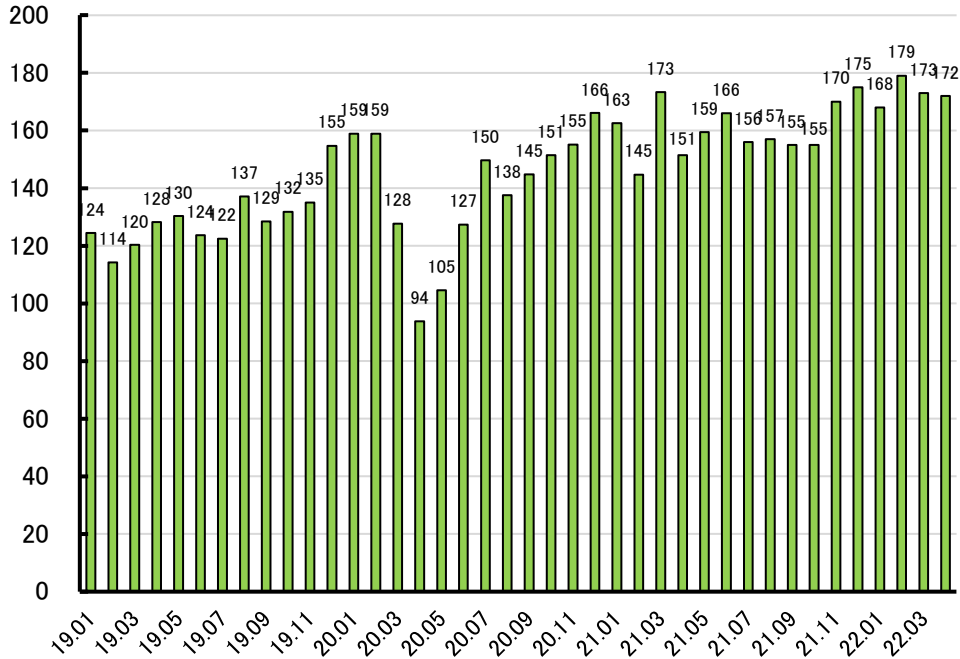
年月	USドル	ユーロ
2017年1月	114.73	121.75
2月	113.06	118.98
3月	113.01	119.79
4月	110.06	120.85
5月	112.21	123.95
6月	110.91	127.97
7月	112.44	129.65
8月	109.91	131.34
9月	110.68	132.85
10月	112.96	131.76
11月	112.92	132.81
12月	112.97	134.94
2018年1月	110.77	135.08
2月	107.82	131.28
3月	106.00	130.52
4月	107.43	132.39
5月	109.69	126.73
6月	110.03	127.91
7月	111.37	129.93
8月	111.06	129.56
9月	111.89	132.14
10月	112.78	128.43
11月	113.37	129.19
12月	112.45	127.00
2019年1月	108.95	125.15
2月	110.36	126.09
3月	111.21	124.56
4月	111.66	124.38
5月	109.83	121.74
6月	108.06	122.49
7月	108.22	121.19
8月	106.27	117.63
9月	107.41	118.02
10月	108.12	121.46
11月	108.86	120.59
12月	109.18	122.54

年月	USドル	ユーロ
2020年1月	109.34	120.30
2月	109.96	120.32
3月	107.29	119.55
4月	107.93	116.00
5月	107.31	119.13
6月	107.56	121.08
7月	106.78	124.13
8月	106.04	125.47
9月	105.74	124.17
10月	105.24	122.14
11月	104.40	124.38
12月	103.82	126.95
2021年1月	103.70	126.48
2月	105.36	129.15
3月	108.65	129.80
4月	109.13	131.99
5月	109.19	133.74
6月	110.11	131.58
7月	110.29	130.11
8月	109.84	129.69
9月	110.17	129.86
10月	113.10	132.77
11月	114.13	128.41
12月	113.87	130.51
2022年1月	114.83	128.66
2月	115.20	129.34
3月	118.51	136.70
4月	126.04	135.83
5月	128.78	137.76

資料：USドルは日銀 主要時系列統計データ表 為替相場（東京市場 スポットレート 中心相場 月中平均）、ユーロは日銀「金融経済統計月報」対顧客為替相場。

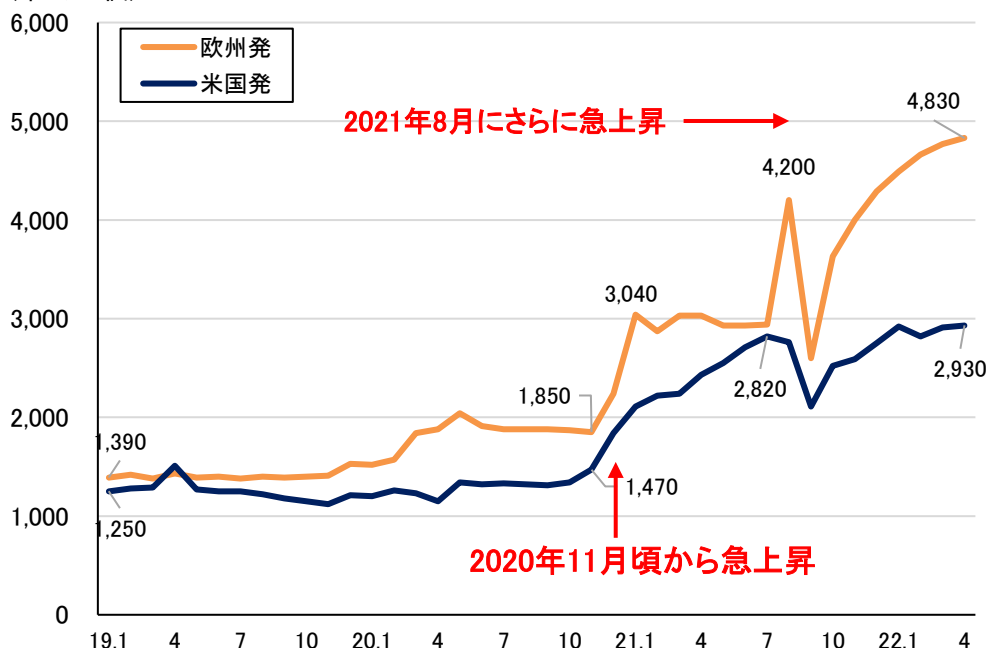
- 米国の住宅着工戸数（戸建て計）は、コロナ禍による在宅需要の増加と住宅ローンの低金利により、2020年5月から急増。2021年3月に173万戸（年率換算）を記録。2022年4月は、前月から▲1%減の172万戸。
- 2021年秋以降、中国から北米へのコンテナの急増による他国でのコンテナ不足と、コロナ禍による中国での港湾作業員不足が深刻化。
- 世界的なコンテナ不足により、海上輸送運賃が急激に上昇。日本向けコンテナ運賃は、2021年9月に一時大きく下落したものの、同年10月以降は欧州発、米国発ともに再度上昇傾向。

○米国における住宅着工戸数  
(万戸)



資料：(住宅着工戸数)米国商務省「住宅着工統計」(季節調整済み、年率換算、戸建て計)

○日本向けコンテナ運賃の推移  
(米ドル/個)



資料：日本海事センター「主要航路コンテナ運賃動向」

(注) 40ftコンテナ。「米国発」はLos Angeles発横浜着、「欧州発」はRotterdam発横浜着。

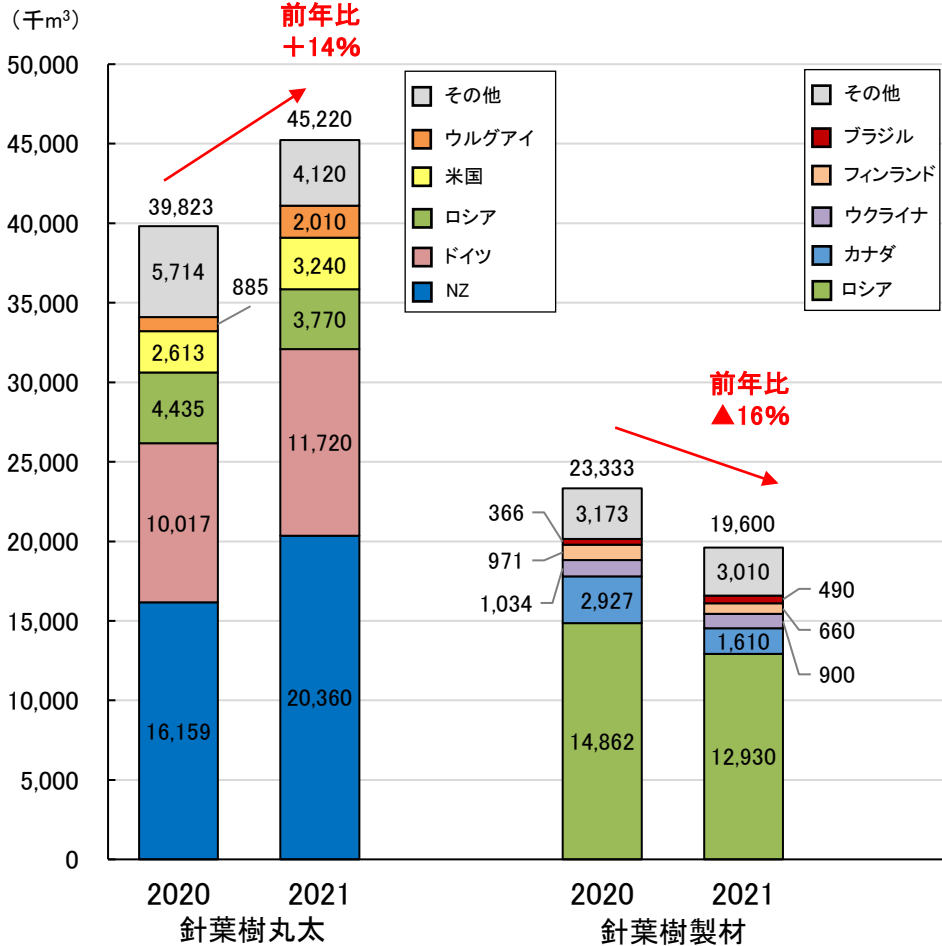
(出典) Drewry「Container Freight Rate Insight」



## 基礎的指標-6 中国の木材輸入量、EUにおける建設活動水準

- 中国では、木材需要が継続して増加。2021年の針葉樹丸太輸入量は、前年同期比+14%増の4,522万m<sup>3</sup>。一方、針葉樹製材輸入量は、前年同期比▲16%減の1,960万m<sup>3</sup>。木材輸入の形態が製材から丸太へシフト。
- EUでは、コロナ禍により、一昨年春に建設活動が急激に低下したが、同年夏以降は回復して、以後、堅調に推移。

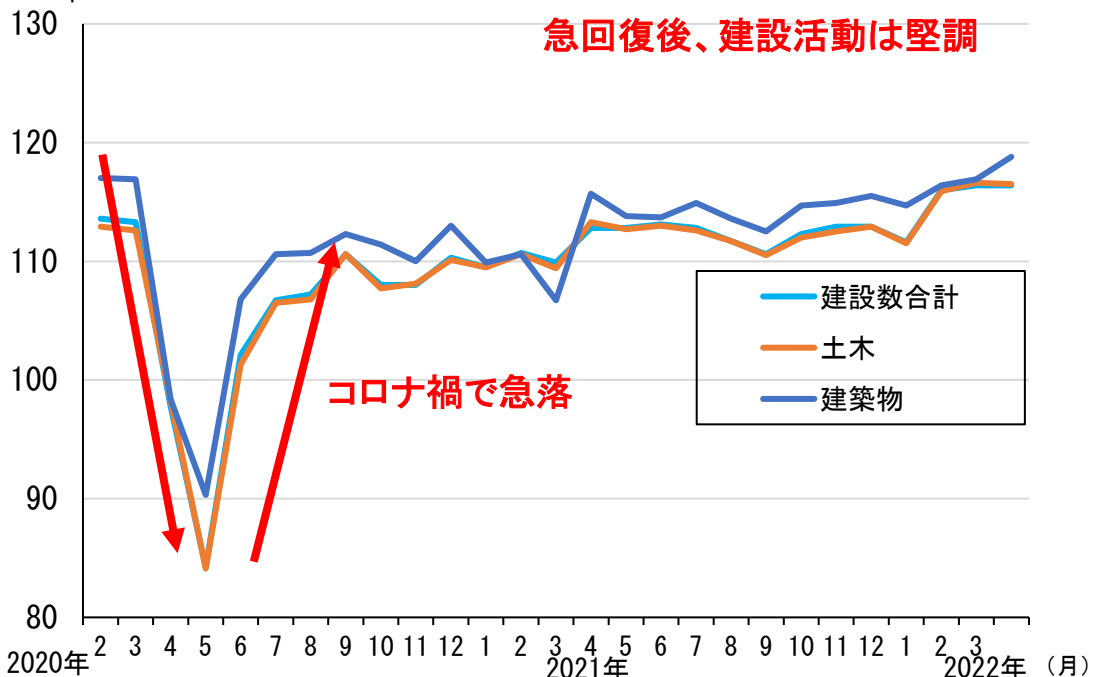
### ○中国の木材輸入量



資料: ITTO (Tropical Timber Market Report, Vol.26 (3) (5))

### ○EUにおける建設活動水準 (2015年比)

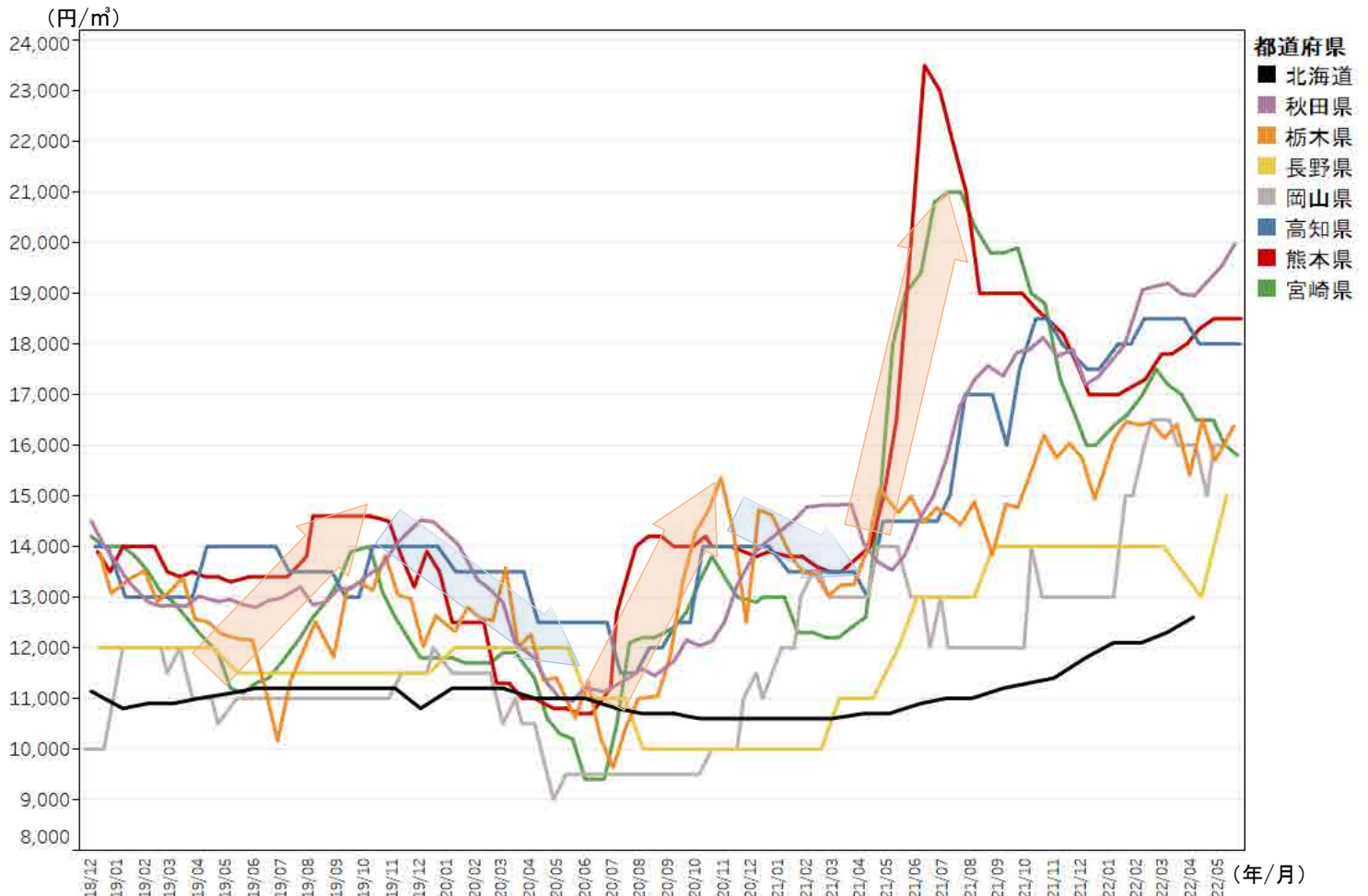
2015年=100



資料: Eurostat (Production in construction - monthly data)

# 木材価格情報-1 スギ原木の主要市場価格

- 例年であれば春から梅雨時期にかけては原木価格が下落する時期にもかかわらず、2021年に入ってから4月以降、価格が上昇。その後も高い水準で推移。
- 直近のスギ原木価格は、前年同期比88%から145%となっている。



資料：林野庁木材産業課調べ

注1：北海道はカラマツ（工場着価格）。

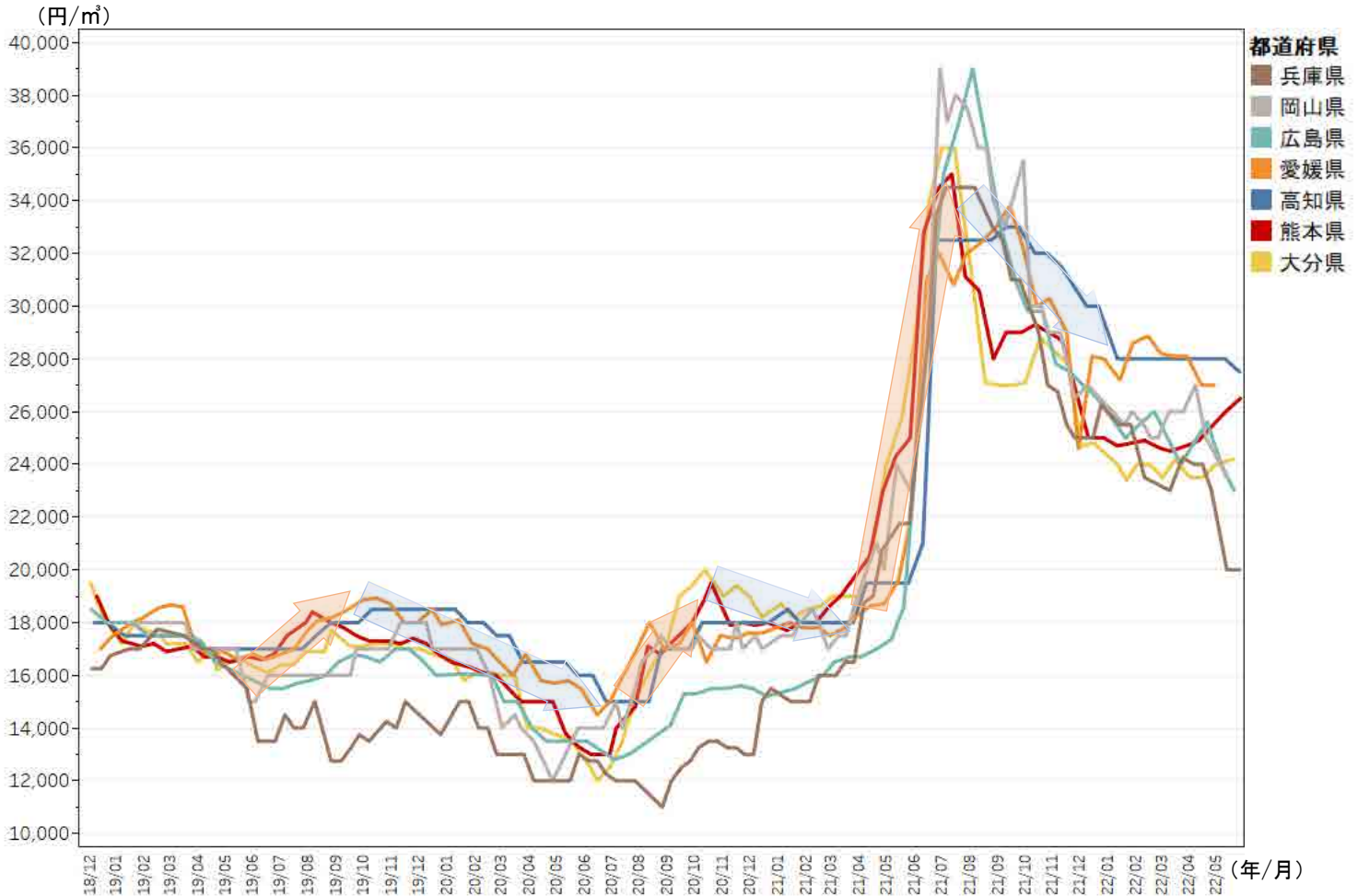
注2：径24cm程度、長さ3.65~4.0m（2018年12月～）。

注3：都道府県が選定した特定原木市場・共販所の価格。

都道府県	2022年直近*	前年同期	前年同期比
北海道	12,600	10,700	118%
秋田県	19,980	13,820	145%
栃木県	16,380	14,670	112%
長野県	15,000	12,000	125%
岡山県	16,000	14,000	114%
高知県	18,000	14,500	124%
熊本県	18,500	20,000	93%
宮崎県	15,800	18,000	88%

※北海道については4月、秋田県、栃木県、長野県、岡山県、高知県、熊本県及び宮崎県については5月の値を使用。

- ヒノキにおいてもスギと同様の傾向にあり、例年であれば春から梅雨時期にかけては原木価格が下落する時期にもかかわらず、2021年に入ってから4月以降、価格が大きく上昇。その後も、高い水準で推移。
- 直近のヒノキ原木価格は、前年同期比92%から144%となっている。



資料：林野庁木材産業課調べ

注1：径24cm程度、長3.65～4.0m（2018年12月～）

注2：都道府県が選定した特定の原木市場・共販所の価格。

都道府県	2022年直近※	前年同期	前年同期比
■ 兵庫県	20,000	21,750	92%
■ 岡山県	23,500	24,000	98%
■ 広島県	23,000	18,600	124%
■ 愛媛県	27,000	18,700	144%
■ 高知県	27,500	19,500	141%
■ 熊本県	26,500	25,000	106%
■ 大分県	24,200	25,800	94%

※愛媛県については4月、兵庫県、岡山県、広島県、高知県、熊本県及び大分県については5月の値を使用。





年次	月	構造用集成材						チップ							
		スギ集成管柱			ホホワイトウッド集成管柱			チップ用素材(丸太)				木材チップ			
		国産、無化粧			国産、無化粧			針葉樹		広葉樹		針葉樹		広葉樹	
		10.5角×2.98~3m JAS		対前年比(%)	10.5角×2.98~3m JAS		対前年比(%)	針葉樹	対前年比(%)	広葉樹	対前年比(%)	針葉樹	対前年比(%)	広葉樹	対前年比(%)
	(円/m <sup>3</sup> )	(円/本)		(円/m <sup>3</sup> )	(円/本)	(円/m <sup>3</sup> )	(%)	(円/m <sup>3</sup> )	(%)	(円/t)	(%)	(円/t)	(%)		
2019年	1							6,200	103	9,200	101	14,200	102	19,000	102
	2							6,200	103	9,300	101	14,200	102	19,000	102
	3							6,200	102	9,300	101	14,200	101	19,000	102
	4							6,200	103	9,300	101	14,500	104	19,000	102
	5							6,300	105	9,300	101	14,500	104	19,000	102
	6							6,300	105	9,300	101	14,500	104	19,000	102
	7							6,300	105	9,300	101	14,500	104	19,000	102
	8							6,300	105	9,300	101	14,500	104	19,000	102
	9							6,300	103	9,300	101	14,500	103	19,000	101
	10							6,400	103	9,500	103	14,700	104	19,300	103
	11							6,500	105	9,500	103	14,800	104	19,300	102
	12							6,500	105	9,500	102	14,800	103	19,300	102
2020年	1	60,469	2,000		60,469	2,000		6,500	105	9,500	103	14,900	105	19,400	102
	2	60,469	2,000		60,469	2,000		6,500	105	9,500	102	14,900	105	19,400	102
	3	63,492	2,100		60,469	2,000		6,500	105	9,400	101	14,900	105	19,400	102
	4	60,469	2,000		60,469	2,000		6,500	105	9,500	102	14,900	103	19,400	102
	5	60,469	2,000		60,469	2,000		6,500	103	9,500	102	14,900	103	19,400	102
	6	60,469	2,000		60,469	2,000		6,500	103	9,500	102	14,800	102	19,400	102
	7	63,492	2,100		60,469	2,000		6,500	103	9,500	102	14,800	102	19,400	102
	8	63,492	2,100		60,469	2,000		6,500	103	9,500	102	14,800	102	19,400	102
	9	63,492	2,100		60,469	2,000		6,500	103	9,500	102	14,800	102	19,400	102
	10	60,469	2,000		60,469	2,000		6,500	102	9,500	100	14,800	101	19,300	100
	11	60,469	2,000		60,469	2,000		6,500	100	9,500	100	14,800	100	19,200	99
	12	60,469	2,000		57,445	1,900		6,500	100	9,500	100	14,800	100	19,200	99
2021年	1	63,492	2,100	105	57,445	1,900	95	6,500	100	9,500	100	14,800	99	19,400	100
	2	60,469	2,000	100	57,445	1,900	95	6,500	100	9,500	100	14,600	98	19,300	99
	3	60,469	2,000	95	60,469	2,000	100	6,500	100	9,500	101	14,600	98	19,300	99
	4	63,492	2,100	105	66,515	2,200	110	6,500	100	9,500	100	14,600	98	19,300	99
	5	66,515	2,200	110	72,562	2,400	120	6,700	103	9,500	100	14,600	98	19,300	99
	6	72,562	2,400	120	84,656	2,800	140	6,700	103	9,500	100	14,700	99	19,300	99
	7	75,586	2,500	119	96,750	3,200	160	6,700	103	9,500	100	14,700	99	19,300	99
	8	90,703	3,000	143	117,914	3,900	195	6,700	103	9,500	100	14,700	99	19,400	100
	9	96,750	3,200	152	142,101	4,700	235	6,700	103	9,500	100	14,700	99	19,400	100
	10	105,820	3,500	175	154,195	5,100	255	6,700	103	9,500	100	14,700	99	19,400	101
	11	108,844	3,600	180	154,195	5,100	255	6,700	103	9,500	100	14,700	99	19,300	101
	12	111,867	3,700	185	154,195	5,100	268	6,700	103	9,500	100	14,600	99	19,400	101
2022年	1	111,867	3,700	176	157,218	5,200	274	6,700	103	9,500	100	15,000	101	19,400	100
	2	114,890	3,800	190	157,218	5,200	274	6,700	103	9,600	101	15,000	103	19,400	101
	3	111,867	3,700	185	154,195	5,100	255	6,800	105	9,600	101	15,100	103	19,400	101
	4	114,890	3,800	181	154,195	5,100	232	6,900	106	9,700	102	15,200	104	19,600	102
	5	114,890	3,800	173	154,195	5,100	213	7,000	104	9,700	102	15,300	105	19,800	103
2019年								6,300	103	9,300	101	14,500	103	19,100	102
2020年		60,469	2,000		60,469	2,000		6,500	103	9,500	102	14,800	102	19,400	102
2021年		81,633	2,700	135	102,797	3,400	170	6,600	102	9,500	100	14,700	99	19,300	99
2019年	第1四半期							6,200	103	9,300	101	14,200	102	19,000	102
	第2四半期							6,300	105	9,300	101	14,500	104	19,000	102
	第3四半期							6,300	105	9,300	101	14,500	103	19,000	101
	第4四半期							6,500	105	9,500	103	14,800	104	19,300	102
2020年	第1四半期	60,469	2,000		60,469	2,000		6,500	105	9,500	102	14,900	105	19,400	102
	第2四半期	60,469	2,000		60,469	2,000		6,500	103	9,500	102	14,900	103	19,400	102
	第3四半期	63,492	2,100		60,469	2,000		6,500	103	9,500	102	14,800	102	19,400	102
	第4四半期	60,469	2,000		60,469	2,000		6,500	100	9,500	100	14,800	100	19,200	99
2021年	第1四半期	60,469	2,000	100	57,445	1,900	95	6,500	100	9,500	100	14,700	99	19,300	99
	第2四半期	66,515	2,200	110	75,586	2,500	125	6,600	102	9,500	100	14,600	98	19,300	99
	第3四半期	87,680	2,900	138	117,914	3,900	195	6,700	103	9,500	100	14,700	99	19,400	100
	第4四半期	108,844	3,600	180	154,195	5,100	255	6,700	103	9,500	100	14,700	99	19,400	101
2022年	第1四半期	111,867	3,700	185	157,218	5,200	274	6,700	103	9,600	101	15,000	102	19,400	101

資料：農林水産省「木材需給報告書」「木材価格」

- 注：1 構造用集成材価格、木材チップ用丸太価格及び木材チップ価格は、それぞれ集成管柱工場から販売先への出荷時の販売価格、木材チップ工場における工場着購入価格、パルプ向けチップ工場における工場渡し価格である。  
 2 構造用集成材のm3当たりの価格は、1本を0.033075m3に換算して算出した。  
 3 2022年は「木材価格」に拠る速報値、2021年以前は「木材需給報告書」に拠る確定値である。  
 (速報値は今後修正される可能性がある)

<参考>都道府県別データ ※農林水産省統計部による調査結果

○スギ中丸太（製材用、径14.0~22.0cm、長3.65~4.0m）

・2021年

単位：円/m<sup>3</sup>

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
青森	10,500	10,500	10,500	10,500	11,600	11,600	12,100	12,100	12,100	12,100	12,100	12,100
岩手	11,800	11,700	11,800	12,600	13,000	13,400	13,800	13,800	14,100	14,400	14,800	15,100
宮城	11,300	11,500	11,700	11,900	12,100	12,700	12,700	12,300	12,400	12,400	13,400	14,100
秋田	11,100	11,400	11,500	11,500	11,600	11,700	11,900	12,800	13,100	13,600	13,500	13,500
山形	11,200	11,200	11,200	11,500	11,900	11,900	14,200	14,300	14,400	16,300	16,300	16,300
福島	12,800	12,100	12,100	11,400	12,600	12,700	13,000	12,400	13,000	13,000	13,600	14,200
栃木	13,800	13,800	13,800	13,800	15,400	15,400	15,400	15,400	15,400	15,400	15,400	16,500
岐阜	13,300	13,300	13,300	13,300	13,300	15,000	15,000	16,100	16,100	16,600	16,600	16,600
静岡	13,600	13,600	13,800	14,100	14,700	16,100	17,200	17,500	17,900	17,900	18,300	18,000
三重	12,700	12,500	12,900	13,300	14,300	15,300	15,800	16,100	17,100	17,100	17,200	17,200
奈良	11,600	12,600	12,600	13,100	13,200	15,200	15,200	15,200	15,200	15,300	15,300	15,300
岡山	11,100	11,500	12,100	13,200	13,200	13,700	14,300	14,300	13,900	13,900	13,900	14,300
徳島	14,500	14,500	14,500	14,800	14,800	16,600	16,600	17,200	17,200	17,600	17,600	17,600
愛媛	15,900	15,900	15,400	15,900	15,900	18,100	19,900	20,000	20,000	19,900	19,800	18,600
佐賀	13,800	14,100	14,100	14,600	15,400	17,600	23,100	23,100	21,400	19,800	19,200	17,600
熊本	14,900	14,900	14,900	14,900	18,300	21,900	18,000	21,800	21,700	21,700	21,400	21,000
大分	15,000	14,400	14,400	14,900	16,000	20,700	21,800	19,900	18,700	18,300	18,500	18,800
宮崎	14,000	13,600	13,700	13,800	17,400	19,800	20,600	20,500	20,900	20,600	18,700	17,900
鹿児島	13,900	13,600	13,400	13,900	18,700	21,200	22,200	22,200	21,500	21,500	21,000	19,900

・2022年

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月
青森	12,100	12,100	14,300	14,400	14,400
岩手	15,400	16,100	16,400	16,700	17,400
宮城	15,400	15,600	16,200	17,000	17,000
秋田	13,500	14,600	14,700	14,900	15,100
山形	17,100	17,200	17,200	18,100	18,400
福島	14,600	14,600	14,600	13,400	13,200
栃木	16,500	16,500	16,500	16,500	16,500
岐阜	16,600	16,600	16,600	17,700	18,300
静岡	18,200	18,500	18,800	18,900	19,300
三重	17,100	17,300	17,400	18,100	18,600
奈良	16,800	16,800	16,800	17,900	17,900
岡山	13,800	13,800	13,800	13,800	15,300
徳島	17,600	17,600	17,600	17,600	17,600
愛媛	18,600	20,800	22,900	23,000	22,900
佐賀	17,000	17,000	17,600	17,600	17,600
熊本	19,400	21,400	21,400	19,000	21,300
大分	18,800	19,500	18,600	17,800	18,000
宮崎	17,200	17,800	18,000	17,700	17,700
鹿児島	18,800	18,300	18,300	18,300	18,800

○ヒノキ中丸太（製材用、径14.0~22.0cm、長3.65~4.0m）

・2021年

単位：円/m<sup>3</sup>

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
福島	22,900	20,500	20,800	26,000	30,200	30,600	30,900	30,900	31,300	33,000	34,800	35,800
茨城	21,200	20,400	20,400	21,700	25,600	26,100	26,500	26,500	27,300	29,000	29,600	29,600
栃木	20,100	20,100	20,000	20,300	24,700	28,900	28,900	28,800	28,800	28,900	29,100	30,100
岐阜	17,700	17,700	18,100	17,700	18,400	27,000	27,900	30,800	31,200	31,700	32,600	29,100
静岡	20,000	19,900	20,300	21,000	21,600	27,000	31,500	36,700	38,600	40,800	40,300	39,300
三重	13,700	13,900	14,100	14,500	15,800	20,600	21,800	25,200	26,500	27,200	25,500	24,800
兵庫	20,700	20,700	22,900	24,000	24,100	30,700	35,500	33,100	32,900	32,900	33,000	33,000
奈良	14,700	15,800	15,800	16,400	16,400	20,000	20,000	22,000	27,000	30,000	30,000	28,800
和歌山	15,900	15,900	15,900	16,800	19,600	21,600	21,600	21,900	21,900	27,000	27,700	27,700
岡山	21,400	21,500	21,700	22,600	23,500	24,500	31,700	30,800	30,600	30,100	29,600	27,200
愛媛	21,100	21,100	21,100	21,900	22,400	26,100	39,100	42,700	44,300	45,700	39,700	31,400
高知	17,500	19,100	19,000	19,100	20,400	21,900	26,200	33,800	31,600	31,300	32,700	28,800
熊本	20,800	21,100	21,100	21,900	27,300	33,500	37,500	36,700	33,000	33,600	35,700	28,700
大分	12,100	14,300	15,300	17,200	17,900	24,400	29,200	30,800	30,600	29,200	28,900	28,600
宮崎	19,300	19,100	18,600	19,800	22,000	27,500	31,900	37,300	34,100	34,100	33,200	32,400

・2022年

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月
福島	35,500	34,900	34,400	32,800	32,800
茨城	29,400	28,300	28,000	28,000	27,800
栃木	31,100	31,000	30,000	29,700	29,700
岐阜	30,500	28,900	28,900	28,900	27,600
静岡	33,300	31,000	29,400	29,400	28,900
三重	25,600	26,900	27,000	27,200	26,200
兵庫	33,000	32,900	30,700	30,600	30,600
奈良	29,900	29,900	30,000	28,900	27,800
和歌山	25,900	25,900	25,900	25,900	25,500
岡山	22,300	22,000	26,200	27,900	24,900
広島	35,900	28,900	28,600	28,200	27,300
愛媛	30,100	29,000	28,200	27,200	28,100
高知	29,900	29,100	27,200	27,400	27,200
熊本	30,300	27,600	27,500	27,100	28,100
大分	27,300	25,100	23,400	19,800	17,600
宮崎	31,200	30,100	27,500	25,300	24,800

資料：農林水産省「木材価格」

注1：「X」は、個人又は法人その他の団体に関する秘密を保護するため、統計数値を公表していないもの。

注2：年間を通じて価格を「X」として、統計数値を公表していない都道府県は省略している。



## ○カラマツ中丸太（製材用、径14.0～28.0cm、長3.65～4.0m）

・2021年

単位：円/m<sup>3</sup>

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
北海道	11,900	12,000	11,900	11,900	11,900	12,500	12,700	12,800	13,100	13,200	13,300	13,300
岩手	17,600	17,600	17,600	17,700	18,300	18,800	20,100	20,100	20,800	20,900	21,000	21,100

・2022年

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月
北海道	13,700	13,600	13,800	14,000	14,500
岩手	21,200	23,900	25,300	25,500	31,500

## ○スギ丸太（合板用、径18.0cm上）

・2021年

単位：円/m<sup>3</sup>

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
岩手	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600	9,900	10,600	11,300	11,700	12,400
宮城	10,900	10,900	10,900	10,900	10,900	11,100	11,100	11,100	11,600	11,900	13,300	14,400
秋田	10,300	10,300	10,300	10,600	10,500	10,600	10,600	11,200	11,400	11,500	12,900	13,300
島根	11,900	12,700	12,800	12,800	12,900	13,000	13,200	13,800	14,300	14,800	14,900	14,900

・2022年

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月
岩手	12,600	13,300	14,100	14,100	14,100
宮城	15,300	16,400	16,400	16,400	16,400
秋田	14,100	16,700	17,200	17,900	17,800
島根	14,300	14,900	15,000	15,300	15,600

## ○スギ正角（厚10.5cm、幅10.5cm、長3.0m、2級）

・2021年

単位：円/m<sup>3</sup>

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
千葉	52,900	52,900	52,900	66,800	72,000	98,700	98,700	98,700	98,700	98,700	98,500	88,000
東京	x	x	x	x	66,000	66,000	66,000	61,200	61,200	61,200	61,200	61,200
大阪	55,000	55,000	58,100	61,900	65,000	80,500	92,900	105,800	105,800	105,800	105,800	105,800
福岡	38,900	38,900	38,900	41,800	44,000	53,600	56,900	57,200	57,200	59,300	58,600	58,600

・2022年

都道府県	1月	2月	3月
千葉	/		88,000
東京			58,800
大阪			103,100
福岡			58,600

※2022年1月より四半期ごとの公表（4月に3月分、7月に6月分、10月に9月分、翌1月に12月分を公表）。次回公表は7月。

## ○スギ正角・乾燥材（厚10.5cm、幅10.5cm、長3.0m、2級）

・2021年

単位：円/m<sup>3</sup>

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
埼玉	60,900	61,000	64,100	86,000	97,800	132,500	137,600	138,800	143,200	143,000	142,700	142,300
千葉	69,100	69,400	70,100	86,300	99,000	125,500	147,100	152,300	153,100	153,100	146,900	142,900
東京	71,400	71,400	71,400	71,500	85,900	115,400	142,600	142,900	148,300	148,300	148,300	148,300
神奈川	66,300	68,100	68,500	77,400	79,400	111,200	131,700	152,000	153,000	153,100	153,100	153,100
愛知	71,300	71,300	71,300	80,700	89,100	107,500	121,800	121,800	121,800	121,800	121,600	116,100
大阪	70,600	70,600	70,900	76,800	82,500	99,000	111,200	111,200	111,200	112,500	112,500	112,500
兵庫	70,200	70,200	71,500	79,300	91,500	113,300	128,000	142,700	142,700	142,700	142,700	142,700
福岡	62,000	62,000	62,000	67,400	77,800	93,100	103,900	112,900	113,600	120,400	120,400	120,400

・2022年

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月
埼玉	125,700	125,200	125,200	125,500	125,500
千葉	146,100	146,100	146,100	140,800	140,800
東京	148,900	148,900	148,900	148,900	148,900
神奈川	153,100	153,000	153,000	153,000	153,000
愛知	116,100	116,100	114,800	114,800	120,100
大阪	111,900	111,900	111,900	112,500	122,300
兵庫	142,900	142,900	142,900	142,900	146,000
福岡	120,400	120,400	120,400	120,400	120,400

資料：農林水産省「木材価格」

注1：2021年8月より、東京都の調査対象が変更になったことから、2021年7月及び8月の東京都のスギ正角の数値は接続しない。

注2：「x」は、個人又は法人その他の団体に関する秘密を保護するため、統計数値を公表していないもの。

注3：年間を通じて価格を「X」として、統計数値を公表していない都道府県は省略している。

注4：スギ正角の価格は、2022年1月より四半期ごとの公表となった（4月に3月分、7月に6月分、10月に9月分、翌1月に12月分を公表）。

○ヒノキ正角（厚10.5cm、幅10.5cm、長3.0m、2級）

・2021年

単位：円/m<sup>3</sup>

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
千葉県	71,900	71,900	71,900	73,900	84,800	86,000	98,200	98,200	98,200	98,200	98,200	98,200
東京都	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
愛知県	85,400	85,400	85,400	86,700	88,000	92,500	96,100	96,100	96,100	96,100	96,100	96,100
大阪府	62,400	62,400	71,300	67,900	72,000	83,200	108,700	118,200	145,700	129,000	129,000	125,800
兵庫県	66,800	66,800	67,200	69,500	76,400	79,600	87,400	99,300	120,700	120,400	120,400	116,100
福岡県	50,300	50,300	50,300	50,300	55,800	66,000	82,500	82,500	82,500	82,500	82,500	82,500

・2022年

都道府県	1月	2月	3月
千葉県			98,200
東京都			x
愛知県			94,800
大阪府			119,700
兵庫県			116,300
福岡県			82,500

※2022年1月より四半期ごとの公表（4月に3月分、7月に6月分、10月に9月分、翌1月に12月分を公表）。次回公表は7月。

○ヒノキ正角・乾燥材（厚10.5cm、幅10.5cm、長3.0m、2級）

・2021年

単位：円/m<sup>3</sup>

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
埼玉県	78,200	78,200	79,000	91,400	100,900	138,900	147,000	148,000	164,300	168,700	167,900	160,200
千葉県	94,000	94,900	95,800	105,500	114,200	131,500	149,300	161,300	161,300	165,900	163,800	164,900
東京都	98,900	98,900	98,900	98,900	104,500	121,000	142,900	143,100	159,500	175,800	175,800	175,800
神奈川県	78,700	79,000	84,100	94,800	110,500	146,200	178,800	184,700	186,300	187,400	187,400	187,400
愛知県	94,700	94,700	94,700	97,500	102,900	113,500	128,100	129,400	142,400	142,900	165,700	161,900
大阪府	80,100	80,100	82,800	90,600	98,000	128,900	169,100	192,900	193,800	193,800	193,800	181,100
兵庫県	78,900	78,900	79,700	88,600	101,800	113,800	152,600	179,600	188,800	188,400	188,400	180,800

・2022年

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月
埼玉県	145,600	142,500	142,500	142,500	142,500
千葉県	171,400	169,100	169,100	164,800	164,800
東京都	175,500	175,400	175,400	175,500	175,500
神奈川県	187,400	185,300	185,300	185,300	185,300
愛知県	159,400	159,400	151,900	149,700	149,700
大阪府	176,400	169,900	163,600	162,600	161,700
兵庫県	184,800	178,400	173,900	168,100	168,100

○米ツガ正角・防腐処理材（厚10.5cm、幅10.5cm、長4.0m、2級）

・2021年

単位：円/m<sup>3</sup>

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
埼玉県	78,900	78,900	79,900	85,600	98,600	104,600	116,100	129,300	139,300	139,300	141,300	141,300
千葉県	78,200	78,500	78,500	85,600	91,900	100,300	119,100	129,800	139,400	139,400	139,400	138,500
神奈川県	81,000	82,000	84,500	86,500	95,700	105,600	117,700	133,300	137,400	139,700	139,700	142,200
愛知県	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	145,500	136,900
大阪府	79,200	79,200	84,200	93,500	96,200	104,500	121,000	121,000	121,000	121,000	121,000	121,000
兵庫県	79,200	79,200	80,500	88,000	93,500	103,300	107,700	114,300	121,000	121,000	121,000	121,000

・2022年

都道府県	1月	2月	3月
北海道			135,700
埼玉県			144,700
千葉県			139,800
東京都			154,400
神奈川県			142,200
愛知県			158,300
大阪府			121,000
兵庫県			138,500

※2022年1月より四半期ごとの公表（4月に3月分、7月に6月分、10月に9月分、翌1月に12月分を公表）。次回公表は7月。

○針葉樹合板（厚1.2cm、幅91.0cm、長1.82m、1類）

・2021年

単位：円/枚

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
埼玉県	1,180	1,180	1,190	1,190	1,260	1,320	1,360	1,390	1,510	1,520	1,590	1,760
東京都	1,360	1,360	1,360	1,360	1,390	1,410	1,440	1,460	1,510	1,580	1,640	1,760
大阪府	1,030	1,030	1,030	1,030	1,060	1,060	1,110	1,150	1,170	1,290	1,330	1,660

・2022年

都道府県	1月	2月	3月
埼玉県			2,220
東京都			2,140
大阪府			1,840

※2022年1月より四半期ごとの公表（4月に3月分、7月に6月分、10月に9月分、翌1月に12月分を公表）。次回公表は7月。

資料：農林水産省「木材価格」

注1：「x」は、個人又は法人その他の団体に関する秘密を保護するため、統計数値を公表していないもの。

注2：年間を通じて価格を「X」として、統計数値を公表していない都道府県は省略している。

注3：ヒノキ正角、米ツガ正角・防腐処理材及び針葉樹合板の価格は、2022年1月より四半期ごとの公表となった（4月に3月分、7月に6月分、10月に9月分、翌1月に12月分を公表）。

○スギ集成管柱（厚10.5cm、幅10.5cm、長2.98～3.0m、1等）

・2021年

単位：円／本

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
宮崎	1,800	1,900	1,900	2,000	2,200	2,700	2,900	3,000	3,200	3,800	4,400	4,400

・2022年

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月
秋田	x	4,700	4,400	4,400	4,300
宮崎	4,200	4,300	4,300	4,300	4,300

○ホワイトウッド集成管柱（厚10.5cm、幅10.5cm、長2.98～3.0m、1等）

・2021年

単位：円／本

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
岡山	2,000	2,000	2,100	2,300	2,300	2,800	2,900	3,500	4,400	5,100	5,100	5,100

・2022年

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月
岡山	5,100	5,100	5,100	5,100	5,100

資料：農林水産省「木材価格」

注1：「x」は、個人又は法人その他の団体に関する秘密を保護するため、統計数値を公表していないもの。

注2：年間を通じて価格を「X」として、統計数値を公表していない都道府県は省略している。



## ○チップ用丸太（針葉樹）

・2021年

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
北海道	6,900	6,900	6,900	6,900	6,900	6,900	6,900	6,900	6,900	6,900	6,900	7,000
青森	6,400	6,400	6,400	6,400	6,400	6,400	6,400	6,400	6,400	6,400	6,400	6,400
岩手	7,100	7,100	7,100	7,100	7,100	7,100	7,100	7,100	7,100	7,100	7,100	7,100
宮城	5,600	5,600	5,600	5,600	5,600	5,600	5,600	5,600	5,600	5,600	5,600	5,600
秋田	6,600	6,700	6,700	6,700	6,700	6,700	6,700	6,700	6,700	6,700	6,700	6,700
山形	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200
福島	6,700	6,900	6,700	6,500	6,200	6,000	6,100	6,100	6,200	5,900	6,100	5,900
栃木	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000
山梨	5,600	5,600	5,600	5,600	5,600	5,600	5,700	5,700	5,700	5,900	6,400	6,500
長野	6,000	6,000	6,000	6,000	6,100	6,200	6,400	6,400	6,400	6,400	6,500	6,800
京都	7,900	8,000	8,000	8,000	8,100	8,300	8,300	8,400	8,400	8,600	8,600	8,600
兵庫	6,300	6,300	6,800	6,800	6,300	6,400	6,500	6,500	6,500	6,600	6,600	6,600
島根	9,200	8,000	9,200	9,300	9,700	9,700	9,700	9,500	9,900	9,600	9,900	9,200
広島	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500
高知	5,600	5,700	5,500	5,500	5,700	5,800	5,900	5,600	5,500	5,400	5,300	5,500
熊本	6,200	6,800	6,400	6,300	6,600	6,300	6,600	6,400	7,200	6,500	6,600	6,900
宮崎	7,700	7,700	7,700	7,700	7,700	7,700	7,700	7,700	8,000	7,900	7,800	7,700
鹿児島	7,700	7,700	7,700	7,700	7,700	7,700	7,700	7,700	7,700	7,700	7,700	7,700

単位：円/m<sup>3</sup>

・2022年

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月
北海道	7,000	7,000	7,000	7,100	7,100
青森	6,500	6,500	6,500	6,800	6,800
岩手	7,100	7,100	7,100	7,100	7,300
宮城	5,600	5,600	5,600	5,700	5,800
秋田	6,700	6,700	6,700	7,000	7,000
山形	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200
福島	5,400	5,400	6,100	6,200	6,200
栃木	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000
山梨	6,800	6,600	7,000	7,100	6,900
長野	6,800	6,700	6,700	6,700	6,800
京都	8,600	8,600	8,900	8,900	8,900
兵庫	6,600	6,600	6,600	6,600	6,600
島根	9,700	9,200	9,200	9,700	9,600
広島	5,000	5,000	5,000	5,600	6,000
高知	5,400	5,600	5,500	5,700	5,800
熊本	7,300	7,100	7,000	7,000	7,000
宮崎	7,400	7,400	7,700	7,700	7,700
鹿児島	7,700	7,700	7,700	7,700	7,700

## ○チップ用丸太（広葉樹）

・2021年

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
北海道	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600
青森	11,600	11,600	11,600	11,600	11,600	11,600	11,600	11,600	11,600	11,600	11,600	11,600
岩手	10,700	10,700	10,500	10,600	10,700	10,700	10,700	10,900	10,900	10,900	10,900	10,900
宮城	8,700	8,700	8,700	8,700	8,700	8,700	8,700	8,700	8,700	8,700	8,700	8,700
秋田	11,800	11,800	11,800	11,800	11,800	11,800	11,800	11,800	11,800	11,800	11,800	11,800
山形	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700
福島	8,900	8,900	8,800	8,900	8,900	8,900	8,800	8,900	8,800	8,800	8,800	8,900
山梨	5,900	5,900	5,900	5,900	5,900	5,900	6,000	6,000	6,000	6,200	6,400	6,500
島根	10,600	10,400	10,500	10,500	10,700	10,600	10,500	10,400	10,400	10,300	10,200	10,400
広島	5,900	5,900	5,900	5,900	5,900	5,900	5,900	5,900	5,900	5,900	5,900	5,900
熊本	8,000	8,400	8,300	8,300	8,600	8,800	8,700	8,600	8,700	8,300	8,500	8,300
宮崎	8,600	8,300	8,600	8,400	8,400	8,400	8,500	8,600	8,500	8,400	8,400	8,200
鹿児島	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700

単位：円/m<sup>3</sup>

・2022年

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月
北海道	9,600	9,600	9,600	9,700	9,700
青森	11,600	11,600	11,600	11,900	11,900
岩手	11,000	11,000	11,000	11,100	11,200
宮城	8,700	8,700	8,700	8,700	8,900
秋田	11,800	11,800	11,800	12,000	12,000
山形	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700
福島	8,700	8,900	8,900	8,900	8,800
山梨	6,600	6,600	6,500	6,500	6,800
島根	10,500	10,300	10,400	10,600	10,600
広島	6,000	6,100	6,100	6,100	6,200
熊本	8,200	8,500	8,400	8,800	9,100
宮崎	8,200	8,200	8,200	8,100	8,500
鹿児島	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700

資料：農林水産省「木材価格」

注1：「x」は、個人又は法人その他の団体に関する秘密を保護するため、統計数値を公表していないもの。

注2：年間を通じて価格を「X」として、統計数値を公表していない都道府県は省略している。

## ○木材チップ（針葉樹）

・2021年

単位：円/t

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
北海道	14,700	14,900	14,900	14,900	14,900	15,000	15,000	14,900	14,900	14,900	14,900	14,900
青森	15,600	15,600	15,600	15,600	15,600	15,600	15,600	15,600	15,600	15,600	15,600	15,600
岩手	15,800	15,800	15,800	15,800	15,800	15,800	15,800	15,800	15,800	15,800	15,800	15,800
宮城	18,600	18,600	18,600	18,600	18,600	18,600	18,600	18,600	18,600	18,600	18,600	18,600
秋田	16,100	15,900	16,000	15,900	15,900	15,900	15,900	16,200	16,200	16,200	15,900	15,900
福島	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000	18,100
茨城	7,200	7,200	7,200	7,200	7,200	7,200	7,200	7,200	7,200	7,200	7,200	7,200
栃木	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000
富山	22,400	22,400	22,400	22,400	22,400	22,400	22,400	24,600	22,400	20,900	20,900	20,900
静岡	17,900	17,900	17,900	17,900	17,900	17,900	17,900	17,900	17,900	17,900	17,900	17,900
京都	17,500	17,500	17,500	17,500	17,500	18,100	18,100	19,200	19,200	19,200	19,200	19,200
兵庫	17,100	17,100	17,100	17,100	17,100	17,100	17,100	17,100	17,100	17,100	17,100	17,100
岡山	14,400	14,400	14,400	14,400	14,400	14,400	14,400	14,400	14,400	14,400	14,400	14,400
広島	13,400	11,500	11,400	11,500	11,500	11,600	11,600	11,600	11,700	11,700	11,600	11,500
愛媛	12,900	12,900	12,900	12,900	12,900	12,900	12,900	12,900	12,900	12,900	12,900	12,900
高知	19,100	19,300	19,300	19,300	19,300	19,300	19,300	19,300	19,300	19,300	19,300	19,300
熊本	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000
大分	11,600	11,600	11,600	11,600	11,600	11,600	11,600	11,600	11,600	11,600	11,600	11,600
宮崎	11,100	11,100	11,100	11,100	11,100	11,100	11,100	11,100	11,100	11,100	11,100	11,100

・2022年

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月
北海道	14,900	14,900	14,900	14,900	15,000
青森	15,600	15,600	15,600	16,200	16,300
岩手	15,800	15,800	15,800	15,900	16,200
宮城	18,600	18,600	18,600	18,800	19,000
秋田	15,900	16,400	16,400	16,500	16,700
福島	18,100	18,100	18,100	18,100	18,400
茨城	7,200	7,200	7,200	7,500	7,500
栃木	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000
富山	18,100	18,100	18,100	18,100	18,100
静岡	17,900	17,900	17,900	17,900	17,900
京都	19,200	19,500	19,700	19,700	19,700
兵庫	17,100	17,100	17,100	18,700	18,800
岡山	14,000	14,000	14,000	14,000	14,000
広島	15,300	15,300	15,600	15,600	15,600
徳島	20,900	20,900	20,900	20,900	21,300
愛媛	12,900	12,900	12,900	12,900	12,900
高知	19,300	19,300	19,300	19,200	19,500
熊本	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000
大分	11,600	11,600	11,600	11,600	11,600
宮崎	11,100	11,100	11,100	11,100	11,100
鹿児島	13,000	13,000	13,000	13,000	13,000

## ○木材チップ（広葉樹）

・2021年

単位：円/t

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
北海道	20,400	20,400	20,400	20,400	20,400	20,400	20,400	20,400	20,400	20,400	20,400	20,400
青森	18,500	18,500	18,500	18,500	18,500	18,500	18,500	18,500	18,500	18,500	18,500	18,500
岩手	18,300	18,300	18,300	18,300	18,300	18,300	18,300	18,600	18,600	18,600	18,600	18,600
宮城	19,600	19,600	19,600	19,600	19,600	19,600	19,600	19,600	19,600	19,600	19,600	19,600
秋田	20,300	20,300	20,300	20,300	20,300	20,300	20,300	20,700	20,700	20,700	20,300	20,300
福島	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,100
栃木	15,400	15,400	15,400	15,400	15,400	15,400	15,400	15,400	15,400	15,400	15,400	15,400
山梨	15,600	15,600	15,600	15,600	15,600	15,600	15,600	15,600	15,600	15,600	16,000	16,000
島根	20,800	20,800	20,800	20,800	20,800	20,800	20,800	20,800	20,800	20,800	20,800	20,800
広島	20,800	19,500	19,500	19,500	19,500	19,500	19,500	19,500	19,500	19,500	19,500	19,500
熊本	21,000	21,000	21,000	21,000	21,000	21,000	21,000	21,000	21,000	21,000	21,000	21,000
宮崎	19,700	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000
鹿児島	15,700	15,700	15,700	15,700	15,700	15,700	15,700	15,700	15,700	15,700	15,700	15,700

・2022年

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月
北海道	20,400	20,400	20,400	20,700	20,700
青森	18,500	18,500	18,500	18,800	18,800
岩手	18,600	18,600	18,600	18,700	19,000
宮城	19,600	19,600	19,600	19,600	19,800
秋田	20,300	20,300	20,300	22,000	22,000
福島	20,100	20,100	20,100	20,100	20,100
栃木	15,400	15,400	15,400	15,400	15,400
山梨	15,200	15,600	15,600	15,600	15,900
島根	20,800	20,800	20,800	21,700	22,400
広島	19,700	19,800	19,800	19,700	19,700
熊本	21,300	21,300	21,300	21,300	21,300
宮崎	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000
鹿児島	15,700	15,700	15,700	15,700	15,700

資料：農林水産省「木材価格」

注1：「X」は、個人又は法人その他の団体に関する秘密を保護するため、統計数値を公表していないもの。

注2：年間を通じて価格を「X」として、統計数値を公表していない都道府県は省略している。

- 木材の総需要量は、74,439千 $m^3$ で前年に比べ7,466千 $m^3$ （9.1%）減少。用材は、61,392千 $m^3$ で前年に比べ9,877千 $m^3$ （13.9%）減少。しいたけ原木も242千 $m^3$ で前年に比べ9千 $m^3$ （3.6%）減少。燃料材は、12,805千 $m^3$ で前年に比べ2,419千 $m^3$ （23.3%）増加。
- 国内消費量は、71,430千 $m^3$ で前年に比べ7,760千 $m^3$ （9.8%）減少。この中で、前年に比べて増加したのは、燃料材の2,418千 $m^3$ （23.3%）であり、その他は減少。
- 輸出量は、3,009千 $m^3$ で前年に比べ294千 $m^3$ （10.8%）増加。この中で、前年に比べて増加したのは、丸太の254千 $m^3$ （22.5%）、製材品の39千 $m^3$ （16.5%）、木材パルプ・チップ等（用材）の18千 $m^3$ （1.6%）、燃料材の1千 $m^3$ （25.0%）。

木 材 需 要 の 動 向

区 分		2020年		2019年		対前年 増減量 (千 $m^3$ )	対前年 増減率 (%)	
		数量 (千 $m^3$ )	構成比 (%)	数量 (千 $m^3$ )	構成比 (%)			
総 需 要 量	用 材	製材用材	24,597	33.0	27,619	33.7	△ 3,022	△ 10.9
		パルプ・チップ用材	26,064	35.0	31,579	38.6	△ 5,515	△ 17.5
		合板用材	8,919	12.0	10,474	12.8	△ 1,555	△ 14.8
		その他用材	1,812	2.4	1,597	1.9	215	13.5
		小計	61,392	82.5	71,269	87.0	△ 9,877	△ 13.9
	しいたけ原木	242	0.3	251	0.3	△ 9	△ 3.6	
	燃料材	12,805	17.2	10,386	12.7	2,419	23.3	
計		74,439	100.0	81,905	100.0	△ 7,466	△ 9.1	
国 内 消 費	用 材	製材用材	24,321	34.0	27,383	34.6	△ 3,062	△ 11.2
		パルプ・チップ用材	24,900	34.9	30,433	38.4	△ 5,533	△ 18.2
		合板用材	8,741	12.2	10,280	13.0	△ 1,539	△ 15.0
		その他用材	426	0.6	462	0.6	△ 36	△ 7.8
		小計	58,387	81.7	68,558	86.6	△ 10,171	△ 14.8
	しいたけ原木	242	0.3	251	0.3	△ 9	△ 3.6	
	燃料材	12,800	17.9	10,382	13.1	2,418	23.3	
計		71,430	100.0	79,190	100.0	△ 7,760	△ 9.8	
輸 出	用 材	丸太	1,384	46.0	1,130	41.6	254	22.5
		製材品等	275	9.2	236	8.7	39	16.5
		木材パルプ・チップ等	1,164	38.7	1,146	42.2	18	1.6
		合板等	179	5.9	194	7.2	△ 15	△ 7.7
		その他	3	0.1	4	0.2	△ 1	△ 25.0
	小計	3,005	99.8	2,711	99.8	294	10.8	
	燃料材	5	0.2	4	0.2	1	25.0	
計		3,009	100.0	2,715	100.0	294	10.8	

資料：林野庁「木材需給表」

注：1) 燃料材とは、木炭、薪、燃料用チップ及びペレットである。

2) 輸出の用材の合板等は、合板、薄板・単板、ブロックボード等である。

3) 輸出の用材のその他は、改良木材、枕木、のこくず・木くずである。

4) 数値の合計値は、四捨五入のため計に一致しない場合がある。

※ 2020年から、「用材」の内訳について、貿易統計により把握する集成材、構造用集成材、セルラーウッドパネル及び加工材の数量は「製材用材」（輸出は「製材品等」）に、再生木材の数量は「パルプ・チップ用材」（輸出は「木材パルプ・チップ等」）に計上することとした。なお、比較のため2019年の数値についても同様の再集計を行った（従来はいずれも「その他用材」（輸出は「その他」に計上））。

- 木材の総供給量は、74,439千m<sup>3</sup>で前年に比べ7,466千m<sup>3</sup>（9.1%）減少。用材は61,392千m<sup>3</sup>となり、前年に比べ9,877千m<sup>3</sup>（13.9%）減少。しいたけ原木も242千m<sup>3</sup>で前年に比べ9千m<sup>3</sup>（3.6%）減少。燃料材は12,805千m<sup>3</sup>となり、前年に比べ2,419千m<sup>3</sup>（23.3%）増加。
- 国内生産量は、31,149千m<sup>3</sup>で前年に比べ161千m<sup>3</sup>（0.5%）増加。この中で、前年に比べて増加したのは、燃料材の1,995千m<sup>3</sup>（28.8%）であり、その他は減少。
- 輸入量は、43,290千m<sup>3</sup>で前年に比べ7,627千m<sup>3</sup>（15.0%）減少。この中で、前年に比べ増加量が最も大きかったものは燃料材の424千m<sup>3</sup>（12.3%）。

木 材 供 給 の 動 向

区 分			2020年		2019年		対前年 増減量 (千m <sup>3</sup> )	対前年 増減率 (%)
			数量 (千m <sup>3</sup> )	構成比 (%)	数量 (千m <sup>3</sup> )	構成比 (%)		
総供給量	用材	丸太	25,180	33.8	27,804	33.9	△ 2,624	△ 9.4
		林地残材	106	0.1	119	0.1	△ 13	△ 10.9
		輸入木材製品	36,106	48.5	43,346	52.9	△ 7,240	△ 16.7
		小計	61,392	82.5	71,269	87.0	△ 9,877	△ 13.9
	しいたけ原木	242	0.3	251	0.3	△ 9	△ 3.6	
	燃料材	12,805	17.2	10,386	12.7	2,419	23.3	
	計	74,439	100.0	81,905	100.0	△ 7,466	△ 9.1	
国内生産	用材	丸太	21,874	70.2	23,686	76.4	△ 1,812	△ 7.7
		林地残材	106	0.3	119	0.4	△ 13	△ 10.9
		小計	21,980	70.6	23,805	76.8	△ 1,825	△ 7.7
	しいたけ原木	242	0.8	251	0.8	△ 9	△ 3.6	
	燃料材	8,927	28.7	6,932	22.4	1,995	28.8	
計	31,149	100.0	30,988	100.0	161	0.5		
輸入	木材製品	丸太	3,306	7.6	4,118	8.1	△ 812	△ 19.7
		製材品等	10,121	23.4	11,345	22.3	△ 1,224	△ 10.8
		木材パルプ	4,997	11.5	5,580	11.0	△ 583	△ 10.4
		木材チップ等	16,646	38.5	21,347	41.9	△ 4,701	△ 22.0
		合板等	4,293	9.9	5,026	9.9	△ 733	△ 14.6
		その他	49	0.1	47	0.1	2	4.3
	細計	36,106	83.4	43,346	85.1	△ 7,240	△ 16.7	
	小計	39,412	91.0	47,464	93.2	△ 8,052	△ 17.0	
燃料材	3,878	9.0	3,454	6.8	424	12.3		
計	43,290	100.0	50,917	100.0	△ 7,627	△ 15.0		

資料：林野庁「木材需給表」

注：1）林地残材とは、立木を伐採した後の林地に残されている根株、枝条等のうち、利用を目的に木材チップ工場に搬入されたものである。

2）燃料材とは、木炭、薪、燃料用チップ及びペレットである。

3）輸入の用材のその他は、改良木材、枕木、のこくず・木くずである。

4）数値の合計値は、四捨五入のため計に一致しない場合がある。

※ 2020年から、輸入の「木材製品」について、貿易統計により把握する集成材、構造用集成材、セルラーウッドパネル及び加工材の数量は「製材品等」に、再生木材の数量は「木材チップ等」に計上することとした。なお、比較のため2019年の数値についても同様の再集計を行った（従来はいずれも「その他」に計上）。



- 用材の自給率は、35.8%で前年に比べて2.4ポイント上昇し、2011年から10年連続の上昇。
- 用材にしいたけ原木及び燃料材を加えた総量の自給率は、41.8%で前年に比べて4.0ポイント上昇し、2011年から10年連続の上昇。1972年の42.7%以来、48年ぶりに40%台に回復。

【参考】木材自給率(%) = 国内生産量 ÷ 総需要量(※) × 100

※「総需要量」は「国内消費量」に「輸出量」を加えたもの。

木 材 自 給 率 の 動 向

区 分		2020年	2019年	対前年 増減量 (千m <sup>3</sup> )	対前年 増減率 (%)	
		数量 (千m <sup>3</sup> )	数量 (千m <sup>3</sup> )			
建築用材等	国内生産	15,810	17,620	△ 1,810	△ 10.3	
	輸 入	17,706	20,473	△ 2,767	△ 13.5	
	総 需 要 量	33,516	38,093	△ 4,577	△ 12.0	
	自 給 率	47.2%	46.3%	0.9ポイント		
用材	製材用材	国内生産	11,615	12,875	△ 1,260	△ 9.8
		輸 入	12,982	14,744	△ 1,762	△ 12.0
		総 需 要 量	24,597	27,619	△ 3,022	△ 10.9
		自 給 率	47.2%	46.6%	0.6ポイント	
	合板用材	国内生産	4,195	4,745	△ 550	△ 11.6
		輸 入	4,724	5,729	△ 1,005	△ 17.5
		総 需 要 量	8,919	10,474	△ 1,555	△ 14.8
		自 給 率	47.0%	45.3%	1.7ポイント	
非建築用材等	用材	国内生産	15,339	13,368	1,971	14.7
		輸 入	25,584	30,444	△ 4,860	△ 16.0
		総 需 要 量	40,923	43,812	△ 2,889	△ 6.6
		自 給 率	37.5%	30.5%	7.0ポイント	
	パルプ・チップ用材	国内生産	4,420	4,651	△ 231	△ 5.0
		輸 入	21,644	26,927	△ 5,283	△ 19.6
		総 需 要 量	26,064	31,579	△ 5,515	△ 17.5
		自 給 率	17.0%	14.7%	2.3ポイント	
	その他用材	国内生産	1,750	1,534	216	14.1
		輸 入	62	63	△ 1	△ 1.6
		総 需 要 量	1,812	1,597	215	13.5
		自 給 率	96.6%	96.0%	0.6ポイント	
しいたけ原木	国内生産	242	251	△ 9	△ 3.6	
	輸 入	-	-	-	-	
	総 需 要 量	242	251	△ 9	△ 3.6	
	自 給 率	100.0%	100.0%	0.0ポイント		
燃料材	国内生産	8,927	6,932	1,995	28.8	
	輸 入	3,878	3,454	424	12.3	
	総 需 要 量	12,805	10,386	2,419	23.3	
	自 給 率	69.7%	66.7%	3.0ポイント		
総 数	国内生産	31,149	30,988	161	0.5	
	輸 入	43,290	50,917	△ 7,627	△ 15.0	
	総 需 要 量	74,439	81,905	△ 7,466	△ 9.1	
	自 給 率	41.8%	37.8%	4.0ポイント		
うち 用材の計	国内生産	21,980	23,805	△ 1,825	△ 7.7	
	輸 入	39,412	47,464	△ 8,052	△ 17.0	
	総 需 要 量	61,392	71,269	△ 9,877	△ 13.9	
	自 給 率	35.8%	33.4%	2.4ポイント		

資料：林野庁「木材需給表」

注) 数値の合計値は、四捨五入のため計に一致しない場合がある。

※ 2020年から、「用材」の内訳について、貿易統計により把握する集成材、構造用集成材、セルラーウッドパネル及び加工材の数量は「製材用材」に、再生木材の数量は「パルプ・チップ用材」に計上することとした。なお、比較のため2019年の数値についても同様に再集計を行った（従来はいずれも「その他用材」に計上）。

局	概況	主な地区の原木価格・出荷量の動向					
		樹種	価格 (円/m3)	前月比 (%)	前年比 (%)	前前年比 (%)	
北海道	<ul style="list-style-type: none"> <li>ロシア産品の動向により、道産カラマツが合板用資材として移出されており、価格は高い水準を維持している。</li> <li>トドマツ原木はカラマツの代用として使われていることもあり、特に建築材、産業資材の引き合いが強くなっている。価格はカラマツ同様、合板、製材ともに引き合いが強くなり値上り傾向。</li> <li>5月期の国有林材の素材委託販売におけるトドマツの単価は高値を維持しており、カラマツの単価は、4月に比べ下落している。</li> </ul>	原木価格	カラマツ(北海道) (14~28cm)	14,500	104%	122%	120%
		区分	材積 (千m3)	前月比 (%)	前年比 (%)	前前年比 (%)	
		入荷量	素材入荷量(北海道)	147	81%	109%	143%
		出荷量	製品出荷量(北海道)	80	111%	123%	133%
東北	<ul style="list-style-type: none"> <li>スギ原木は、集成材工場や合板工場の在庫確保が一段落したものの、依然として引き合いは強い傾向にある。一部、地場の製材工場では在庫不足が続いている状況も見られ、引き続き在庫確保を進めている。価格は地域差が見られるが、一般材では中目材を中心に引き合いが強くなり、保合~強含みで推移している。</li> <li>カラマツは、輸入材の代替として、合板用、製材用とも不足感があり、引き合いが強い状況が続いている。合板用は、需要に対する供給量が不足している状況で、原木価格も高値のまま保合~強含みで推移している。</li> <li>広葉樹は、管内の主要市場における一般材の出材量は昨年比でやや増加傾向にある。単価は前月比で保合の価格帯で推移している状況にあるが、外材の代替として需要がある材については引き合いが強くなり、特にナラ、クリ等は尺上材を中心に高値での取引が続いている。</li> <li>低質材は、バイオマス向けの需要は合板等に比べると低位な状況にあるが安定しており、価格も横ばいで推移している。また、製紙用の需要は増加傾向にあるが、広葉樹低質材の出材量が少ない状況が続いており、在庫が少ない。</li> </ul>	原木価格	スギ(秋田県) (14~22cm)	15,100	101%	130%	137%
		区分	材積 (千m3)	前月比 (%)	前年比 (%)	前前年比 (%)	
		入荷量	素材入荷量(秋田県)	38	88%	76%	119%
		出荷量	製品出荷量(秋田県)	18	106%	86%	100%
関東	<ul style="list-style-type: none"> <li>スギ材、ヒノキ材の価格は、製材工場の原木手当が進んだ影響で横ばいであったが、今月に入りヒノキ材は若干の上げとなっている。(スギ材価格は横ばいのまま。)</li> <li>カラマツ材の価格は、ロシアカラマツからの転換で引き合いが続いており、製材用、合板用ともに横ばいとなっている。</li> </ul>	原木価格	スギ(栃木県) (14~22cm)	16,500	100%	107%	136%
		区分	材積 (千m3)	前月比 (%)	前年比 (%)	前前年比 (%)	
		入荷量	素材入荷量(栃木県)	47	121%	107%	100%
		出荷量	製品出荷量(栃木県)	26	104%	104%	108%
中部	<ul style="list-style-type: none"> <li>原木価格は、ヒノキが昨年秋のピーク以降、若干値を下げつつも高止まりの傾向で推移。スギ、カラマツは、合板用材の需要増加の影響等から、前月と同じく高値での取引となっている。</li> <li>製品価格はスギで高値安定。ヒノキは前月に引き続き下げ傾向での推移との情報。</li> </ul>	原木価格	スギ(岐阜県) (14~22cm)	18,300	103%	138%	138%
		区分	材積 (千m3)	前月比 (%)	前年比 (%)	前前年比 (%)	
		入荷量	素材入荷量(岐阜県)	26	104%	113%	118%
		出荷量	製品出荷量(岐阜県)	14	100%	108%	117%
近畿中国	<ul style="list-style-type: none"> <li>北陸・京滋ブロック(石川、福井、滋賀、京都、大阪) スギ、ヒノキ丸太ともに価格は前月の水準からやや下落している。</li> <li>紀伊ブロック(三重、奈良、和歌山) スギ丸太の価格は、三重県では前月の水準から上昇、奈良県では維持、和歌山県では下落している。</li> <li>ヒノキ丸太の価格は前月の水準からやや下落している。</li> <li>瀬戸内ブロック(兵庫、岡山、広島、山口) スギ丸太の価格は前月の水準から上昇している。</li> <li>ヒノキ丸太の価格は前月の水準を維持しているが、岡山県、広島県では4m材が前月の水準からやや下落している。</li> <li>山陰ブロック(鳥取、島根) スギ丸太の価格は前月の水準を維持している。</li> <li>ヒノキ丸太の価格は前月の水準からやや下落している。</li> <li>製品の市況動向については、スギ、ヒノキともに製品の価格は前月の水準を維持しているが、兵庫県では下落している。</li> </ul>	原木価格	スギ(岡山県) (14~22cm)	15,300	111%	116%	139%
		区分	材積 (千m3)	前月比 (%)	前年比 (%)	前前年比 (%)	
		入荷量	素材入荷量(岡山県)	27	108%	93%	113%
		出荷量	製品出荷量(岡山県)	14	108%	88%	108%
四国	<ul style="list-style-type: none"> <li>スギは、3m材を中心に引き合いも強く買い気旺盛で高値を維持し好調に推移している。</li> <li>ヒノキは、概ね横ばいで推移し堅調相場を維持しているが荷動きは非常に悪くなっている。しかし、一部の市場においては3m材で強含みの動きも見られている。</li> </ul>	原木価格	スギ(愛媛県) (14~22cm)	22,900	100%	144%	196%
		区分	材積 (千m3)	前月比 (%)	前年比 (%)	前前年比 (%)	
		入荷量	素材入荷量(高知県)	46	164%	118%	148%
		出荷量	製品出荷量(高知県)	19	100%	95%	112%
九州	<ul style="list-style-type: none"> <li>九州の木材需給動向については、地域差はあるが全体的に材材は少ない状況。関係者からは、これから梅雨期に入ることや夏場は干割れなど材の劣化を避けることから、需要期を迎える秋までこの傾向が続くのではないかと見方。</li> <li>相場は、スギ3m柱・中目(20~22cm)が若干の強含み、人吉地域の原木市場では2.3万円と高値もみられた。4mは横ばい。</li> <li>ヒノキも同様に、3m柱、中目は若干の値上げ傾向で安定、4mも中目が若干の値上げ傾向。外材の入荷不安のなか、市場関係者からは、在庫が減少する2~3ヶ月後に国産材の荷動きが良くなることを期待する声が多い。</li> <li>中国への原木輸出については、ロックダウンの影響で動きは鈍いものの、引き合いは強く船便の確保次第で一定量を輸出(鹿児島県志志港)。大分(大分港・佐伯港・中津港)からの輸出は、いずれも船便の確保が難しい状況。</li> <li>製材用材・合板用材の需要については、原木の入荷、製品出荷も順調に動いているものの、例年、住宅着工が少なくなる時期であるため、量的には前月に比べ下落傾向であり、秋まではこの傾向は続くとの見方。</li> </ul>	原木価格	スギ(※)	18,392	101%	128%	172%
		区分	材積 (千m3)	前月比 (%)	前年比 (%)	前前年比 (%)	
		入荷量	素材入荷量	358	106%	110%	107%
		出荷量	製品出荷量	192	112%	99%	109%

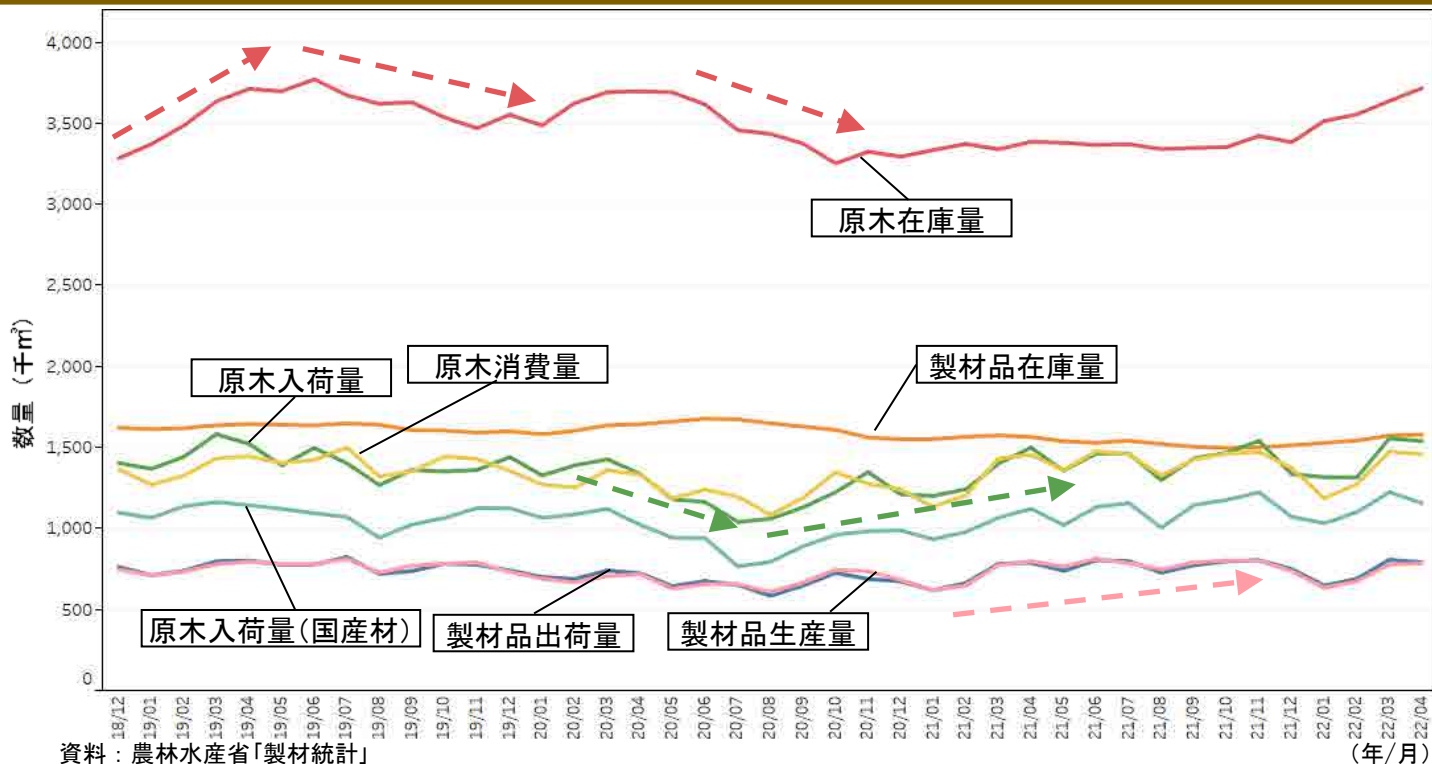
資料：農林水産省「木材価格」「製材統計」

※1 九州地区のスギ及びヒノキの原木価格は、九州管内6市場の3m16~18cm直材及び4m18~22cm直材の平均単価。

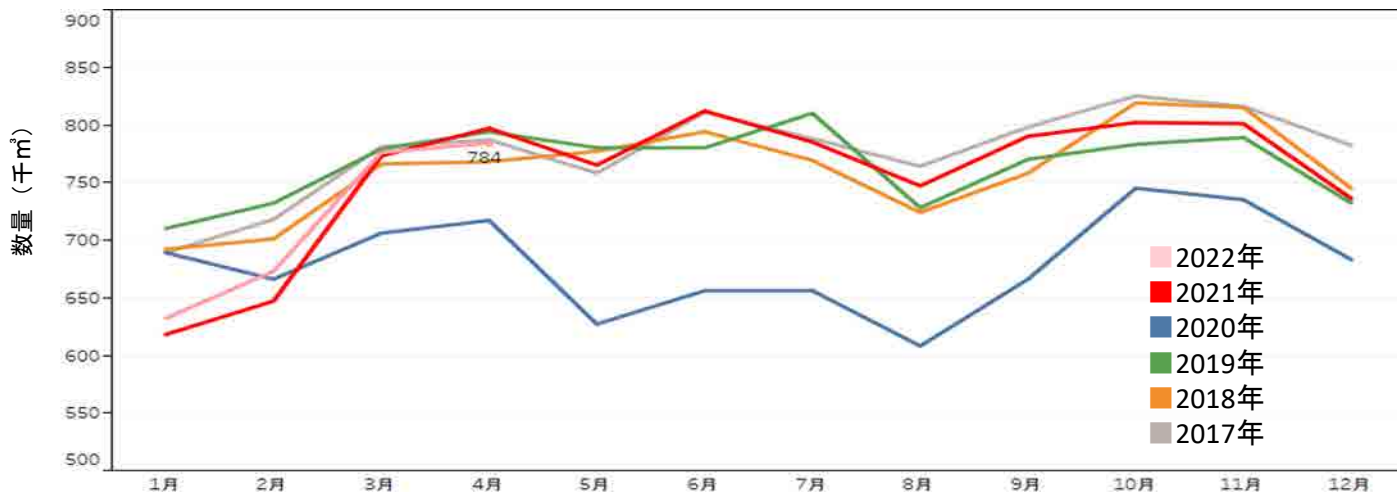
※2 九州地区の素材入荷量及び製品出荷量は、福岡県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県の合計。

## 木材需給情報-3 製材工場の原木入荷、製品生産等の動向

- 2022年1～4月の原木の入荷量は5,723千 $m^3$ （2019年比97%）。
- 同様に製材品の出荷量は2,865千 $m^3$ （2019年比95%）。



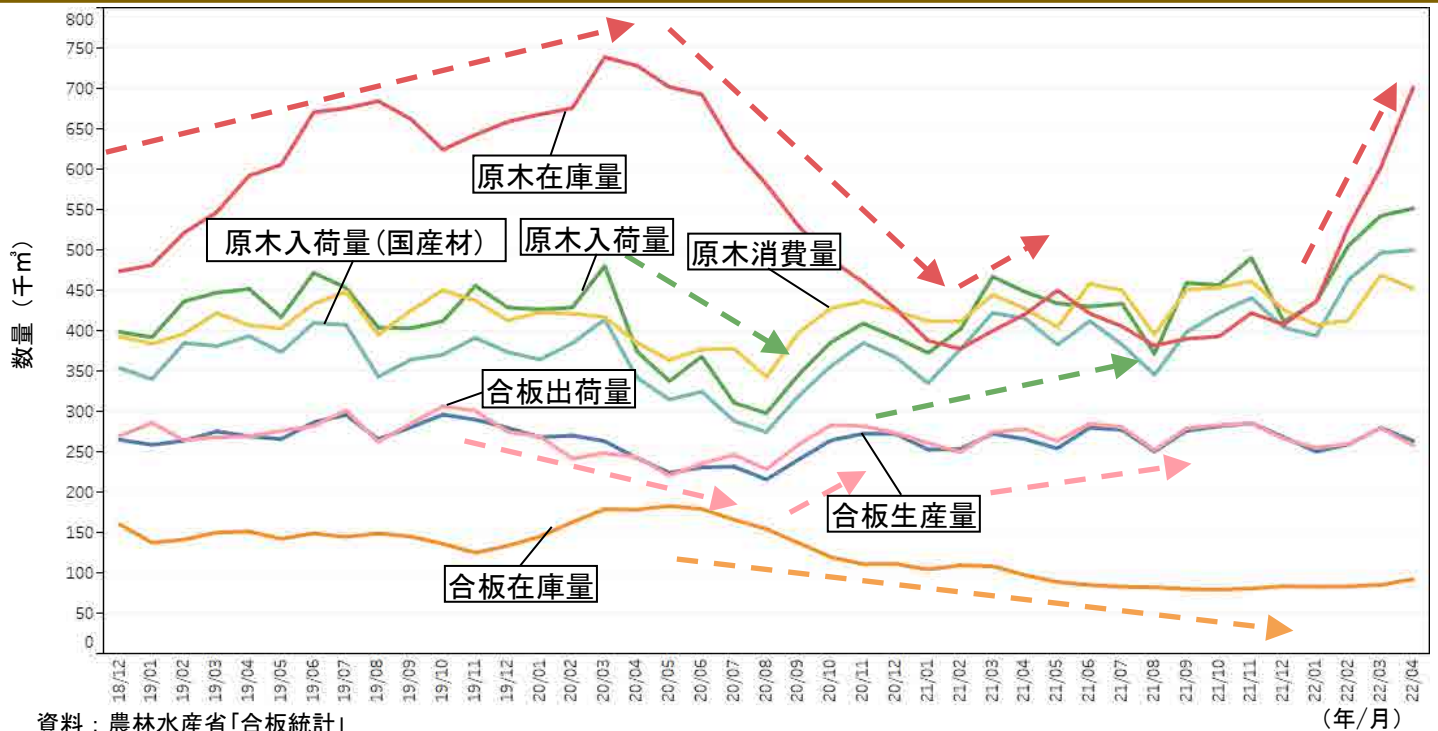
### ○製材品出荷量の月別推移（全国）



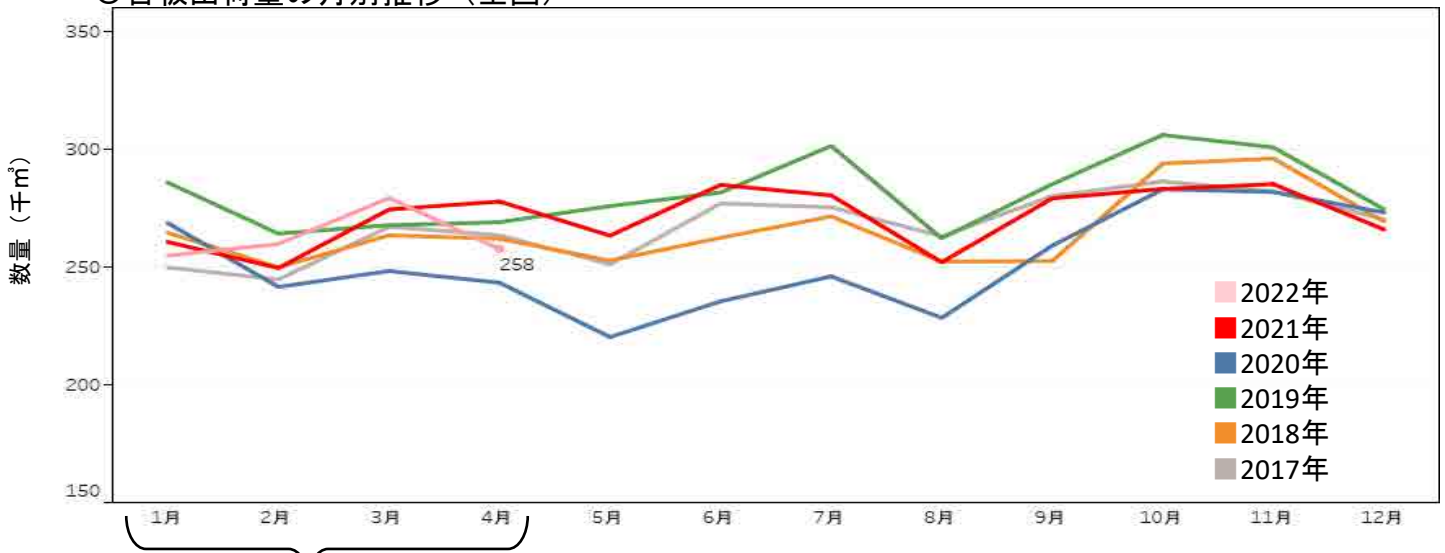
	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
1～4月原木入荷量合計(千 $m^3$ )	5,621	5,623	5,910	5,477	5,338	<b>5,723</b>
2019年との比較*	95%	95%	—	93%	90%	<b>97%</b>
1～4月出荷量合計(千 $m^3$ )	2,975	2,927	3,015	2,778	2,835	<b>2,865</b>
2019年との比較*	99%	97%	—	92%	94%	<b>95%</b>

※2019年の数値を100%とした比較

- 2022年1～4月の原木の入荷量は2,034千m<sup>3</sup>（2019年比118%）。現在の原木在庫量は高い水準になっている。
- 同様に合板の出荷量は1,051千m<sup>3</sup>（2019年比97%）。合板在庫量は2020年5月から減少傾向に転じ、現在は低い水準で推移。



○合板出荷量の月別推移（全国）

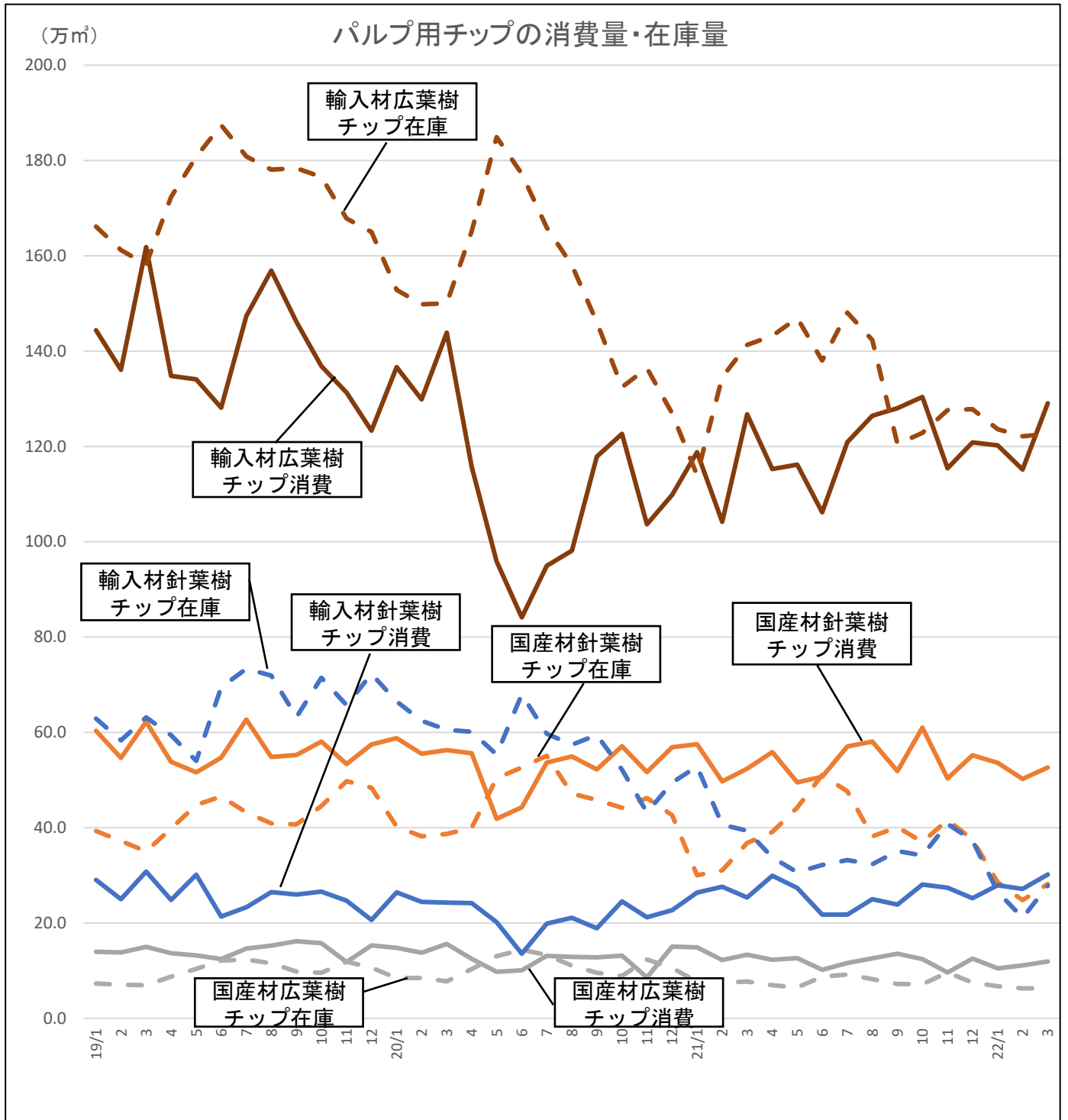


	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
1～4月原木入荷量 合計(千m <sup>3</sup> )	1,456	1,668	1,726	1,709	1,688	<b>2,034</b>
2019年との比較*	84%	97%	—	99%	98%	<b>118%</b>
1～4月出荷量 合計(千m <sup>3</sup> )	1,025	1,040	1,087	1,002	1,062	<b>1,051</b>
2019年との比較*	94%	96%	—	92%	98%	<b>97%</b>

※2019年の数値を100%とした比較



- パルプ用チップの消費について、輸入広葉樹チップの消費量は2020年4月から6月まで激減した。その後は回復傾向。国産針葉樹チップの消費量は、2020年5月に大きく減少したが、その後回復した。

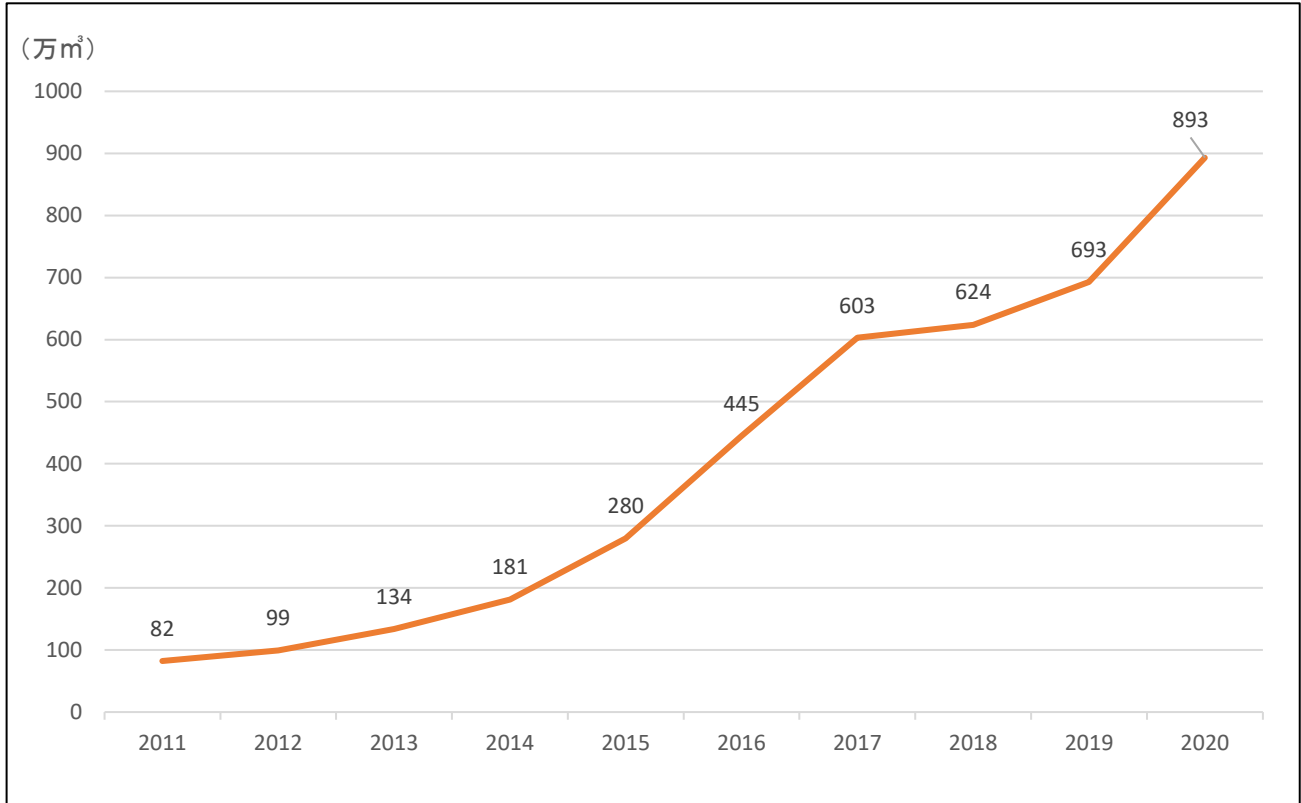


資料：経済産業省「経済産業省生産動態統計年報 紙・印刷・プラスチック製品・ゴム製品統計編」

## 木材需給情報-6 木質バイオマス燃料利用量、紙品種別生産高

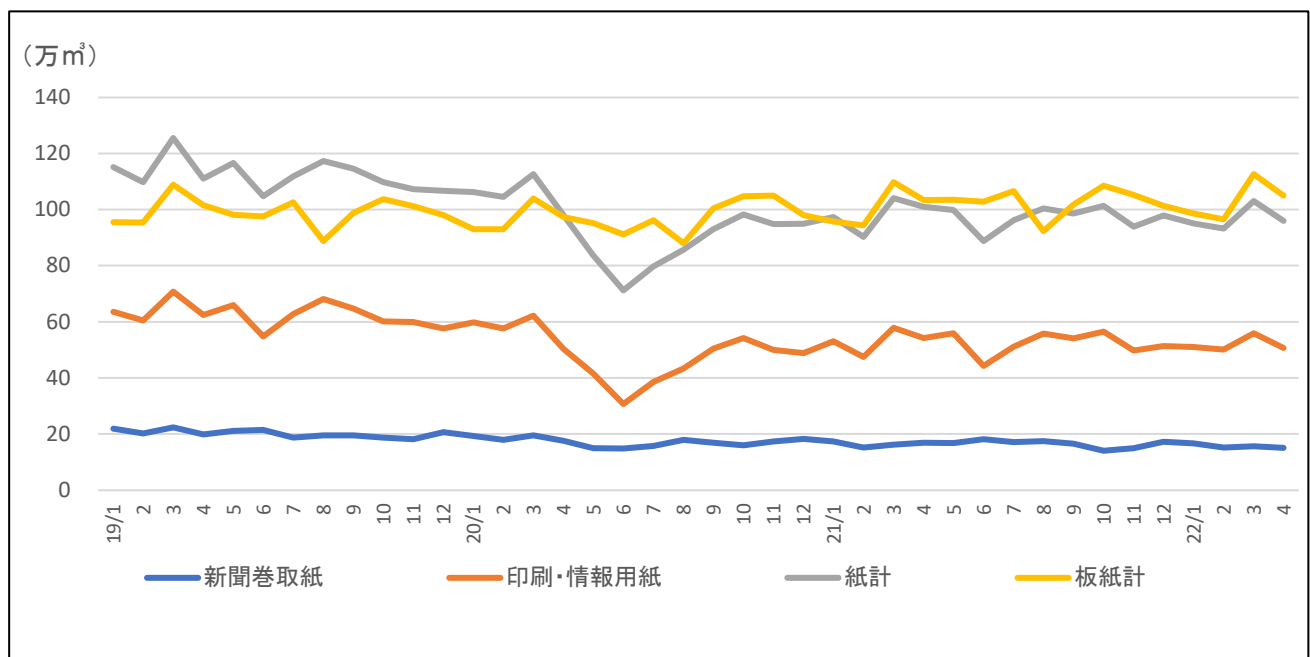
- 木質バイオマス発電向け燃料は、一貫して増加傾向が続いている。
- 紙の生産高は2020年6月に減少したが、その後一定程度回復している。

### ○間伐材等由来の木質バイオマス燃料利用量



資料：木材利用課調べ(～平成26年)、林野庁「木材需給表」(平成27年～)

### ○紙品種別生産高



資料：経済産業省「経済産業省生産動態統計年報 紙・印刷・プラスチック製品・ゴム製品統計編」

- 2020年の製材、合板及びチップ用材の素材生産量は1,988万m<sup>3</sup>。

単位：千m<sup>3</sup>

全 国 都道府県	計	製材用	合板等用	木材チップ用	針葉樹	広葉樹	
						スギ	
全 国	19,882	11,615	4,195	4,072	18,037	11,663	1,845
北 海 道	2,850	1,455	563	832	2,314	46	536
青 森	894	318	327	249	831	701	63
岩 手	1,355	429	548	378	1,112	639	243
宮 城	576	167	256	153	530	478	46
秋 田	1,123	477	450	196	1,026	989	97
山 形	266	189	69	8	262	250	4
福 島	853	469	50	334	738	604	115
茨 城	423	347	4	72	387	294	36
栃 木	540	438	5	97	500	360	40
群 馬	208	132	37	39	203	145	5
埼 玉	63	30	0	33	38	25	25
千 葉	58	21	2	35	42	35	16
東 京	28	15	3	10	25	14	3
神 奈 川	11	9	0	2	10	6	1
新 潟	99	53	27	19	94	93	5
富 山	79	43	22	14	74	71	5
石 川	138	58	48	32	121	101	17
福 井	121	56	35	30	116	112	5
山 梨	144	22	48	74	116	31	28
長 野	466	171	202	93	453	91	13
岐 阜	364	234	67	63	355	196	9
静 岡	328	174	110	44	324	163	4
愛 知	208	103	85	20	205	104	3
三 重	274	168	63	43	267	130	7
滋 賀	59	16	18	25	50	41	9
京 都	141	48	39	54	122	87	19
大 阪	9	3	-	6	9	6	0
兵 庫	264	73	119	72	252	183	12
奈 良	107	88	4	15	107	69	0
和 歌 山	166	102	25	39	162	96	4
鳥 取	254	72	136	46	231	187	23
島 根	429	86	229	114	337	274	92
岡 山	339	283	31	25	326	99	13
広 島	295	131	49	115	219	115	76
山 口	228	123	31	74	194	141	34
徳 島	267	152	x	x	255	207	12
香 川	8	7	-	1	8	3	-
愛 媛	523	485	x	x	523	305	-
高 知	497	336	x	x	493	279	4
福 岡	177	149	1	27	164	124	13
佐 賀	113	91	1	21	100	62	13
長 崎	106	56	0	50	79	31	27
熊 本	964	754	131	79	923	687	41
大 分	1,014	818	171	25	1,004	824	10
宮 崎	1,879	1,772	40	67	1,839	1,739	40
鹿 児 島	572	391	31	150	497	426	75
沖 縄	2	1	-	1	0	-	2

資料：農林水産省「令和2年木材統計」

「x」：個人又は法人その他の団体に関する秘密を保護するため、統計数値を公表していないもの

- 2020年の木材生産の都道府県別木材生産の産出額の合計は1,944億円。

単位：1,000万円

都道府県	木材生産	針葉樹					広葉樹	竹材
		スギ	ヒノキ	アカマツ・クロマツ	カラマツ・エゾマツ・トドマツ			
北海道	2,793	2,318	30	-	-	2,260	475	-
青森	744	679	540	0	43	60	65	-
岩手	1,307	1,035	551	0	155	329	259	-
宮城	438	406	375	4	21	4	30	2
秋田	1,002	905	871	-	2	28	95	-
山形	245	240	228	0	2	9	5	0
福島	688	606	478	71	26	28	80	-
茨城	392	368	252	114	1	0	24	-
栃木	587	551	363	185	1	1	30	2
群馬	172	168	115	19	1	31	4	-
埼玉	45	28	18	10	0	0	17	-
千葉	41	26	21	4	-	-	12	3
東京都	19	16	7	9	-	0	2	-
神奈川県	11	10	5	5	-	0	1	-
新潟	103	96	96	0	0	0	6	0
富山	71	67	64	1	1	1	4	-
石川	132	115	93	6	8	1	16	0
福井	102	97	94	1	1	0	5	0
山梨	104	86	21	9	15	34	13	-
長野	463	436	59	95	32	240	17	-
岐阜	456	444	250	179	3	11	11	-
静岡県	307	304	135	165	1	2	2	-
愛知県	208	207	99	90	0	15	2	-
三重	320	316	131	182	0	-	4	-
滋賀	44	36	26	10	0	0	7	1
京都	116	94	66	23	0	-	17	5
大阪	5	5	3	2	0	-	0	-
兵庫	204	193	124	65	1	0	11	0
奈良	147	147	72	74	0	-	0	0
和歌山	140	134	73	61	0	-	4	2
鳥取	226	211	167	39	4	0	16	-
島根	397	321	255	52	14	0	76	-
岡山	446	435	68	363	3	-	8	3
広島	274	232	115	106	11	0	41	-
山口	230	209	140	67	2	-	20	1
徳島	281	275	214	60	1	-	6	0
香川	8	7	2	5	0	-	-	1
愛媛	550	549	260	287	2	-	-	0
高知	500	496	243	250	3	-	3	1
福岡	187	177	128	48	1	-	9	1
佐賀	125	115	67	48	0	-	9	0
長崎	100	81	30	52	-	-	18	-
熊本	1,142	1,108	739	366	3	-	26	8
大分	1,038	1,020	833	186	0	-	7	5
宮崎	1,977	1,950	1,814	131	4	-	26	-
鹿児島	548	475	405	62	1	-	58	15
沖縄	2	0	-	-	-	-	2	-
合計	19,437	17,796	10,739	3,506	364	3,055	1,541	49

資料：農林水産省「令和2年林業産出額」

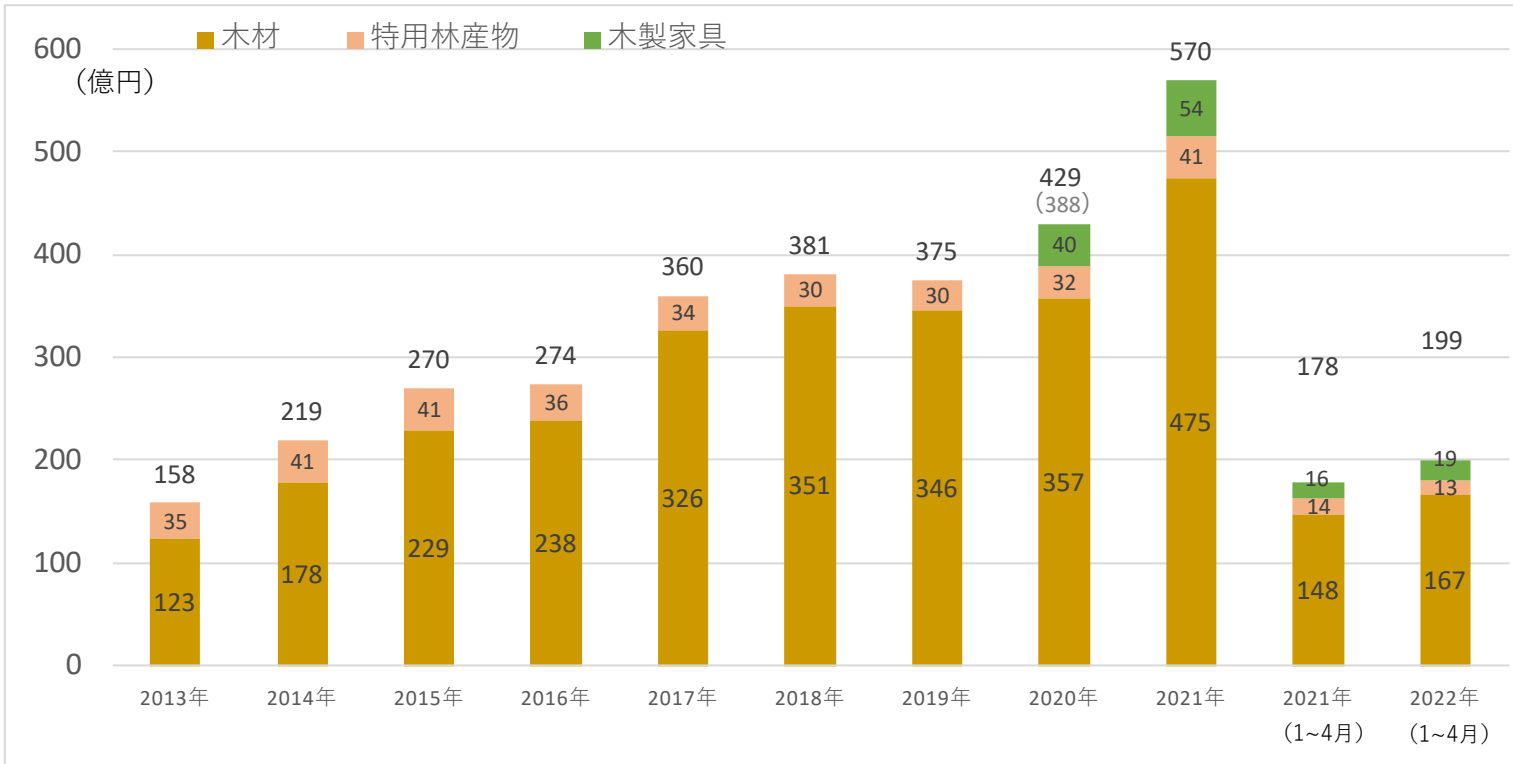
注：都道府県別産出額には、全国値には含まれる木材生産におけるパルプ工場に直接入荷されるパルプ用素材、輸出丸太及び燃料用チップ素材の産出額を含まない。

また、全国値には含まない木材生産における県外移出されたしいたけ原木の産出額を含む。



- 2022年4月の林産物の輸出額は51億円（前年同月比92%）となった。
  - 内訳としては木材が42億円（同90%）、特用林産物が3億円（同99%）、木製家具が5億円（同110%）となった。
- 2022年（1～4月）の累計は、199億円（対前年同期比112%）となった。

## ○林産物輸出の推移



資料: 財務省貿易統計

※特用林産物のうち、きのこ類は、きのこ（はらたけ属以外）、乾しいたけ、きのこ類以外は、ロジン、植物性ろう等を計上。

※2020年の(388)は品目の見直しによる追加品目（木製家具、調整・保存処理したきのこ等）を含まない数字。

※四捨五入により、合計が合致しない場合がある。

## ○林産物の月別輸出額

(億円)

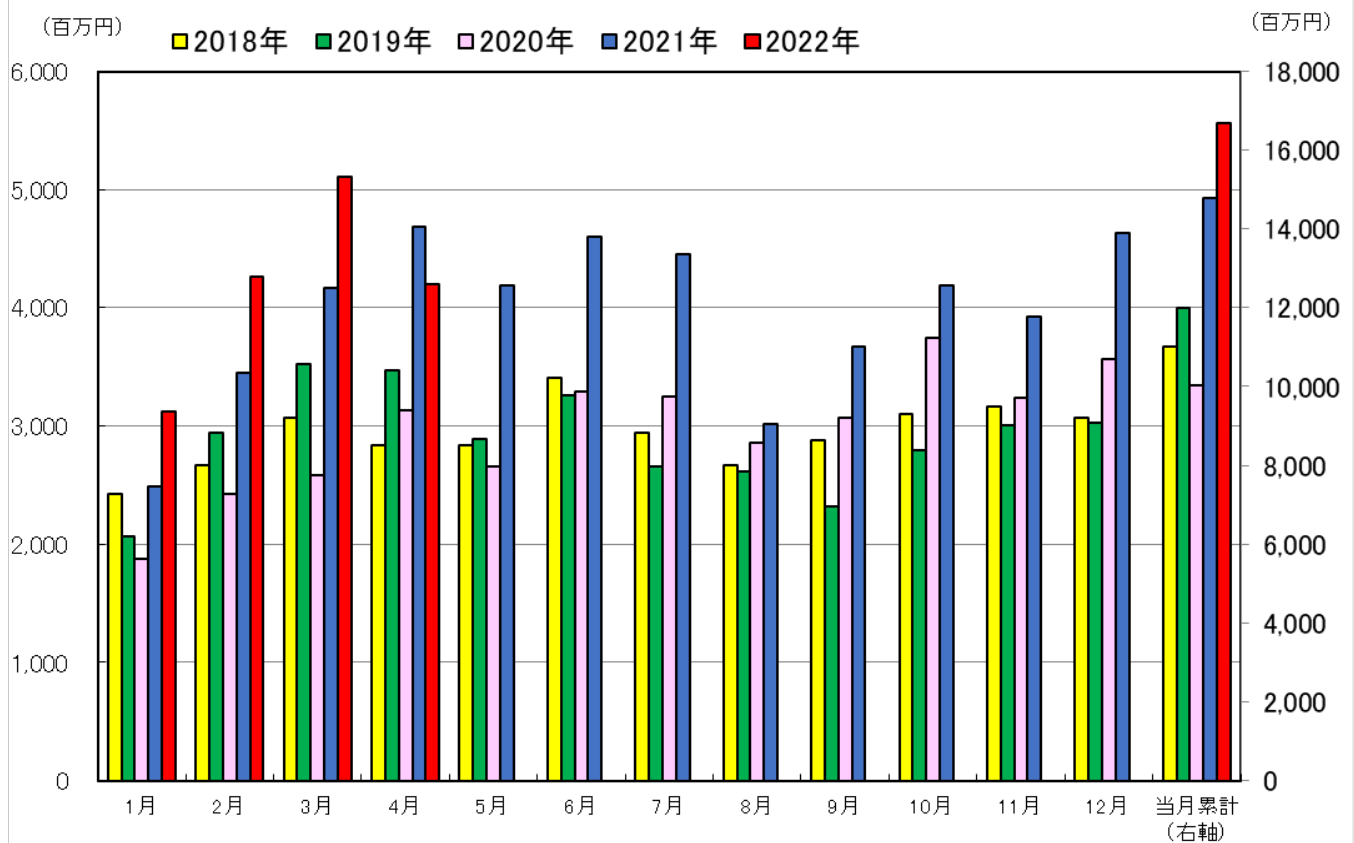
	2021年				2022年					
	林産物	木材	特用林産物	木製家具	林産物	前年比	前々年比	木材	特用林産物	木製家具
1月	31	25	3	3	37	119%	157%	31	2	4
2月	41	34	4	3	50	121%	164%	43	3	4
3月	51	42	4	5	61	121%	192%	51	4	6
4月	55	47	3	5	51	92%	138%	42	3	5
5月	49	42	3	4						
6月	54	46	3	5						
7月	52	45	3	4						
8月	37	30	3	5						
9月	45	37	3	5						
10月	52	42	4	5						
11月	48	39	4	5						
12月	55	46	4	5						
4月累計	178	148	14	16	199	112%	162%	167	13	19

資料: 財務省貿易統計

## 林産物輸出入情報-2 木材輸出額

- 2022年4月の輸出額は42.0億円（前年同月比90%）となった。2022年（1～4月）の累計は167億円（前年同月比113%）となった。

### ○木材輸出額の推移（月別）



### ○木材輸出額の推移（主な国別・品目別）

輸出先	単月 4月					累計 1～4月				
	輸出額 (百万円)	前年比 (%)	主要品目内訳(百万円) 前年比(%)			輸出額 (百万円)	前年比 (%)	主要品目内訳(百万円) 前年比(%)		
			丸太	製材	合板			丸太	製材	合板
中国	1,842	78%	1,483 74%	133 99%	48 95%	6,779	96%	5,187 91%	510 103%	101 65%
韓国	348	103%	181 93%	70 122%	6 150%	1,281	107%	714 104%	215 94%	15 137%
台湾	246	86%	130 69%	61 100%	2 36%	1,038	122%	608 125%	213 93%	2 16%
米国	367	67%	0 —	177 45%	0 —	1,947	115%	0 —	1,142 92%	10 158%
フィリピン	1,060	123%	0 —	283 142%	620 100%	4,469	158%	0 —	1,371 245%	2,657 123%
その他	340	118%	36 74%	31 140%	2 56%	1,186	103%	73 45%	175 138%	17 54%
総計	4,203	90%	1,831 75%	755 87%	677 99%	16,698	113%	6,582 94%	3,626 126%	2,802 118%

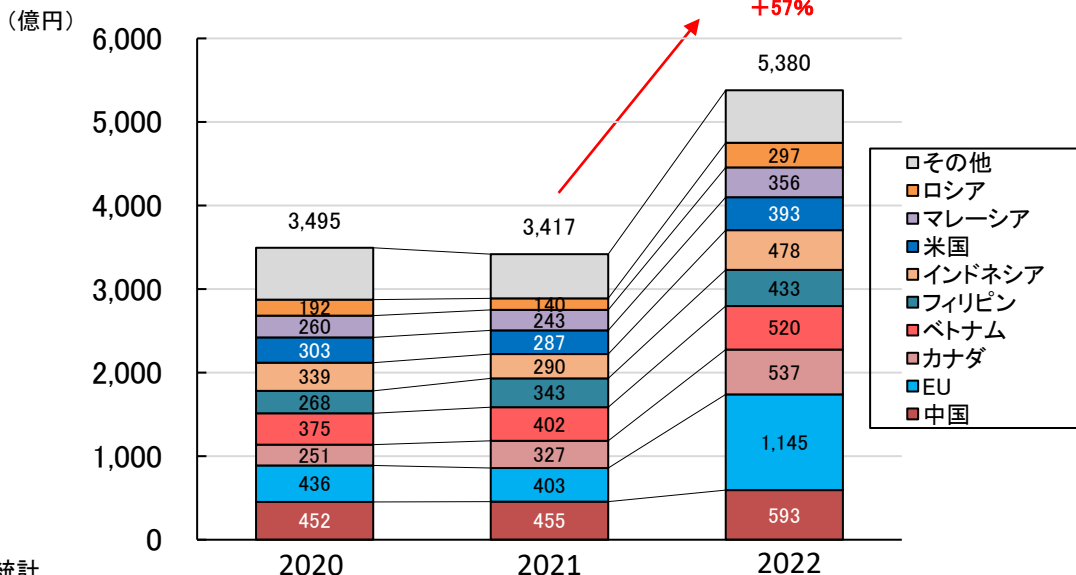
※資料：財務省貿易統計（第44類を集計）  
※四捨五入により、数値が合わないことがある。

# 林産物輸出入情報-3 木材輸入額

- 2022年4月の木材輸入額は、前月比▲5%、前年同月比+39%の1,322億円となった。
- 国別に、前月比で見ると、EU（前年輸入額に占めるシェア14%）が▲7%、カナダ（同12%）が▲5%、ベトナム（同10%）が▲2%、インドネシア（同8%）が▲8%、ロシア（同5%）が▲45%減少する一方、中国（同14%）が+19%、フィリピン（同9%）が+1%、米国（同7%）が+9%、マレーシア（同6%）が+13%増加した。
- 前年同月比で見ると、ロシアが▲0%減少する一方、EUが+125%、中国が+15%、カナダが+30%、ベトナムが+31%、フィリピンが+24%、インドネシアが+62%、米国が+40%、マレーシアが+70%など軒並み増加した。

年 国名	2021年 (1月～ 12月)	月別金額				累計金額		
		2022年 3月	2022年 4月	前月比	前年 同月比	2021年 1～4月	2022年 1～4月	前年 同期比
世界計	12,291	1,393	1,322	▲ 5%	+ 39%	3,417	5,380	+ 57%
E U	1,712	264	245	▲ 7%	+ 125%	403	1,145	+ 185%
（フィンランド）	557	87	75	▲ 13%	+ 109%	125	380	+ 203%
（スウェーデン）	399	51	59	+ 17%	+ 175%	88	255	+ 191%
中 国	1,663	132	157	+ 19%	+ 15%	455	593	+ 30%
カナダ	1,514	143	136	▲ 5%	+ 30%	327	537	+ 64%
ベトナム	1,268	143	140	▲ 2%	+ 31%	402	520	+ 29%
フィリピン	1,123	109	110	+ 1%	+ 24%	343	433	+ 26%
インドネシア	1,029	134	123	▲ 8%	+ 62%	290	478	+ 65%
米 国	914	110	121	+ 9%	+ 40%	287	393	+ 37%
マレーシア	769	89	101	+ 13%	+ 70%	243	356	+ 46%
ロシア	634	83	45	▲ 45%	▲ 0%	140	297	+ 112%
その他	1,664	185	144	▲ 22%	+ 6%	526	628	+ 19%
我が国の総輸入額	845,898	88,840	89,185	+ 0%	▲ 22%	244,420	255,854	+ 5%
我が国の総輸入額に 占める木材輸入額の割合	1.45%	1.57%	1.48%			1.40%	2.10%	

○2020～2022年の1～4月における木材輸入額



資料：財務省貿易統計

注1：輸入統計品目表第44類（木材及びその製品並びに木炭）の合計（※次ページ以降に記載の品目の合計ではない）。

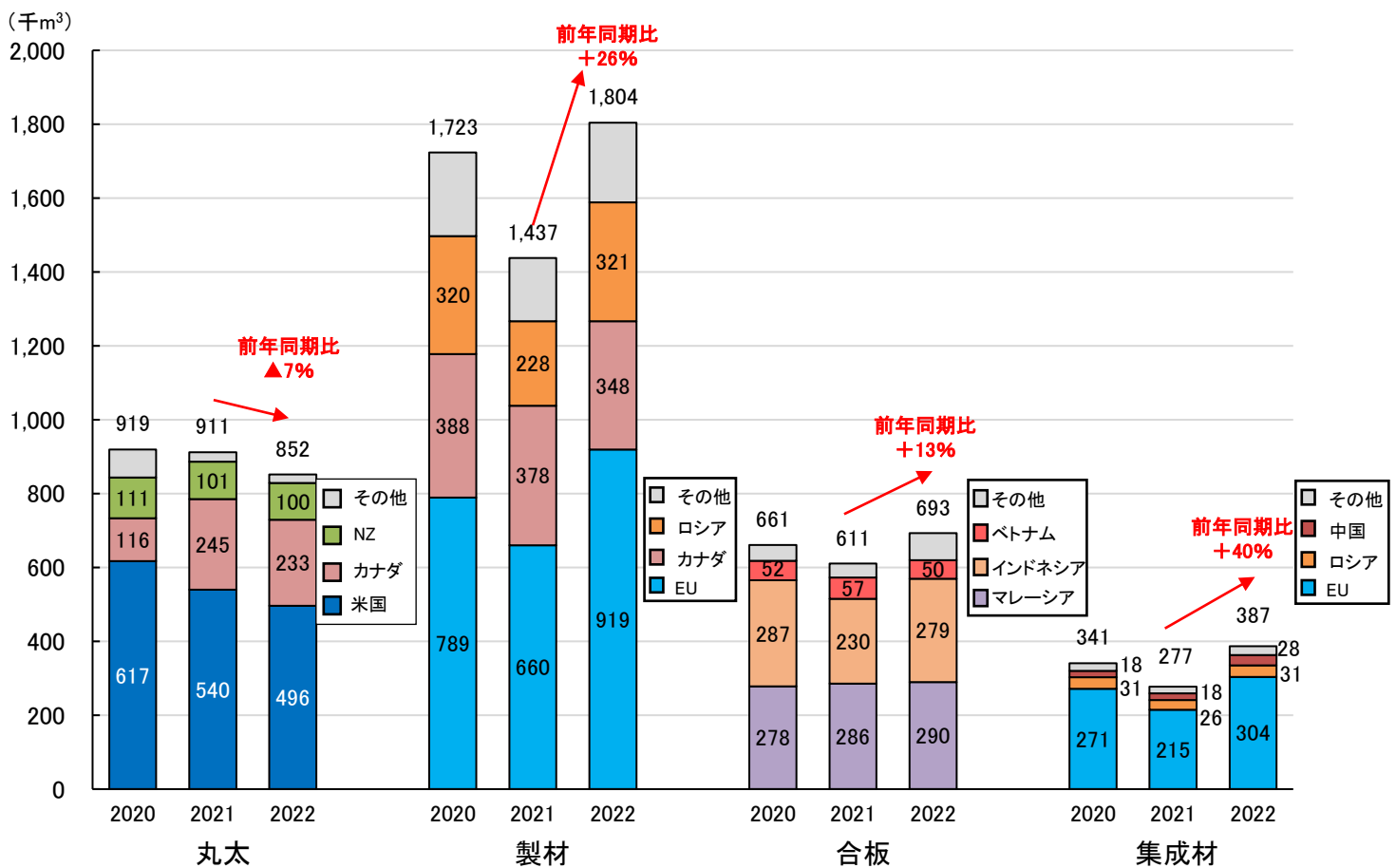
2：EUに英国は含まない。

3：EUは、フィンランド、スウェーデンの合計ではない。

## 林産物輸出入情報- 3 木材輸入量（累計）

- 2022年1～4月における品目別の輸入量を見ると、丸太が前年同期比▲7%減となった一方、製材が同+26%、合板が同+13%、集成材が同+40%と、軒並み増加。
- なお、2020年同期と比較すると、品目別輸入量では、丸太が同▲7%、製材が同+5%、合板が同+5%、集成材が同+13%増加。

○2020～2022年の1～4月における品目別木材輸入量



資料：財務省貿易統計

(注)2022年2月及び4月のエクアドルからの丸太(4403.99-990号)輸入量については、財務省に数値の確認中のため、集計からは除外している。



- 2022年4月の丸太輸入量は、前月比+6%、前年同月比▲9%の23万m<sup>3</sup>となった。
- 国別に、前月比で見ると、米国（前年輸入量に占めるシェア57%）が▲12%減少する一方、カナダ（同28%）が+29%、ニュージーランド（同12%）が+58%増加した。
- 前年同月比で見ると、米国が▲17%、カナダが▲25%減少する一方、ニュージーランドが+152%増加した。

（単位：千m<sup>3</sup>）

材種 国名	年	月別数量				累計数量			
		2021年 (1月～ 12月)	2022年 3月	2022年 4月	前月比	前年 同月比	2021年 1～4月	2022年 1～4月	前年 同期比
合計		[100%] 2,639	[100%] 222	[100%] 234	+ 6%	▲ 9%	[100%] 911	[100%] 852	▲ 7%
米材		[86%] 2,257	[87%] 193	[82%] 191	▲ 1%	▲ 20%	[86%] 785	[86%] 729	▲ 7%
米国		[57%] 1,511	[64%] 142	[53%] 125	▲ 12%	▲ 17%	[59%] 540	[58%] 496	▲ 8%
カナダ		[28%] 746	[23%] 51	[28%] 67	+ 29%	▲ 25%	[27%] 245	[27%] 233	▲ 5%
南洋材		[1%] 21	[0%] 0	-	▲ 100%	▲ 100%	[0%] 3	[1%] 7	+ 119%
インドネシア		[0%] 0	[0%] 0	-	▲ 100%	-	[0%] 0	[0%] 0	皆増
マレーシア		[0%] 8	[0%] 0	-	▲ 100%	▲ 100%	[0%] 0	[1%] 7	+ 2,335%
パプアニューギニア		[0%] 13	-	-	-	-	[0%] 3	-	▲ 100%
ロシア材		[1%] 35	-	-	-	▲ 100%	[1%] 13	[1%] 7	▲ 48%
ニュージーランド材		[12%] 306	[11%] 25	[17%] 40	+ 58%	+ 152%	[11%] 101	[12%] 100	▲ 2%
欧州材		[1%] 13	[1%] 3	[1%] 3	▲ 15%	+ 31%	[1%] 7	[1%] 7	+ 2%
EU 計		[1%] 13	[1%] 3	[1%] 3	▲ 15%	+ 31%	[1%] 7	[1%] 7	+ 2%
アフリカ材		[0%] 2	[0%] 0	[0%] 0	+ 465%	+ 1,935%	[0%] 1	[0%] 1	+ 4%
中国		[0%] 1	[0%] 0	[0%] 0	▲ 52%	▲ 39%	[0%] 0	[0%] 0	▲ 10%
その他		[0%] 3	[0%] 0	[0%] 0	+ 61%	▲ 45%	[0%] 1	[0%] 1	+ 15%

資料：財務省貿易統計

注1：丸太は輸入統計品目表第4403項の合計。

注2：米材は米国、カナダより輸入された材。

注3：南洋材はインドネシア、マレーシア、パプアニューギニア、ソロモン諸島、フィリピン、シंगाポール、ブルネイの7か国より輸入された材。

注4：欧州材はロシアを除く全ての欧州各国より輸入された材。

注5：数量の上段の[ ]書きは、総輸入量に占める各国の割合。

注6：四捨五入の関係で計は必ずしも一致しない。

注7：「-」は輸入実績なし等。

注8：EUに英国は含まない。

注9：2022年2月及び4月のエクアドルからの丸太（4403.99-990号）輸入量については、財務省に数値の確認中のため、集計からは除外している。

- 2022年4月の製材輸入量は、前月比▲15%、前年同月比+6%の40万m<sup>3</sup>となった。
- 国別に、前月比で見ると、カナダ（前年輸入量に占めるシェア25%）が▲25%、ロシア（同18%）が▲37%、EU（同44%）が▲6%減少する一方、チリ（同5%）が+37%増加した。
- 前年同月比で見ると、カナダが▲21%、ロシアが▲22%減少する一方、チリが+584%、EUが+22%増加した。

（単位：千m<sup>3</sup>）

材種 国名	年 2021年 (1月～ 12月)	月別数量				累計数量		
		2022年 3月	2022年 4月	前月比	前年 同月比	2021年 1～4月	2022年 1～4月	前年 同期比
合計	[100%] 4,830	[100%] 465	[100%] 396	▲15%	+6%	[100%] 1,437	[100%] 1,804	+26%
米材	[28%] 1,361	[25%] 118	[22%] 89	▲24%	▲20%	[29%] 424	[22%] 390	▲8%
米国	[3%] 135	[2%] 11	[2%] 9	▲15%	▲16%	[3%] 46	[2%] 42	▲10%
カナダ	[25%] 1,226	[23%] 107	[20%] 80	▲25%	▲21%	[26%] 378	[19%] 348	▲8%
南洋材	[1%] 56	[1%] 5	[1%] 5	+2%	+5%	[1%] 20	[1%] 21	+6%
インドネシア	[0%] 20	[0%] 2	[0%] 2	▲2%	+1%	[0%] 7	[0%] 7	+10%
マレーシア	[1%] 34	[1%] 3	[1%] 3	+3%	+6%	[1%] 12	[1%] 13	+6%
パプアニューギニア	[0%] 0	-	-	-	-	[0%] 0	[0%] 0	▲38%
ロシア材	[18%] 846	[20%] 92	[15%] 58	▲37%	▲22%	[16%] 228	[18%] 321	+41%
ニュージーランド材	[1%] 57	[1%] 3	[1%] 4	+9%	▲28%	[1%] 18	[1%] 16	▲10%
チリ材	[5%] 226	[4%] 19	[7%] 26	+37%	+584%	[4%] 59	[5%] 90	+53%
欧州材	[46%] 2,210	[48%] 223	[53%] 209	▲6%	+23%	[47%] 675	[52%] 945	+40%
EU計	[44%] 2,148	[46%] 215	[51%] 203	▲6%	+22%	[46%] 660	[51%] 919	+39%
(スウェーデン)	[16%] 756	[14%] 65	[20%] 78	+21%	+40%	[16%] 236	[18%] 321	+36%
(フィンランド)	[15%] 729	[16%] 76	[15%] 59	▲22%	+1%	[16%] 227	[16%] 294	+30%
アフリカ材	[0%] 2	-	-	-	▲100%	[0%] 1	[0%] 0	▲65%
中国	[1%] 64	[1%] 4	[1%] 4	+8%	▲1%	[1%] 10	[1%] 17	+63%
その他	[0%] 9	[0%] 1	[0%] 1	+30%	+39%	[0%] 3	[0%] 4	+27%

資料：財務省貿易統計

注1：製材は輸入統計品目表第4407項の合計。

2：米材は米国、カナダより輸入された材。

3：南洋材はインドネシア、マレーシア、パプアニューギニア、ソロモン諸島、フィリピン、シンガポール、ブルネイの7か国より輸入された材。

4：欧州材はロシアを除く全ての欧州各国より輸入された材。

5：数量の上段の〔 〕書きは、総輸入量に占める各国の割合。

6：四捨五入の関係で計は必ずしも一致しない。

7：「-」は輸入実績なし等。

8：EUに英国は含まない。

- 2022年4月の合板輸入量は、前月比+11%、前年同月比+24%の19万m<sup>3</sup>となった。
- 国別に、前月比で見ると、インドネシア（前年輸入量に占めるシェア38%）が▲7%減少する一方、マレーシア（同43%）が+12%、ベトナム（同11%）が+49%、中国（同7%）が+84%増加した。
- 前年同月比で見ると、ベトナムが▲24%減少する一方、マレーシアが+20%、インドネシアが+24%、中国が+125%増加した。

国名	年 2021年 (1月～ 12月)	月別数量				累計数量		
		2022年 3月	2022年 4月	前月比	前年 同月比	2021年 1～4月	2022年 1～4月	前年 同期比
総輸入量	[100%] 1,865	[100%] 171	[100%] 190	+ 11%	+ 24%	[100%] 611	[100%] 693	+ 13%
マレーシア	[43%] 795	[41%] 71	[42%] 79	+ 12%	+ 20%	[47%] 286	[42%] 290	+ 1%
インドネシア	[38%] 715	[45%] 77	[38%] 72	▲ 7%	+ 24%	[38%] 230	[40%] 279	+ 22%
ベトナム	[11%] 207	[5%] 9	[7%] 13	+ 49%	▲ 24%	[9%] 57	[7%] 50	▲ 13%
中国	[7%] 133	[8%] 14	[13%] 25	+ 84%	+ 125%	[5%] 33	[10%] 68	+ 108%
EU	[0%] 6	[0%] 0	[0%] 0	+ 52%	▲ 32%	[0%] 2	[0%] 2	▲ 15%
その他	[0%] 9	[0%] 1	[0%] 1	▲ 7%	+ 6%	[0%] 3	[0%] 3	+ 20%

(単位:千m<sup>3</sup>)

- 注1: 輸入統計品目表第4412.10号111～299、第4412.31号、第4412.33号、第4412.34号、第4412.39号の合計。  
 2: 数量の上段の[ ]書きは、総輸入量に占める各国の割合。  
 3: 四捨五入の関係で計は必ずしも一致しない。  
 4: EUに英国は含まない。

- 2022年4月の木材チップ輸入量は、前月比▲28%、前年同月比▲16%の79万トンとなった。
- 国別に、前月比で見ると、ベトナム（前年輸入量に占めるシェア38%）が▲9%、オーストラリア（同18%）が▲43%、南アフリカ（同9%）が▲57%減少した一方、チリ（同10%）が+77%、米国（同7%）が+69%増加した。
- 前年同月比で見ると、ベトナムが▲11%、オーストラリアが▲20%、チリが▲39%、南アフリカが▲3%、米国が▲9%と軒並み減少した。

(単位:千トン)

国名	年 2021年 (1月～ 12月)	月別数量				累計数量		
		2022年 3月	2022年 4月	前月比	前年 同月比	2021年 1～4月	2022年 1～4月	前年 同期比
総輸入量	[100%] 10,996	[100%] 1,093	[100%] 790	▲ 28%	▲ 16%	[100%] 3,760	[100%] 3,667	▲ 2%
ベトナム	[38%] 4,132	[34%] 372	[43%] 339	▲ 9%	▲ 11%	[38%] 1,434	[38%] 1,397	▲ 3%
オーストラリア	[18%] 1,947	[24%] 267	[19%] 152	▲ 43%	▲ 20%	[21%] 777	[19%] 714	▲ 8%
チリ	[10%] 1,060	[3%] 30	[7%] 53	+ 77%	▲ 39%	[9%] 322	[8%] 303	▲ 6%
南アフリカ共和国	[9%] 1,026	[14%] 148	[8%] 64	▲ 57%	▲ 3%	[7%] 277	[9%] 340	+ 23%
米国	[7%] 811	[6%] 61	[13%] 102	+ 69%	▲ 9%	[8%] 296	[8%] 287	▲ 3%
その他	[18%] 2,020	[20%] 214	[10%] 80	▲ 63%	▲ 24%	[17%] 654	[17%] 626	▲ 4%

- 注1: 輸入統計品目表第4401.21号と第4401.22号の合計。  
 2: 数量の上段の[ ]書きは、総輸入量に占める各国の割合。  
 3: 四捨五入の関係で計は必ずしも一致しない。

資料: 財務省貿易統計

- 2022年4月の集成材輸入量は、前月比▲6%、前年同月比+4%の8万m<sup>3</sup>となった。構造用集成材に限ると、前月比▲6%、前年同月比+2%の7万m<sup>3</sup>となった。
- 国別に、前月比で見ると、EU（前年輸入量に占めるシェア76%）が▲4%、ロシア（同9%）が▲52%減少する一方で、中国（同10%）が+26%増加した。
- EUの国別内訳では、ルーマニア（同15%）が▲23%、オーストリア（同13%）が▲6%減少する一方、フィンランド（同36%）が+3%増加した。
- 前年同月比で見ると、ロシアが▲42%減少する一方、EUが+6%、中国が+15%増加した。

(単位:千m<sup>3</sup>)

年	2021年 (1月~12月)	月別数量				累計数量		
		2022年 3月	2022年 4月	前月比	前年 同月比	2021年 1~4月	2022年 1~4月	前年 同期比
総輸入量	[100%] 967	[100%] 88	[100%] 83	▲6%	+4%	[100%] 277	[100%] 387	+40%
うち 構造用集成材	[100%] 832	[100%] 76	[100%] 71	▲6%	+2%	[100%] 241	[100%] 339	+41%
EU	[76%] 733	[76%] 67	[78%] 64	▲4%	+6%	[77%] 215	[79%] 304	+42%
うち 構造用集成材	[85%] 709	[85%] 64	[89%] 63	▲2%	+6%	[86%] 208	[87%] 295	+42%
フィンランド	[36%] 349	[31%] 27	[34%] 28	+3%	▲12%	[37%] 103	[35%] 135	+31%
うち 構造用集成材	[41%] 345	[35%] 27	[39%] 28	+4%	▲12%	[42%] 102	[40%] 134	+32%
ルーマニア	[15%] 148	[23%] 21	[19%] 16	▲23%	+43%	[15%] 41	[18%] 71	+72%
うち 構造用集成材	[17%] 139	[26%] 20	[21%] 15	▲23%	+43%	[16%] 38	[20%] 66	+73%
オーストリア	[13%] 126	[9%] 8	[9%] 8	▲6%	▲23%	[14%] 38	[10%] 40	+5%
うち 構造用集成材	[14%] 116	[9%] 7	[10%] 7	+6%	▲19%	[15%] 36	[11%] 37	+4%
中国	[10%] 93	[6%] 5	[8%] 7	+26%	+15%	[7%] 18	[7%] 28	+51%
うち 構造用集成材	[6%] 52	[4%] 3	[6%] 4	+39%	+29%	[4%] 10	[5%] 17	+67%
ロシア	[9%] 84	[11%] 9	[5%] 4	▲52%	▲42%	[9%] 26	[8%] 31	+18%
うち 構造用集成材	[9%] 71	[11%] 8	[5%] 3	▲59%	▲49%	[9%] 22	[8%] 27	+19%
その他	[6%] 57	[8%] 7	[9%] 7	+6%	+41%	[6%] 18	[6%] 25	+37%
うち 構造用集成材	[0%] 0	-	-	-	▲100%	[0%] 0	[0%] 0	+147%

資料：財務省貿易統計

注1：輸入統計品目表第4412.10号910、第4412.51号100、第4412.52号100、第4412.91号100、第4412.92号100、第4412.99号110、190と、第4418.81号（構造用集成材）の合計。

2：数量の上段の[ ]書きは、総輸入量に占める各国の割合。

3：四捨五入の関係で計は必ずしも一致しない。

4：「-」は輸入実績なし等。

5：EUに英国は含まない。

6：EUはフィンランド、ルーマニア、オーストリアの合計ではない。



- 2022年4月の木質ペレット輸入量は、前月比▲8%、前年同月比+33%の33万トンとなった。
- 国別に、前月比で見ると、ベトナム（前年輸入量に占めるシェア53%）が▲17%、カナダ（同34%）が▲3%減少した。
- 前年同月比で見ると、ベトナムが+65%増加する一方、カナダが▲10%減少した。

(単位:千トン)

年	2021年 (1月～ 12月)	月別数量				累計数量		
		2022年 3月	2022年 4月	前月比	前年 同月比	2021年 1～4月	2022年 1～4月	前年 同期比
総輸入量	[100%] 3,117	[100%] 365	[100%] 334	▲ 8%	+ 33%	[100%] 933	[100%] 1,234	+ 32%
ベトナム	[53%] 1,647	[64%] 233	[58%] 193	▲ 17%	+ 65%	[54%] 503	[58%] 718	+ 43%
カナダ	[34%] 1,058	[24%] 86	[25%] 83	▲ 3%	▲ 10%	[33%] 304	[28%] 346	+ 14%
マレーシア	[5%] 156	[0%] 0	[3%] 9	+ 4,308%	▲ 28%	[6%] 58	[3%] 32	▲ 45%
その他	[8%] 256	[13%] 46	[14%] 48	+ 5%	+ 68%	[7%] 68	[11%] 137	+ 101%

資料：財務省貿易統計

注1：輸入統計品目表第4401.31号000を集計。

注2：数量の上段の[ ]書きは、総輸入量に占める各国の割合。

注3：四捨五入の関係で計は必ずしも一致しない。

- 2022年4月のLVL輸入量は、前月比+10%の3.9万m<sup>3</sup>となった。
- 国別に、前月比で見ると、中国が+16%増加した。

(単位:千m<sup>3</sup>)

年	2021年 (1月～ 12月)	月別数量				累計数量		
		2022年 3月	2022年 4月	前月比	前年 同月比	2021年 1～4月	2022年 1～4月	前年 同期比
総輸入量		[100%] 35	[100%] 39	+ 10%		[100%] 159		
中国		[69%] 25	[73%] 28	+ 16%		[74%] 119		
ベトナム		[24%] 8	[22%] 9	+ 1%		[20%] 32		
インドネシア		[5%] 2	[4%] 2	▲ 15%		[4%] 7		
その他		[1%] 0	[1%] 0	▲ 25%		[1%] 2		

資料：財務省貿易統計

注1：輸入統計品目表第4412.41号000、4412.42号000、4412.49号を集計。

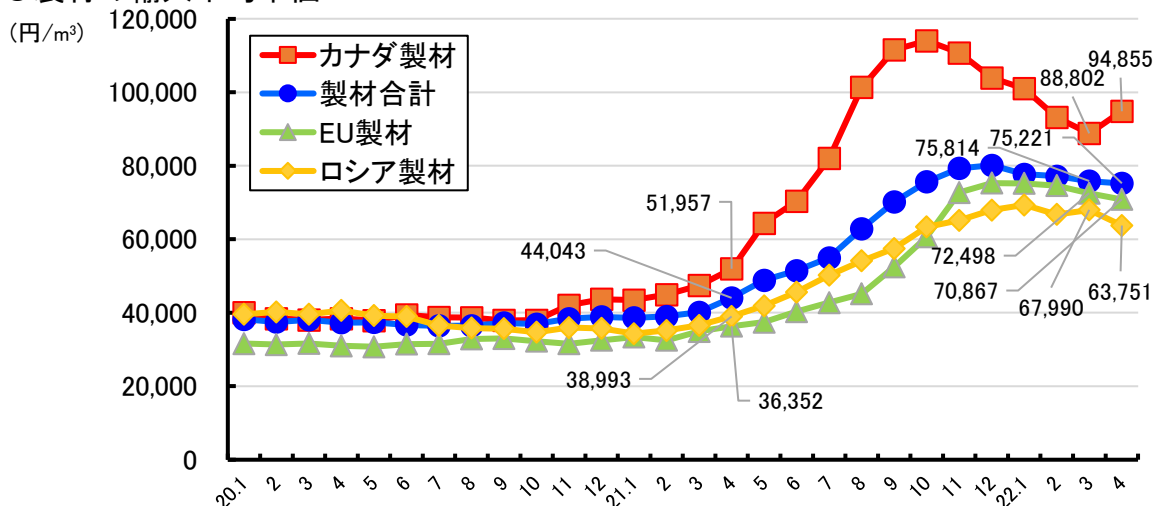
注2：LVLは、HSコードの改定に伴い、2022年1月1日より集計可能となったため、2021年以前のデータは存在しない。

注3：数量の上段の[ ]書きは、総輸入量に占める各国の割合。

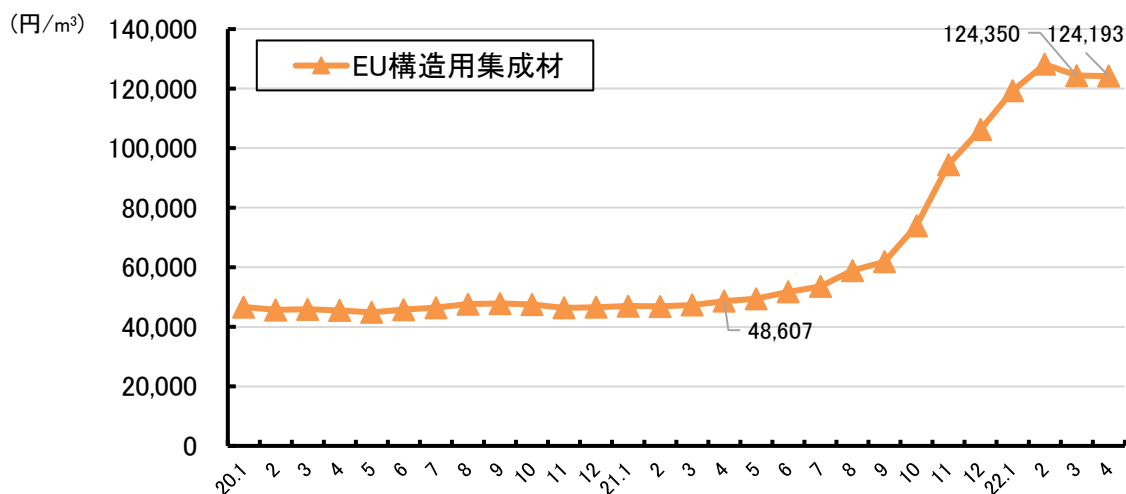
注4：四捨五入の関係で計は必ずしも一致しない。

- 2022年4月の製材輸入平均単価（総輸入額／総輸入量）は、前月比▲1%減の75,221円/m<sup>3</sup>（前年同月比+71%増）。うち、カナダの製材は、前月比+7%増の94,855円/m<sup>3</sup>（前年同月比+83%増）、EUの製材は、前月比▲2%減の70,867円/m<sup>3</sup>（前年同月比+95%増）、ロシアの製材は、前月比▲6%減の63,751円/m<sup>3</sup>（前年同月比+63%増）。
- 同月のEUからの構造用集成材輸入平均単価は、前月比▲0%減の124,193円/m<sup>3</sup>（前年同月比+156%増）。
- 同月の合板輸入平均単価は、前月比+4%増の93,622円/m<sup>3</sup>（前年同月比+57%増）。

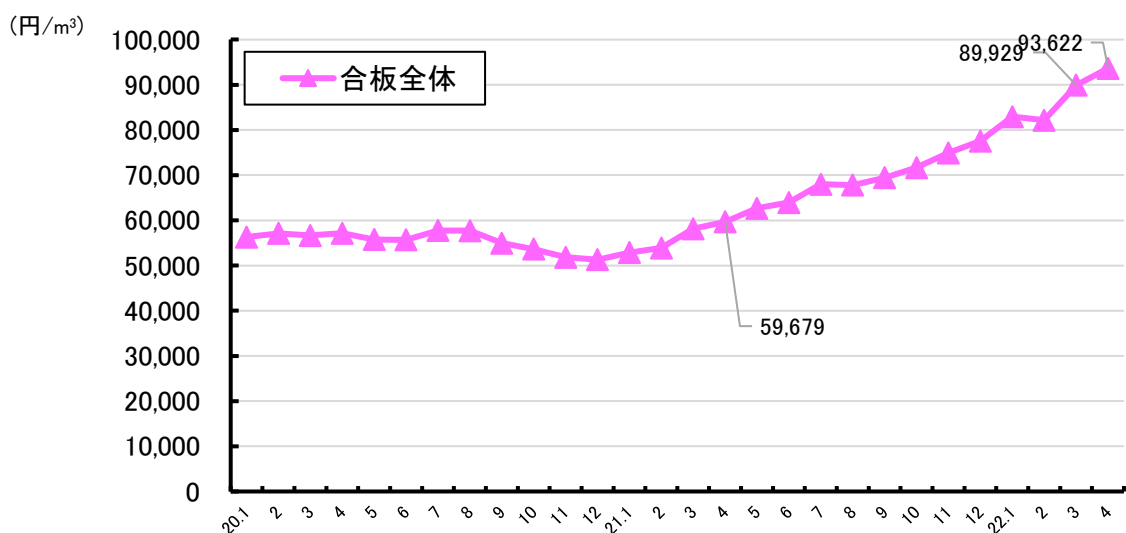
○製材の輸入平均単価



○構造用集成材の輸入平均単価



○合板の輸入平均単価



注：輸入平均単価は、総輸入額を総輸入量で割った値。

資料：財務省貿易統計

- 2020年の食用きのこ類の生産量は46万2,277t（対前年比101.4%）となった。
- たけのこの生産量は2万6,449t（対前年比118.7%）となった。
- 木炭の生産量は1万2,925t（対前年比89.8%）となった。

○きのこ類

単位：t

年次	品目	きのこ類													
		しいたけ計	乾しいたけ	乾しいたけ (生換算値)	生しいたけ	きのこ類		なめこ	えのきたけ	ひらたけ	ぶなしめじ	まいたけ	エリンギ	きくらげ類	まつたけ
						原木栽培	菌床栽培								
2011	平成23	97,125	3,696	25,871	71,254	10,735	60,519	25,426	143,189	2,082	118,006	44,453	38,055	643	36
2012	24	92,414	3,705	25,938	66,476	8,426	58,050	25,816	134,097	1,883	122,276	43,251	38,163	819	16
2013	25	92,437	3,499	24,491	67,946	7,707	60,239	23,383	133,647	2,290	117,363	45,453	40,200	765	38
2014	26	89,093	3,175	22,222	66,872	7,437	59,435	21,796	135,919	2,327	115,751	49,541	39,645	894	42
2015	27	86,284	2,631	18,415	67,869	7,611	60,258	22,897	131,683	3,263	116,152	48,852	39,692	1,182	71
2016	28	88,241	2,735	19,141	69,100	7,324	61,778	22,935	133,297	3,449	116,271	48,523	40,475	1,278	69
2017	29	86,767	2,544	17,807	68,961	6,393	62,568	22,946	135,615	3,828	117,712	47,728	39,088	1,710	18
2018	30	88,196	2,635	18,442	69,754	5,965	63,789	22,809	140,038	4,001	117,916	49,670	39,413	2,309	56
2019	令和元	87,971	2,414	16,901	71,071	5,914	65,157	23,285	128,974	3,862	118,597	51,108	37,635	2,315	14
2020	2	86,394	2,302	16,115	70,280	5,396	64,884	22,835	127,914	3,824	122,802	54,993	38,500	3,132	32

注：まつたけの昭和47年までの生産量は、『農林省統計表』による。

○その他食品

単位：t

年次	品目	その他食用		
		くり	たけのこ	わさび (根茎+葉柄)
2011	平成23	19,100	32,217	2,703
2012	24	20,900	39,244	2,670
2013	25	21,000	24,203	2,381
2014	26	21,400	36,364	2,429
2015	27	16,300	28,980	2,213
2016	28	16,500	35,592	2,266
2017	29	18,700	23,582	2,214
2018	30	16,500	25,364	2,080
2019	令和元	15,700	22,285	1,973
2020	2	16,900	26,449	2,017

注：くりの平成22年～令和2年の生産量は、農林水産省大臣官房統計部『果樹生産出荷統計』、『令和2年西洋なし、かき、くりの結果樹面積、収穫量及び出荷量』による。

○非食品

年次	品目	非食用																
		生うるし	木ろう	竹材	桐材	木炭	竹炭	オガ炭	オガライト	薪	木質粒状燃料	つばき油	しきみ	さかき	煉炭	豆炭	木酢液	竹酢液
		kg	t	千束	m <sup>3</sup>	t	t	t	t	層積m <sup>3</sup>	t	k <sup>l</sup>	千本、t	千本、t	t	t	k <sup>l</sup>	k <sup>l</sup>
2011	平成23	1,345	16	1,184	631	22,124	1,058	8,044	1,225	87,760	78,258	80	2,214	832	11,160	11,567	2,141	287
2012	24	1,438	18	1,199	589	22,646	1,002	6,615	1,051	62,071	98,184	44	2,176	860	10,840	11,567	2,136	242
2013	25	1,045	24	1,196	647	21,409	1,119	7,060	435	74,683	110,092	36	1,960	854	7,446	8,831	2,134	232
2014	26	1,003	28	1,178	669	20,281	599	6,869	318	84,659	126,035	50	1,750	832	7,841	10,742	2,100	213
2015	27	1,182	19	1,235	599	17,723	499	7,643	261	72,493	119,570	47	1,892	1,016	6,104	8,235	2,497	185
2016	28	1,294	24	1,272	492	16,769	411	6,553	185	82,584	120,162	70	1,875	1,091	5,123	7,262	2,774	203
2017	29	1,434	15	1,196	465	15,942	526	6,628	88	82,839	126,532	61	1,881	945	6,615	7,306	2,410	193
2018	30	1,845	41	1,143	404	14,699	534	6,479	79	76,659	131,401	45	1,586	811	5,936	6,846	2,450	197
2019	令和元	1,997	26	1,071	264	14,393	447	6,481	66	73,739	147,321	40	1,524	935	4,728	6,093	2,087	193
2020	2	2,051	21	1,030	200	12,925	451	6,363	31	83,536	148,726	42	1,672	866	4,054	5,735	1,743	151

注：1 木炭、薪の昭和47年までの生産量は『農林省統計表』による。  
 2 木炭は平成3年から粉炭を含み、平成9年から竹炭を除く。  
 3 煉炭、豆炭の生産量は日本煉炭工業会調べによる。  
 4 しきみ、さかきの単位を平成22年より千本からtに変更した。

資料：特用林産基礎資料

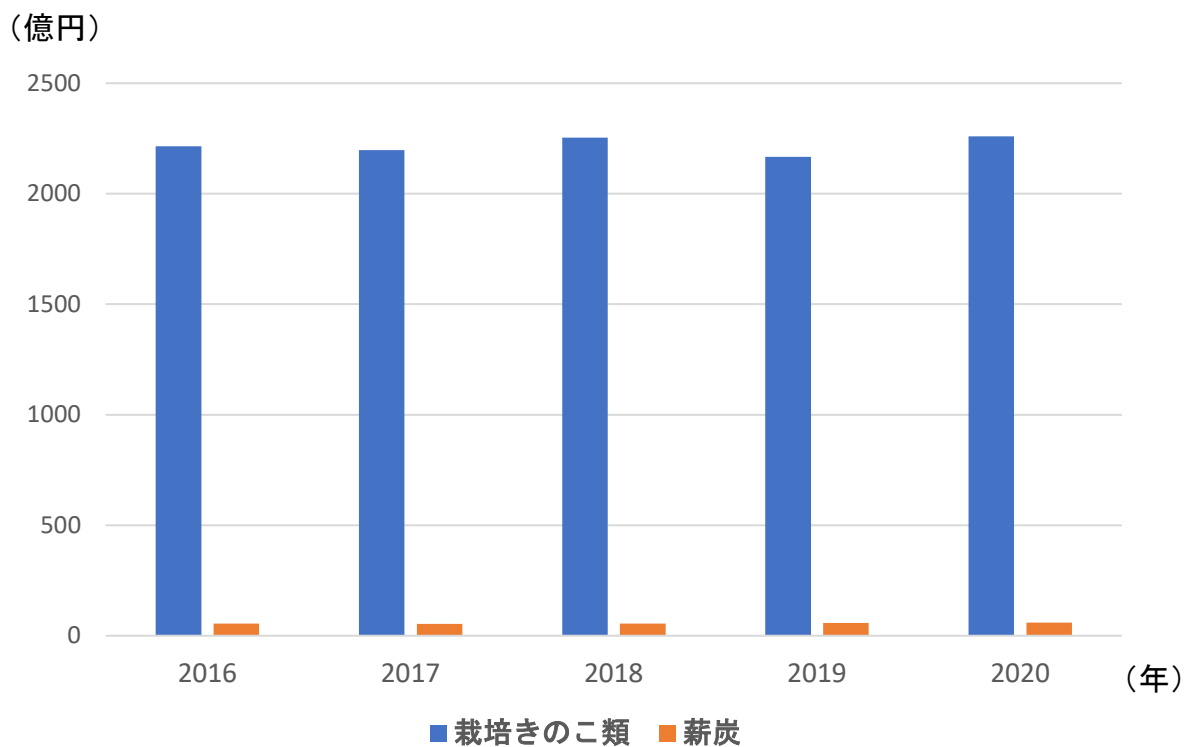
## 特用林産情報-2 特用林産物の産出額

- 2020年のきのこ類の林業産出額は2,259.6億円（対前年比104.3%）となった。
- 薪炭の林業産出額は59.6億円（対前年比102.6%）となった。

（単位：億円）

	2016	2017	2018	2019	2020
栽培きのこ類	2,213.9	2,197.6	2,253.7	2,166.7	2,259.6
薪炭	54.9	54.4	55.4	58.1	59.6

資料：農林水産省「令和2年林業産出額」





## 特用林産情報-3 特用林産物の輸出入量

- 2020年のきのこ類の輸出量は47トン（対前年比38.5%）、輸入量は29,958トン（対前年比91.1%）。
- 2020年の木炭の輸出量は439トン（対前年比95.4%）、輸入量は79,739トン（対前年比55.4%）。

品目	単位	2016		2017		2018		2019		2020	
		輸出量	輸入量	輸出量	輸入量	輸出量	輸入量	輸出量	輸入量	輸出量	輸入量
乾しいたけ	トン	30	5,134	26	5,050	24	4,998	33	4,869	33	4,354
生しいたけ	トン	…	2,015	…	2,108	…	1,942	…	1,835	…	1,785
なめこ	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
えのきたけ	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
ひらたけ	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
ぶなしめじ	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
まいたけ	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
エリンギ	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
きくらげ類	トン	66	24,112	28	24,735	46	26,696	89	25,320	14	23,190
まつたけ	トン	…	981	…	787	…	798	…	849	…	629
くり	トン	…	10,500	…	10,837	…	9,781	…	9,019	…	7,371
くるみ	トン	…	51,450	…	57,536	…	56,389	…	52,236	…	56,478
たけのこ	トン	…	168,578	…	172,499	…	167,868	…	157,296	…	142,544
ねまがりたけ	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
わさび	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
おうれん	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
きはだ皮	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
もろう	トン	8	…	14	…	3	19	7	10	4	9
生うるし	kg	…	43,324	…	40,925	…	35,879	…	36,254	…	30,165
つばき油	kl	…	314	…	154	…	177	…	180	…	220
竹皮	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
竹材	千束	0	256	…	244	1	251	0	215	0	194
桐材	m <sup>3</sup>	…	11,707	…	12,527	…	10,750	…	10,099	…	9,726
木炭	トン	616	146,538	521	141,662	442	144,462	460	143,953	439	79,739
竹炭	トン	1	7,689	…	8,061	…	8,744	…	9,414	12	7,605
木酢液	kl	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
竹酢液	kl	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
薪	層積m <sup>3</sup>	1	1	753	351	833	476	788	1,830	468	2,326
オガライト	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
オガ炭	トン	…	56,525	…	56,135	…	53,679	…	54,183	…	44,499
煉炭	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
豆炭	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…

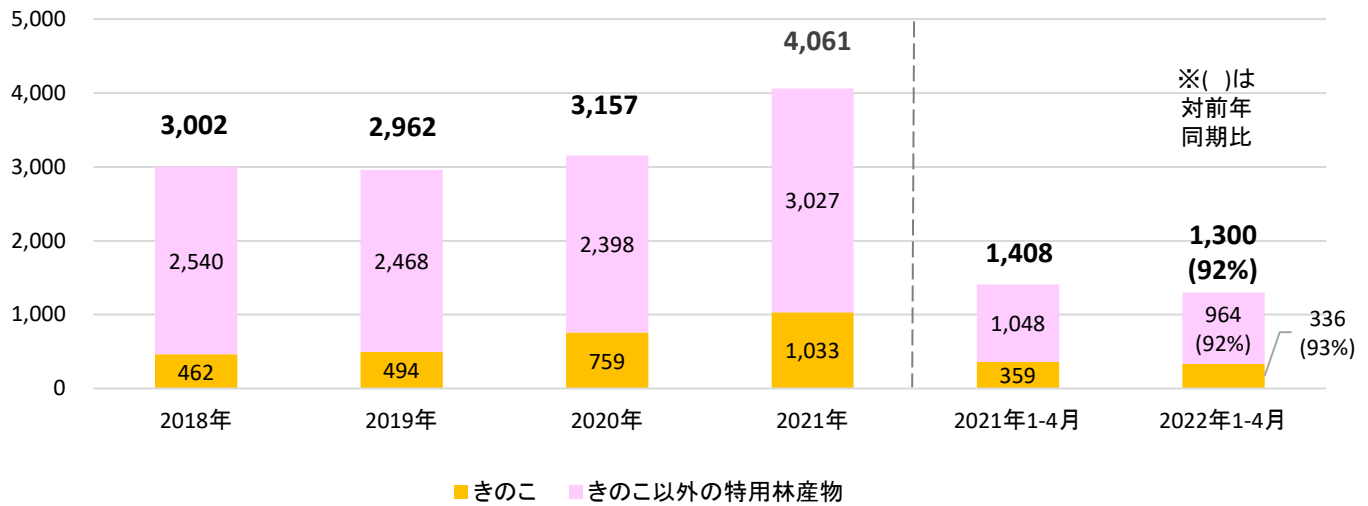
資料：特用林産基礎資料

「…」は事実不詳又は調査を欠くもの。

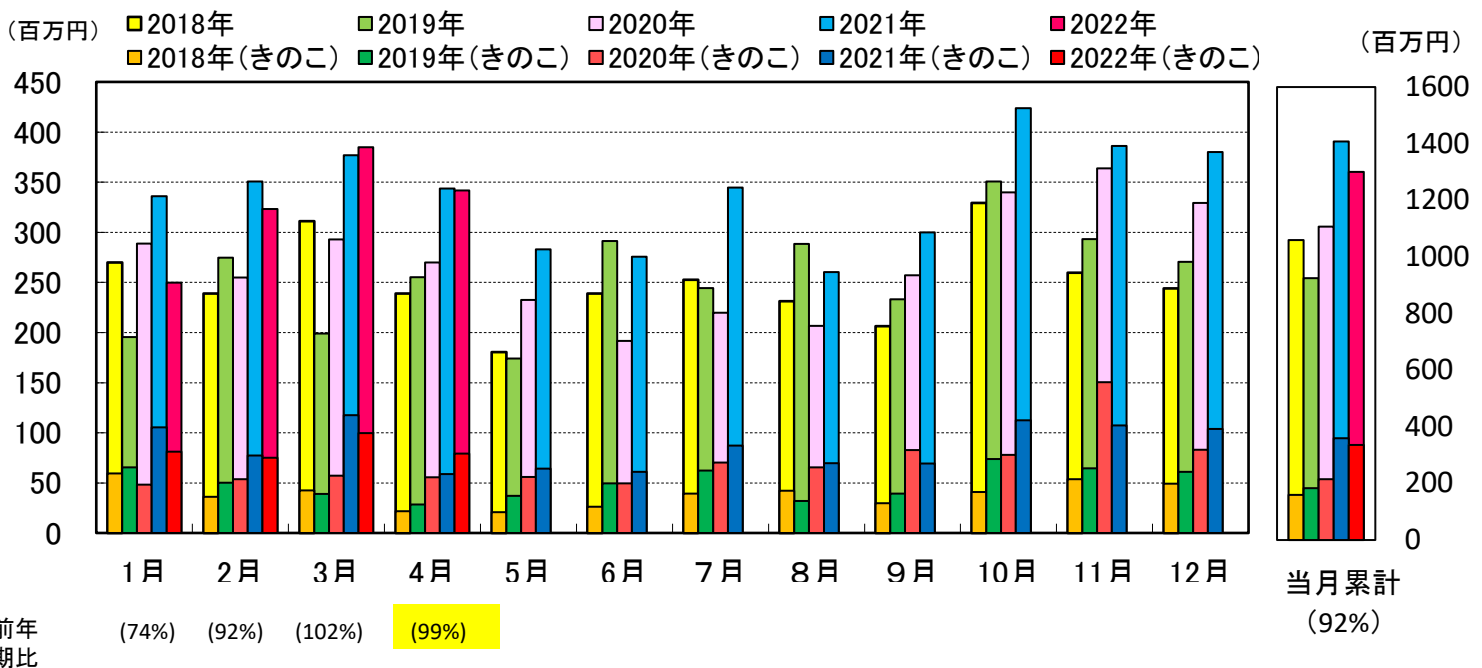
- 4月末までの特用林産物輸出額は1,300百万円（前年同期比92%）となった。  
内訳としては、きのこ（乾しいたけ含む）は、336百万円（対前年同期比93%）、きのこ以外は、964百万円（対前年同期比92%）となった。
- 4月の輸出額は342百万円（対前年同月比99%）となった。  
内訳としては、きのこ（乾しいたけ含む）は79百万円（対前年同月比135%）、きのこ以外の特用林産物は262百万円（対前年同月比92%）となった。

○特用林産物輸出額全体の推移（累計）

(百万円)



○特用林産物輸出額全体の推移（月別）

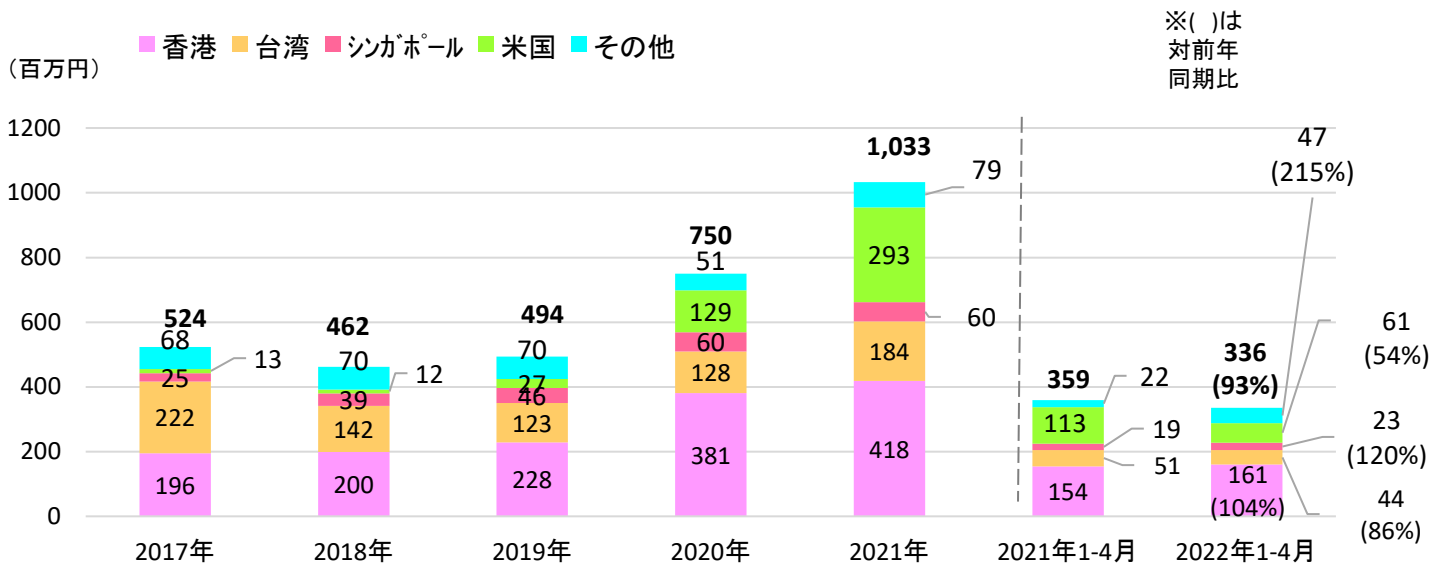


資料：財務省貿易統計

※生鮮きのこ、乾しいたけのほか、ロジン、植物性ろう等を含み、木質ペレット、チップ、薪、木炭は含まず。  
※令和2年の定義見直しにより、令和3年実績から、乾燥きくらげ類、調整きのこ、保存処理をしたきのこ、しいたけ以外の乾燥きのこを計上した。

- きのこの4月末迄の輸出額は336百万円で、対前年同期比93%となっている。国別には、主要な輸出先である。香港が対前年同期比104%、台湾が86%、シンガポールが120%、米国が54%となっている。
- 輸出量で見ると4月末迄の合計は477トンで、対前年同期比114%となっている。主要な輸出先では、香港が対前年同期比117%、台湾が102%、シンガポールが91%、米国が84%となっている。

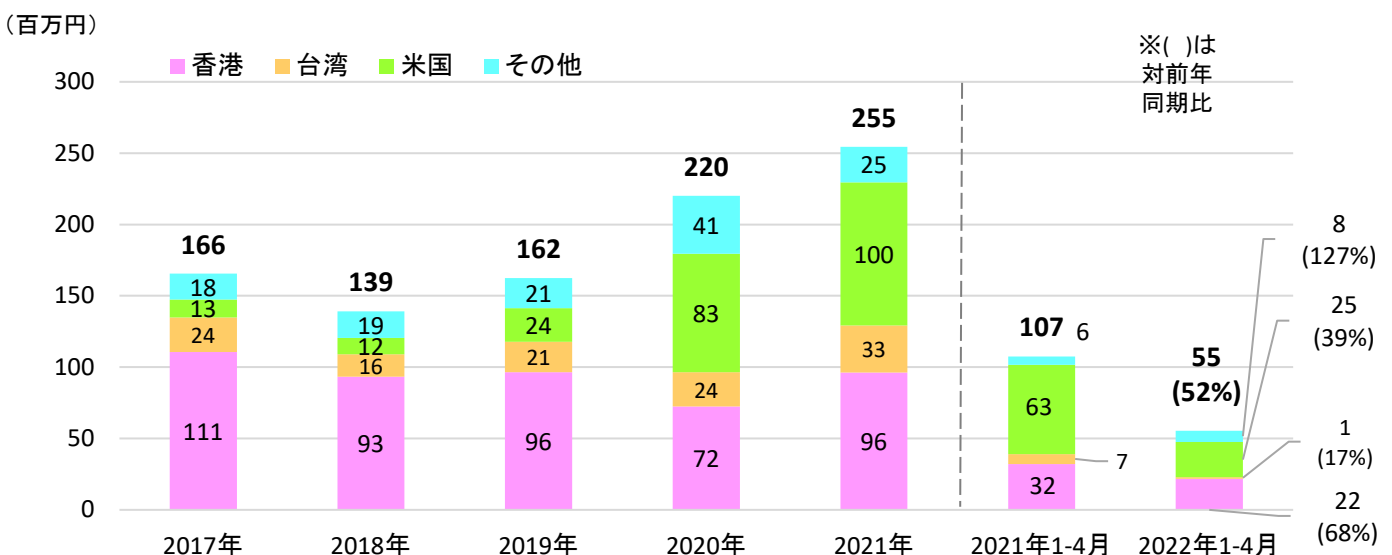
○きのこ（乾しいたけ含む）輸出額の推移（累計）



※令和2年の定義見直しにより、令和3年実績から、乾燥きくらげ類、調整きのこ、保存処理をしたきのこ、しいたけ以外の乾燥きのこを計上した。

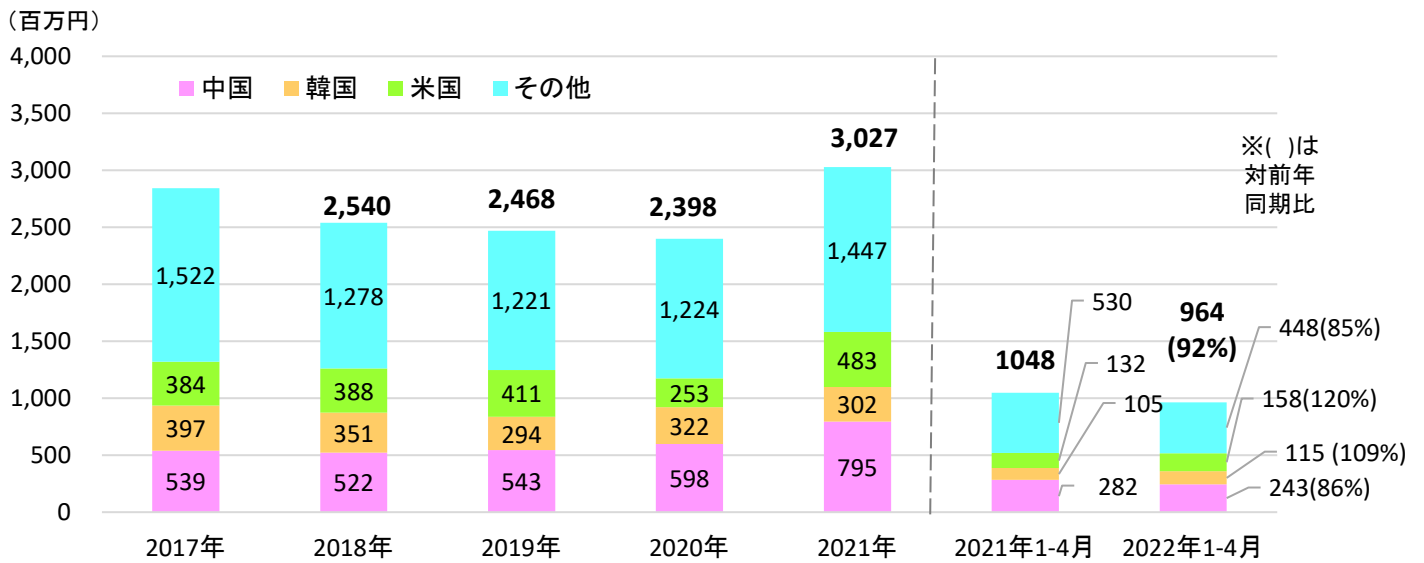
- 乾しいたけの4月末迄の輸出額は55百万円で、対前年同期比52%となっている。国別には、主要な輸出先である香港が対前年同期比68%、台湾は17%、米国は39%となっている。
- 輸出量で見ると4月末迄の合計は12トンで、対前年同期比74%となっている。主要な輸出先では、対前年同期比は香港が18%、台湾が22%、米国が111%となっている。

○乾しいたけ輸出額の推移（累計）



- きのこ以外の特用林産物の4月末迄の輸出額は964百万円で、対前年同期比92%となっている。国別には、中国が対前年同期比86%、韓国が109%、米国が120%となっている。取引額の大きい品目では、ロジン（松脂）が対前年同期比90%、植物性ろうが100%、テルペン油が126%となっている。
- 輸出量で見ると4月末迄の合計は857トンで、対前年同期比85%となっている。主要な輸出先では、中国が対前年同期比80%、韓国が86%、米国が107%となっている。

○きのこ以外の特用林産物の輸出額の推移（累計）



資料：財務省貿易統計

- 2020年のきのこ類の卸売量は、226,240トン（対前年比95.4%）となった。
- 2020年のきのこ類の卸売価額は、生しいたけやえのきだけ等の卸売価格上昇により、106,143,929千円（対前年比102.2%）となった。

きのこ類の卸売量

単位：トン

	2016	2017	2018	2019	2020
生しいたけ	47,880	48,399	49,391	49,121	48,466
なめこ	15,993	15,549	16,143	16,193	16,889
えのきだけ	111,255	117,251	111,238	106,291	98,312
しめじ	75,164	72,518	68,505	65,619	62,573
合計	250,292	253,717	245,277	237,224	226,240

きのこ類の卸売価額

単位：千円

	2016	2017	2018	2019	2020
生しいたけ	45,972,664	46,171,290	44,690,633	43,515,380	43,780,628
なめこ	7,049,789	6,914,944	7,348,774	7,248,066	7,430,921
えのきだけ	27,160,745	25,534,311	26,329,886	24,221,698	26,244,760
しめじ	32,380,595	31,033,202	30,829,573	28,912,378	28,687,620
合計	112,563,793	109,653,747	109,198,866	103,897,522	106,143,929

きのこ類の卸売価格

単位：円/kg

	2016	2017	2018	2019	2020
生しいたけ	960	954	905	886	903
なめこ	441	445	455	448	440
えのきだけ	244	218	237	228	267
しめじ	431	428	450	441	458

資料：青果物卸売市場調査



林野庁が関係（主催・後援等）する各種セミナー・イベントの情報を紹介します。

■ 6月中旬以降の開催情報

イベント名	開催日時	会場	イベント概要
第25回「木のある暮らし」作文コンクール	●応募期間 6月1日（水） ～9月6日（火） ●表彰式 10月29日（土）	オンライン （表彰式）	日々の生活の中にある「木」から地球環境保護の大切さを理解してもらうために小学生を対象とした「木のある暮らし」作文コンクールです。 主催：（一社）日本木造住宅産業協会
第2回非住宅木造建築フェア2022	【リアル展示会】 6月16日（木） ～17日（金） 【オンライン展示会】 6月27日（月） ～7月1日（金）	リアル展示会場：東京ビッグサイト 東7ホール	非住宅の木造化の最新技術と在来技術を知って学べる展示会です。 事前申込：要 入場料：無料 主催：非住宅 木造建築フェア実行委員会 詳細： <a href="https://www.housing-biz.jp/wooden/highlight.php">https://www.housing-biz.jp/wooden/highlight.php</a>
ウッドデザイン賞2022	●応募期間 6月20日（月） ～7月31日（日） ●表彰式 12月7日（水） ●受賞作品展示 12月7日（水） ～9日（金）	表彰式・受賞作品展示 東京ビッグサイト（エコプロ2022）	木の良さや価値を再発見できる建築物、製品や取組について、特に優れたものを評価し、表彰します。 主催：（一社）日本ウッドデザイン協会 詳細： <a href="http://www.wooddesign.jp">http://www.wooddesign.jp</a>
～美しい地球は、私達の心のハーモニーから～雨谷麻世 環境チャリティコンサート	7月13日（水） 10月9日（日） 10月28日（金） 12月21日（水）	はまぎんホール ヴィアマーレ、吉備津神社、他	歌を通じて地球環境の大切さ、命の源である緑・森の大切さを伝えるコンサートです。 主催：（特非）太陽の会 （公社）国土緑化推進機構 Mayo Crystal Music
2022年度「王子の森・自然学校」	7月25日（月） 7月26日（火） 7月27日（水）  1日にそれぞれ4回ずつ開催	オンライン	紙が木材と古紙からできていることや、木を植え、育てて使う「森のリサイクル」と古紙から紙へ再生する「紙のリサイクル」について学べる環境教育プログラムです。 事前申込：要（7月6日（水）締め切り） 入場料：無料 主催：（公社）日本環境教育フォーラム他2 詳細： <a href="https://www.jeef.or.jp/activities/oji/">https://www.jeef.or.jp/activities/oji/</a>
第58回JAPAN DIY HOMECENTER SHOW 2022	8月25日（木） ～27日（土）	幕張メッセ国際展示場	DIY産業の健全な振興・総合的な発展を目指し、国内外のDIY・ホームセンター関連商品を一堂に展示します。 主催：（一社）日本DIY・ホームセンター協会 詳細： <a href="https://diy-show.com/">https://diy-show.com/</a>

## セミナー・イベント情報

イベント名	開催日時	会場	イベント概要
第20回日本炭化学会 研究発表会	9月14日（水） ～16日（金）	北九州国 際会議場 およびオ ンライン	炭化による資源の有効利用についての研究討論 や情報交換が行われます。 事前申込：要（7月15日まで） 参加費：有料 主催：日本炭化学会 詳細： <a href="http://www.wcrs.jp/conference.html">http://www.wcrs.jp/conference.html</a>
Japan Home & Building Show 2022	10月26日（水） ～28日（金）	東京ビッ グサイト （有明・ 東京国際 展示場）	建築関連の製品・技術・サービスを一堂に集め、 ビジネスと情報交流を促進する展示会です。 事前申込：要 参加費：無料 主催：（一社）日本能率協会 詳細： <a href="https://www.jma.or.jp/homeshow/tokyo/">https://www.jma.or.jp/homeshow/tokyo/</a>

# お知らせ

## ウッド・チェンジ ロゴマーク 活用のご案内

ウッド・チェンジ ロゴマークは、「ウッド・チェンジ（※）」の趣旨に賛同し、木材利用の取組を積極的に推進していることのPRにご使用いただけます！（例：ポスター、チラシ、webサイト等）

広くロゴマークをご使用いただくことで、「ウッド・チェンジ」の輪が大きくなり、「木づかい運動」を盛り上げ、木材利用の需要拡大につながります。多くの方の使用登録をお待ちしています！

（※）ウッド・チェンジとは、身の回りのものを木に変える、木を暮らしに取り入れる、建築物を木造・木質化するなど、木の利用を通じて持続可能な社会へチェンジする行動を指します。

### 【背景】

林野庁では、日本の森林の健全な維持やカーボンニュートラルにつながる「伐って、使って、植えて、育てる」という森林資源の循環利用を促進するため、建築物等の木造・木質化や身近なものの木製品化による木材利用拡大に取り組んでいます。

その一環で国民運動として「木づかい運動」を展開しており、「ウッド・チェンジ」を合言葉に様々な取組を行っています。



### 【ロゴマークの使用申請について】

1. ウッド・チェンジ ロゴマーク使用規程をご確認の上、内容にご了承いただける場合には、使用を開始する日の5日前（土、日、祝日の日数は算入しない）までに、登録フォームに必要事項を入力して申請してください。
2. 使用を認められないと判断される場合のみ、遅滞なく通知いたします。

（注）使用が認められない場合の例として、営利を主たる目的とする場合が該当します。

例えば、販売して収益を上げる予定の布バッグやTシャツの柄としてロゴマークをプリントするなど、商品そのものへのマークの使用はお控えください。

なお、商品のチラシやパッケージ、イベントで着用するTシャツや配布者自ら製作する頒布品等に使用することは問題ありません。

ロゴマークの使用規程・ガイドライン、申請登録フォームなど、詳細はこちらから↓  
<http://www.rinya.maff.go.jp/j/riyou/kidukai/wood-change-logo.html>



お問い合わせ先：林野庁木材利用課 消費対策班（TEL：03-6744-2298）



## ウッドデザイン賞の募集始まる



JAPAN WOOD DESIGN  
AWARD 2022

「ウッドデザイン賞2022」の募集が、6月20日(月)から始まります。

「ウッドデザイン賞」は、木の良さや価値を再発見できる製品や取組について、特に優れたものを評価し、表彰する制度です。「木のある豊かな暮らし」が広がり、日々の生活や社会が彩られ、木材利用が進むことを目的に始まり、今年で8年目を迎えます。

同賞は、木を使って暮らしの質を高める「ライフスタイルデザイン部門」、人の心を豊かにする「ハートフルデザイン部門」、地域や社会を活性化する「ソーシャルデザイン部門」の3つの部門から構成され、審査を通過した作品に「ウッドデザイン賞」が授与されます(10月中旬発表予定)。さらに、この中から特に優れた作品には、「最優秀賞」、「優秀賞」、「奨励賞」、「特別賞」が授与されます(11月上旬発表予定)。

応募期間は、7月31日(日)までとなっています。新しい「木づかい」や「ウッド・チェンジ」につながる取組について、みなさまからのご応募をお待ちしております！

応募はこちらから！



ウッドデザイン賞公式HP：<http://www.wooddesign.jp>

応募方法：ウッドデザイン賞公式HPより、応募者登録の上、専用フォームより応募作品をエントリーください。

応募期間：6月20日(月)10:00～7月31日(日)18:00

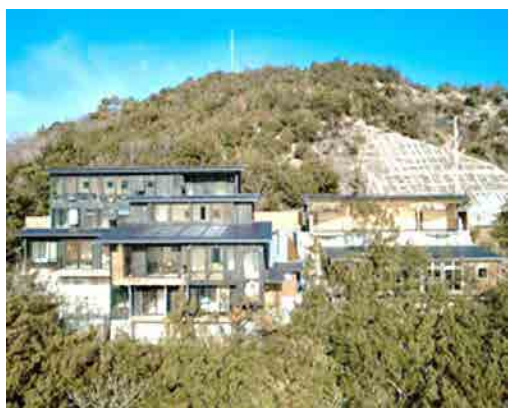
審査費用等：一次審査(書類審査)は無料です。一次審査を通過した作品が二次審査(現物等審査)を受けるにはエントリー料の支払いが必要です。また、現物の送付等の経費は応募者負担となります。

同時募集！



「あなたのおすすめウッドデザイン」を教えてください

ウッドデザイン賞2022では、自らの応募だけでなく、「こんな作品はウッドデザイン賞にふさわしいのではないか」「消費者目線を持った新しい木の活用をしているのではないかとみなさまが考える、建築・空間、木製品、取組などをご紹介いただき、更なる木材利用につなげる取組を行っています。ウッドデザイン賞公式HPの専用フォームより、「あなたのおすすめウッドデザイン」をぜひご紹介ください！(6月30日まで)



ウッドデザイン賞2021最優秀賞(農林水産大臣賞)

URASHIMA VILLAGE

株式会社金丸工務店(香川県)、瀬戸内ビレッジ株式会社(香川県)



ウッドデザイン賞2021優秀賞(林野庁長官賞)

木の冷凍ご飯容器「COBITSU」

株式会社大橋量器(岐阜県)、南地秀哉(千葉県)

特別賞以上の受賞作品はエコプロ2022にて表彰・展示の予定です(令和4年12月7日～9日 会場:東京ビッグサイト)。その他の展示機会や入賞作品集の配布等により広報・PRを行います。

(問い合わせ先)

ウッドデザイン賞運営事務局【(一社)日本ウッドデザイン協会】

メール：[info2022@wooddesign.jp](mailto:info2022@wooddesign.jp)

Facebook：<https://www.facebook.com/wooddesignaward/>

※応募に関する詳細、その他各種情報は、上記ウッドデザイン賞公式HP及びFacebookにおいて随時配信しております。

また、過去のウッドデザイン賞受賞作品につきましても、HP内ウッドデザイン賞受賞作品データベース

(<https://www.wooddesign.jp/db/>)に掲載していますので、ぜひご覧ください。

HP



Facebook

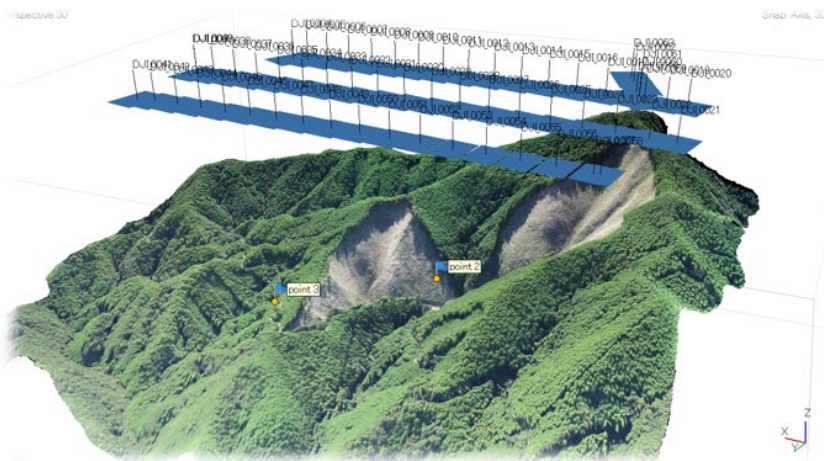




# お知らせ

## ～新たな制度が始まります（無人航空機）～

### 森林・林業における無人航空機に関する新たな制度の運用 （機体登録・機体認証・操縦ライセンス制度）



令和4年6月  
林野庁

必須！

### R4年6月20日から義務化

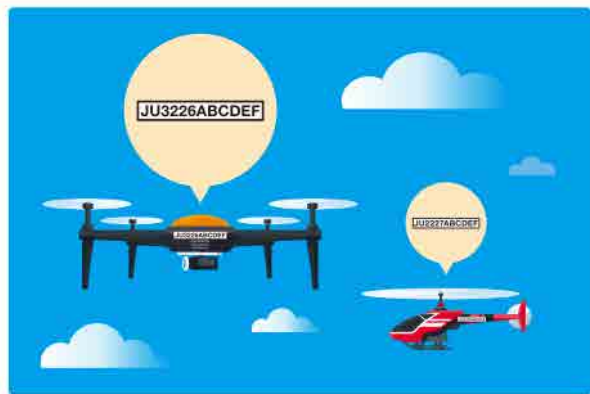
#### 1. 機体登録制度

- 100g以上の無人航空機
- 機体への登録記号の表示
- リモートID機能の搭載

2020年の改正航空法に基づき、

登録していない無人航空機の飛行は禁止されます。

2022年6月20日以降、無人航空機を識別するための登録記号を表示し、リモートID機能を備えなければなりません。



### R4年12月頃から実施予定

#### 2. 機体認証制度

無人航空機の安全基準への適合性（設計、製造過程、現状）について検査

#### 3. 操縦ライセンス制度

無人航空機を飛行させるために必要な知識及び能力を有することを証明する制度（技能証明）

- 林業での飛行は、ほとんどの場合が機体認証、操縦ライセンス不要
- 許可・承認の必要な飛行は、引き続き飛行毎の許可・承認により運用可能
- 機体認証、操縦ライセンスを取得すれば、飛行毎の許可・承認が不要となる場合も

詳しくはこちらへ



<https://www.rinya.maff.go.jp/j/kouhou/bunyabetsu/attach/pdf/index-2.pdf>